

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-143294
(P2005-143294A)

(43) 公開日 平成17年6月2日(2005.6.2)

(51) Int. Cl.⁷
0000 0/00

F I
0000 0/00

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L 公開請求 (全 94 頁)

(21) 出願番号 特願2005-29878 (P2005-29878)
(22) 出願日 平成17年2月4日(2005.2.4)

(71) 出願人 304033502
廣瀬 行博
神奈川県横浜市鶴見区生麦四丁目6番15
-416号
(72) 発明者 廣瀬 行博
神奈川県横浜市鶴見区生麦四丁目6番15
-416号

(54) 【発明の名称】 若い男性の人格形成の方法

(57) 【要約】

【課題】 男性の人格形成において、特に、社会的正義感を醸成し、犯罪の少ない世の中とし、また、ニート、フリーターといった層が増大するのを、いづらかでも防止し、ひいては、日本国家と日本国の産業の発展に寄与する為の、若い男性の人格形成の方法を提供することを課題とする。

【解決手段】 若い男性の人格形成において、社会的正義感を持つ人格形成を行う為に、映画の持つ効果を活用することを特徴とする、人格形成の方法。映画が、任侠映画あるいは、任侠映画に類似した作品であることを特徴とする、人格形成の方法。映画が、女優藤純子が主演または、準主演しているものであることを特徴とする、人格形成の方法。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

若い男性の人格形成において、社会的正義感を持つ人格形成を行う為に、映画の持つ効果を活用することを特徴とする、人格形成の方法。

【請求項 2】

映画が、任侠映画あるいは、任侠映画に類似した作品であることを特徴とする、請求項 1 記載の人格形成の方法。

【請求項 3】

映画が、女優藤純子が主演または、準主演しているものであることを特徴とする、請求項 1 記載あるいは請求項 2 に記載の人格形成の方法。

10

20

30

40

50

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

男性の人格形成において、社会的正義感を有する人格形成を行う為の、映画の持つ効果を活用することを特徴とする、人格形成の方法に関する。つまり、本発明は、凶悪殺人犯罪、振込み詐欺、幼児誘拐殺人等々、特に比較的若い年代層の男性の残忍な事件が続発する世の中となり、このような事態を少しでも解消するための、一手段を提供することに関する。

【0002】

これらの犯罪の増大は、警備システム、防犯設備、防犯グッズの提供という、あらたな産業を活性化させる意味においては、それなりの産業的意味があるとは言えるが、やはり、多面的な施策を講じて、犯罪の少ない世の中にすることが、社会資本投資の無駄をなくし、国民の生活の向上と、日本社会の産業の育成に必要なものと考えられる。

10

【背景技術】

【0003】

一方、近年の情報産業の発達は、デジタル情報機器・ソフト（DVD記録・再生装置、大画面テレビ、ビデオレコーダー、デジタルカメラ、高性能プリンタ、インターネット情報システム、HDDタイプ音楽プレーヤー、映画・音楽・ゲームソフト）等の発達により、高度に発達した。ある意味では、映像・音楽の入手は手軽で安価となり、膨大な情報を活用できるようになった。しかしながら、これらの情報産業の諸産物は、それを、享受する者の人格形成に大きく影響を与えるものと考えられる。

20

【0004】

本発明においては、本発明者が男性であることから、男性の人格形成について論ずるものである。本発明者は、映画という娯楽が、秩序ある日本社会の形成にとって有効に機能することの可能性を検討した。

【0005】

映像のソフトウェアの提供は、法的に問題とされるものでないかぎり、どのような内容のものを提供するのは、ほとんど自由の世の中であり、快樂的なものから、科学的なものまで、最終的には、格個人が好むのを楽しむことについて、何ら制限を受けるものではない。しかしながら、本発明者の経験に基づき、偏見もありつつも、どのような映画が、本発明者の人格形成にとって、結果的には有益であったかを実体験に基づいて論述し、今後の映画界、映像情報産業界の発展に寄与し、さらに大袈裟に言えば、今後の日本国社会、日本の産業において、将来を担う、正義感のある若者育成の為の一施策を提供したいと考える。

30

【0006】

人格形成に関する、先行特許文献についてながめてみると、下記のようなものがある。

【0007】

特開2003-24467号公報（特許文献1）には、予防医学の観点からも、健康を損なってからの対症療法よりも、常日頃の健康維持の方が有効であるが、目標とする健康維持メニュー（体操予定項目）の実行は必ずしも楽しいばかりではなく、むしろ相当の努力を強いられることが多い。そこで、健康維持増進のための体操等を楽しみながら継続できるようにしたシステム及び方法が望まれていた。目標とする健康維持メニューに対する達成意欲増進手段として、前記メニューの実行段階における、進捗状況に関連して進展し、利用者に与える面白さ・楽しさ・悦楽の度合いが、健康維持増進目的を達成するように制御された仮想体験ソフトウェアを備えたものを提供することが開示されている。

40

【0008】

特開平11-57222号公報（特許文献2）には、ゲームの進展や、キャラクタの成長が主人公の自立的な意志を持って、進行するようなゲームにする。表示ドット及びこのドットの色彩と色彩の濃度と輝度により、名前等の属性により特定される主人公のキャラクタの映像を電子表示装置に表示し、ゲームの制御回路で擬似的な時間を進行させる。キャ

50

ラクタを擬似的な時間の進行とともに、同一人である範囲内で、映像上で成長させるとともに変化させる養育ゲームに応用する。主人公のキャラクタを、プログラムされたゲーム上の仮想の社会環境に投入し、人格と身体を育てる。複数の社会環境に繰り返し投入して、前記主人公の人格と身体を最終段階まで変化させて育てる。ことが開示されている。

【特許文献1】特開2003-24467号公報

【特許文献2】特開平11-57222号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0009】

男性の人格形成において、特に、社会的正義感を醸成し、犯罪の少ない世の中とし、また、ニート、フリーターといった層が増大するのを、いくらかでも防止し、ひいては、日本国家と日本国の産業の発展に寄与する為の、若い男性の人格形成の方法を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0010】

この発明は、本発明者の実体験に基づいて着想したものであり、他にもいろいろな方法があると推察する。男性の人格形成において、社会的正義感を有する人格形成を行う為の、映画の持つ効果を活用することを特徴とする、人格形成の方法に関する。つまり、本発明は、凶悪殺人犯罪、振込み詐欺、幼児誘拐殺人等々、特に比較的若い年代層の男性の残忍な事件が続発する世の中となり、このような事態を少しでも緩和するための、一手段を提供するものである。これらの犯罪の増大は、防犯設備や、防犯グッズの提供という、あらたな産業を活性化させる意味においては、それなりの産業的意味があるとは言えるが、やはり、多面的な施策を講じて、犯罪の少ない世の中にするのが、社会投資の無駄をなくし、国民の生活の向上と、日本社会の産業の育成の基礎作りに必要なものと考えられる。

【0011】

本発明者は、今までの自らの経験から、若き日(大学生時代)に、映画により、精神的な影響をかなり受けた。本発明者のいうところの映画とは、任侠映画であり、さらに具体的には、東映の1966年の「日本大侠客」に始まり、1972年の「関東緋桜一家」に終了し、女優藤純子さんが準主演で出演していた、約50作あまりを言う。なお、相手役は、高倉健さん、菅原文太さんのものであることに結果的に限定され、これらは、すべて、藤純子さんの父、俊藤浩二さんが、プロデュースしたものである。

【0012】

すなわち、本発明は、下記の構成を要旨とする。

(1)若い男性の人格形成において、社会的正義感を持つ人格形成を行う為に、映画の持つ効果を活用することを特徴とする、人格形成の方法。

(2)映画が、任侠映画あるいは、任侠映画に類似した作品であることを特徴とする、人格形成の方法。

(3)映画が、女優藤純子が主演または、準主演しているものであることを特徴とする、人格形成の方法。

現在、これらの映画は、一部、ビデオ、DVDにより、販売されている。しかし、全作品を入手することは困難であり、今後、インターネット等により、容易に多くの作品が、若者にも、提供されるようになることが期待される。

【発明の効果】

【0013】

本発明者の経験から、(1)から(3)を実施することにより、青年期において、社会的正義感が醸成されたと考えている。(当時、1970年前後は、女優藤純子の全盛期であり、特に「緋牡丹博徒」8作は大ヒットした。)

【実施例】

【0014】

なお、本発明を実施例によって、さらに具体的に説明するが、本発明は実施例に限定され

るものでない。

本発明者は、以下のことを実践し、社会的正義感を醸成することができた。

(1) 1968年から1972年初春にかけて、藤純子さんの映画を多数観た。

(2) 40歳後半からの中年になってからは、ビデオやDVD(一部図書も)コレクションして、1970年前後において、ピークになった藤純子主演の映画を繰り返し鑑賞し、自分の人生の生き方について、任侠映画がかなり大きな影響を与えていたことを再認識するとともに、勧善懲悪という単純な哲学の奥深さと、日本の様式美が具現化されていることに改めて感動した。簡単に言えば、自分の生き方に正義感とそれに対する自信を得たということである。(1)については、直接映画館にかよったが、(2)については、当然ながら、ビデオソウト、DVDソフト、およびそれらの再生装置を利用している。なお、私自身の経験からは、ホームシアターとか、大型画面のテレビとかは、基本的には必要ないと考える。要するに、ソフトのコンテンツが最も重要な要素となる。ただ、若き日の人格形成において、存在が大きかったのは、(1)であり、(2)は、中年になってからの心の癒しの効果のほうがむしろ大きいとも言える。

10

20

30

40

50

【0015】

<結果> 東映任侠映画の鑑賞により、男として生きることの一種の価値観を比較的、若い時に形成することができた。ただ、勧善懲悪という単純な哲学は、裏も表もある現実の社会生活において、狡猾に生きるという面ではマイナスの面もあったと思われる。したがって、社会で大きな権力を握ろうとする男性には、あまりお勧めできないし、また、登場する悪役の生き方の方が参考になるかもしれない。これは、各人の価値観の問題であるが、「正義」という言葉が死後になりつつある現代社会において、東映任侠映画はその価値が再評価されるべき時代に来ているものと考えられる。

【0016】

ただ、東映任侠映画の場合、藤純子に加え、高倉健、鶴田浩二、菅原文太という、稀有なスーパースターの存在によって、具現化された世界であり、たまたま、俊藤プロデューサーの企画により、1966年から1972年初春にかけて、日本の社会に大ヒットした、きわめて一時的現象であった。特に、藤純子の存在なくしては、成立しない世界であり、日本映画界が、品位の低下した娯楽的テレビ番組にすでにとってかわられつつあった時代に、日本の映画世界に最後の花を咲かせた作品群であった。

【0017】

なお、以下は、藤純子の演じた任侠映画というものを、知らない若年世代が大部分を占める世の中になったので、そういう世代のために、藤純子の出演した任侠映画とはどういうものであるか、藤純子(現在、富司純子)さんへのファンレターを紹介し、東映任侠映画と藤純子さんの紹介としたい。

【0018】

富司 純子 様
拝啓

一目だけでもお会いして、お礼を申し上げたいのですが。

私は、貴女の緋牡丹博徒以来の大ファンで、昭和24年生まれの男です。今年の6月9日で50歳になりました。子供は、3人で男、女、女の3人です。長男は貴女の長男とほぼ同じ歳で今年の8月に22歳になります。今年はひどい就職難でしたが、なんとか就職も決まりほっと一息ついているところです。

貴女の舞台を見るのは、7月26日(1列19番席)で4回目です。最初は芸術座で祇園の姉妹を見させていただきました。2回目は帝国劇場で山田五十鈴さんと出ておられたのを見させていただきました。3回目は7月13日に本所深川ふしぎ草子をついこないだ見させていただきました。いつも一番前の席を採るようにしていますので、ほんとに間近に見させて戴いており感謝しております。

実は私、4年前から鬱病にかかり、最近はいくらか回復してきましたが、最初ころは自殺願望が強く苦しみながら会社勤めをしている毎日でした。

そんな時、私を救ってくれたのは新宿TSUTAYAで見つけた貴女の数々のビデオで

す。何の楽しみも見出せなかった私に、生きる喜びを与えていただきました。そうこうするうち、緋牡丹博徒シリーズは東映ビデオから発売されましたので、1巻～8巻までをすべて揃え、すでに100回ずつくらい見させていただいております。

また、3年ぐらい前の徹子の部屋や、ついこのあいのスタジオパークもビデオに採り、これまた何十回となく見させていただいております。

貴女の追悼記念番組が組まれるころは、多分私は世の中にいないとは思いますができるだけ長く、貴女の舞台を見ていきたいと思っております。

また、藤純子の写真集を東映が出してくれないかと願っております。(貴女の本は国立国会図書館に行かないと見られませんので。)

私は字が下手でワープロで書いて申し訳ありません。どうかこの手紙が貴女のお目にとまりますように。

敬具

平成11年7月18日

[作品の大筋]

置いてけ堀に現れる岸涯小僧は、浮かばれない漁師や魚屋の生まれ変わり。魚屋だった亭主を亡くしたばかりのおしずの耳に、そんな噂が飛び込んできた。思いあまって出掛けた置いてけ堀でおしずは意外なものを見る『置いてけ堀』。人殺しが起きた場所で「落ち葉さえなければ」と呟く茂七の言葉を聞き、毎夜落ち葉を掃除するお袖。そんな彼女に物陰から視線を送る男がいた『落ち葉なしの椎』

。本所深川七不思議を題材に、人情味溢れる物語を集めた時代編。

【0019】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。先日(10月17日)に、妻と二人で「音菊天竺徳兵衛」を拝見させていただきました。菊五郎様は、はじめて拝見いたしました。男っぷりのいい方で、さすがに、貴女が19歳の時心を動かされたものと感心いたしました。

菊之助様は、菊五郎様にも似ておられました。純子様にも似た雰囲気があって、緋牡丹お竜がずっと立った様をどことなく感じたしだいでございます。

ところで、私は貴女が、会場にいらっしゃらないかと時々、音羽会の受付付近を見ておりましたところ、最初の幕間の時にお見かけして、たいへん幸福な気持ちになりました。近づいて声をおかけするには恐れ多いことでしたので、10メートル程はなれた位置で拝見させていただきました。貴女が、会場入口付近に座っておられた女性のグループの方へ歩いて来られました際、私の方に向かって軽く会釈していただき(私の気のせいかもしれませんが)大変幸福に感じたしだいです。

なんととっても、貴女の着物の着慣れた着こなしにほれほれいたしました。

10月23日には、ドリームメーカーを見ましたが、朗らかなお母さん役が、お竜さんとはまた違っていい雰囲気でした。

来年の1月16日には、(音羽会に予約はしてあるのですが)券が採れれば、妻と二人で、「滝の白糸」を拝見させていただく予定にしております。

お体を大切に、主婦として、大マネージャーとして、大女優としてがんばって下さい。

敬具

平成11年10月27日

【0020】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしでしょうか。11月の歌舞伎座公演中で忙しい中、このような私の手紙を読んでもいただけたら、かえってご迷惑をかけていることになっているとは思いつつも又手紙を出してしまいました。

貴女には、不本意なこともかもしれませんが、11月6日には「日本女侠传・侠客芸者」を新宿の映画館で見てきました。貴女の美しい芸者姿にほれほれしたしだいです。196

10

20

30

40

50

9年の作品ですからもう30年も前の作品になるのですね。残念なことです。山下耕作監督もすでになくなりましたし。

実は以前にも同じ映画館で「日本大俠客」という映画も見ました。主演は鶴田浩二さんで、たしか貴女は、「お竜」という鉄火芸者の役で、最後に自殺してしまうかわいそうな役でした。こちらは1966年の作品ですから今から33年も前の作品です。貴女は、日本映画史の最後の女優だったのだなあとおもいます。

私は、女渡世人シリーズを見たことがないので、ビデオ屋さんにもないし、上映されなければ見たいと思っています。

1971年8月10日号キネマ旬報「任侠藤純子おんなの詩」のP100に渡辺武信氏の評が、「藤純子の澄んだ切れ長の眼、それは見ひらかれれば、火のように燃え、微笑する時、そよ風のようにゆらぎ、ひとたび伏せられると夜のように暗い」と書かれております。今でもそうですね。2000年1月の「滝の白糸」の舞台を拝見させていただくのを楽しみにしております。

10

敬具

平成11年11月7日

「日本大俠客」

九州の俠客議員として知られる吉田磯吉の長男・敬太郎が書いた自伝をもとに、マキノ雅弘監督が鶴田浩二主演で映画化。明治中期、新工業地帯として胎動し始めた北九州の港町・若松を舞台に、熱烈な郷土愛に燃える吉田磯吉が青春の全てをかけて悪徳ヤクザ一家に敢然と闘いを挑む。磯吉を慕い、彼のピンチを救う鉄火芸者・お竜を藤純子が好演。この役は後年、藤純子の当たり役である“緋牡丹博徒”シリーズの女俠客・緋牡丹のお竜の原型となった。

20

【0021】

富司 純子 様

拝啓

お元気で、多岐にわたり、ご活躍・お過ごしのことと思います。

来年の1月は楽しみにしておりますが、もう「滝の白糸」の練習は始められてお忙しいのでしょうか、それとも12月に入ってから練習でしょうか。

ところで、貴女の方にはすでにサンプルが届いていることと思いますが、最近、東映から「傑作シリーズ」のCDが発売されているのを見つけましたので、さっそく貴女の主演作品のものを購入しました。(いまさら、昔のものが発売されて貴女にとっては、不愉快かもしれませんが?)サウンドトラック版ですから、あの手の商品は貴女には印税も入らないのでしょうか。入らないとしたら、まったく貴女にとってはまったく不本意な商品でしょうね。

30

1ファンとしては、眼も疲れませんが、ビデオにはない良さがあると思って楽しんでいただいております。

つまらない、手紙の内容で、もしお目にとまり、貴重な時間を割かせてしまいましたらごめんなさい。

ではお元気でご活躍下さい。

敬具

平成11年11月14日

【0022】

富司 純子 様

拝啓

ついついまた、手紙をまた書いてしまいました。貴女が高倉健さんのファンだったので、この間のNHKスタジオパークで聞き、私も若い時から男優では高倉健さんが一番好きですので、大変嬉しく思いました。(「鉄道員」は5回も見ました。「おもちゃ」は1回でしたけれど。)

ところで先日は、高倉健さんのCD(キングレコード)を買ってみようかと思い、「決定版・高倉健」というのを買いましてところこれが、なんと大当たりでした。途中で「昭

40

50

和残侠伝・死んで貰います」の健さん（秀次郎）と貴女（幾太郎）の再会の場面と、「日本侠客伝・昇り龍」の健さん（玉井金五郎）に貴女（お京）が刺青を入れるのを頼む場面等が歌と歌の間に収録されているのです。貴女はこのCD持っていませんか？ もっとも貴女にはCDを聞く時間などないとは思いますが。でも記念に持っておかれたら、よいかと思えます。「死んで貰います」と「昇り龍」はどちらも名作ですね。「昇り龍」では最後に貴女が死んでしまう悲しい役でしたが。健さんと貴女が着流しで並んだ姿の美は、空前にして絶後ですね。私も同世代にこの世の中に生きてこれてほんとうによかったと思えます

また、最近、東映から出た傑作シリーズ（藤純子）もなかなかの逸品でした。

被牡丹シリーズも良かったのですが、Vol. 2の関東緋桜一家の音楽はなかなかいい曲ですね。最後の方で、貴女（鶴次）が「に組（？）」の着物を着て健さんの後を追いかけるシーンが思い出されます。夜寝る前に聞きますと静かな気持ちになりよく眠れます。

富司純子の名を名乗られてからは、「あ・うん」とNHKの「詩城の旅びと」が印象に残っております。貴女（水田たみ）が豆を上に乗せて口に飛べして口に入れるシーンとか、緒方拳さん（木村企画部長）に「通子さん（中川安奈）をお好きなのですね。」と言われるシーンとか。フランス語はいつ練習されたのでしょうか。（お忙しい身でありながら。）

またまた、とりとめもないことを書いてしまつてごめんなさい。

では、お元気でますますがんばって下さい。

敬具

平成11年11月18日

【0023】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしですか 国立劇場、歌舞伎座、新橋演舞場と続けて、旦那様、菊之助様が出場されていますので、忙しい日々をお送りのことと思えます

ところで、12月2日には、「滝の白糸」の1月16日の観覧券が到着し、希望の席がとれていましたので、大変悦んでおります。妻と二人で見に行く日を心待ちしております。

もう稽古は、始まったのでしょうか。貴女は、家の内外でいろいろな役があつて大変な忙しさですね。まあ美空ひばりさんなんかは、3回練習すれば、本番のレコーディングOKという話しを聞いたことがあります。貴女も東映時代にマキノ監督に鍛えられて、そんなに練習しなくても体が自然に動いていくのでしょうか？ それとも影で、いろいろな努力をなさっているのでしょうか。

結婚ラブソディ「東京の女対大阪の女」はビデオに撮つてあり、時々見ますが、貴女の作り上げてきたイメージとは違って、なんだか妙な感じがしました。

12月10日からは、鶴田浩二さんと共演の「総長賭博」と高倉健さんと共演の「死んで貰います」が、新宿の映画館で上演されるので見に行くつもりしております。

では、お元気で、がんばって下さい。

敬具

平成11年12月3日

【0024】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。徒然なるままに、目前にNHKのビル（澄みきった日は、富士も目に入るのですが）を見ながら、お昼休みにまたワープロをたたいてしまった私です。

電車の中吊り広告を見ていたら、尾上菊之助の記事が出ているとの案内があり、読んでみました。菊之助様は、ほんとうにハンサムで精悍な感じですね、目付きは、純子様に見えるのでしょうか、切れ長の眼がすてきですね。で、その先を読んでいくと富司純子様の記事が載っているのです。滝の白糸には1ヶ月は練習するとか書いてありました。1月16日がますます楽しみになってきますが、私のようなファンは、貴女の芸がどう

10

20

30

40

50

こう等の話しは、ある意味では、どうでもいいことです。富司純子様には、他をもって替え難い魅力がある（黒柳徹子様の言葉を借りれば）訳ですから、貴女を見ているだけでいいのです。私のようなファンが多いと思いますよ。どうか気楽にさばいて下さい。

あの記事の中で、女優としては、娘も対等というような事が書かれておりましたが、女優の世界はきびしいですね。（歌舞伎の世界の方が、菊五郎様と菊之助様は師匠と弟子の関係ですものね。）

では、お元気で、練習に、家事にお励み下さい。

敬具

平成11年12月6日

輝くようなみずみずしい美貌と清潔な色気。明日の歌舞伎界を背負う若手スターの旗手。女方も二枚目もいい。祖父・梅幸や父・菊五郎の役をしっかりと受け継ぎつつ、歌舞伎以外にも積極的に出演して意欲をみせている。

10

【0025】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。12月12日は、新宿の映画館で、「総長賭博」と「死んで貰います」を見ました。「総長賭博」は、1968年の作で、若山富三郎さんの女房役で、若山さんが鶴田さんに殺されてしまう悲しい役でした。貴女の出演場面もあまり多くなく大して大きな感動を覚えませんでした。昭和残侠传「死んで貰います」のほうは、1970年の作ですが、貴女の芸者姿が、とても色っぽくすてきでした。「止めやしません。だけど死な

20

ないで下さい。・・あとは、私の義理に生きて下さい」という最後の部分の台詞が印象的でした。とはいえ、30年ぶりに見た高倉健さんの、鍛えられた上半身の裸姿が、筋肉質の胸板といい、太い腕といい、男心に改めてほれほれいたしました。

12月31日からは、加藤泰監督の名作「三代目襲名」が上映されます。あの映画では、たしか、初江とかいう遊郭の遊女の役だったと思います。まだ東映に所属して間も無い

時期の映画だったかと思いますが、今から楽しみにしております。もちろん、1月16日の「滝の白糸」が一番の楽しみですが、映画のスクリーンには舞台にはない迫力がありますね。

敬具

30

平成11年12月13日

昭和残侠传「死んで貰います」

大正末期。家を飛び出して放浪していた花田秀次郎（高倉健）は、賭場でのケンカがもとで服役。面会に来た寺田（中村竹弥）と妹に、「世話になった」という芸者見習の幾江（幾太郎）

（藤純子）という女性に金を渡してもらおうよう頼む。服役中に関東大震災が起こり、秀次郎は家族を案じるが何もできない自分に苛立つ。時代は移り昭和初め、出所した秀次郎は生家の深川の料亭に戻ることにする。震災で妹は亡くなり、母は視力を失っていて、店は板長の重吉（池部良）が切り盛りしていた。寺田の計らいで、今は一人前の売れっ子芸者となった幾江とも再会でき、秀次郎は素性を隠してカタギとして板前修業を始めることに

40

【0026】

富司 純子 様

50

拝啓

お元気ですか。「滝の白糸」お疲れ様でした。13、16、20日と結局3回も見てしまいました。長いせりふが続いて、せりふを覚えるのもたいへんですね。16日は、前列の席が採れましたので、よく見させていただきました。

貴女の黒いストッキングから見える足が、新鮮でセクシーな印象に残りました。

貴女の足は、緋牡丹博徒の立ちまわりの時少し見えるだけでしたから。

流し台の上に乗って空間を飛び交う時は、最初は、怖くありませんでしたか？

今後の出演スケジュールはあるのでしょうか？音羽会からのたよりを待っていただければわかることなのですが。

敬具

平成12年1月26日

【0027】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。相変わらず忙しい毎日を送っておられることと思いますが、「滝の白糸」が終わって一息ついているころでしょうか。

私は、2月5日に新宿で「昇り龍」を見てきました。1970年12月3日封切りの映画ですね。貴女は25歳ぐらいでしょうか。当時の映画としては、やや長編で110分ぐらいのもので、高倉健さんと貴女のからみのシーンが一番多い作品ではないでしょうか。話しの内容は、まさに美人薄命といった感じのものですが、貴女があまり美しくシャ

ンになっているので、見とれて涙を出す暇がありません。
NHKのスタジオパークで、貴女も高倉健さんのファンだったと知りましたが、ファンの方とあれだけ長いシーンを撮ると、その時だけは、ほんとに好きになってしまいますよね。（かたせ梨乃さんが、極妻の映画の話で擬似恋愛をするものだと話しておられたからこれもスタジオパークですが。）

「昇り龍」は、映画館に当時のポスターが残っていて貼られていました。今あんなポスターを手に入れようとしても高価で手が出ないとおもいますが。

映画館には、結構人が入っていました平均年齢は、60歳ぐらいだと思います。今度の貴女の出演映画のスケジュールは未定ですが、また行きたいですね。

正月上映された「三代目襲名」は体調を崩して見逃してしまいました。

では、お元気で、ますますご活躍下さい。

敬具

平成12年2月7日

【0028】

富司 純子

様

拝啓

お元気ですか。先日は、高倉健さんの、CD「東映傑作シリーズ 昭和残俠客伝」を購入しました。収録されている2作品共、共演が三田佳子さんであるのが残念なところですが、唐獅子牡丹はしょうがないにしても、もう一作は「死んで貰います」を収録してほしかったですね。現在「日本俠客伝」も注文中です。このようなマニアックな商品は、一回ある程度の数製作すると、あとを作らなくなるようで、売り出した時に買うのを躊躇すると、もう手に入らなくなります。

それにしても、貴女の「傑作シリーズ」はvol.1、2共に、手に入れておいてよかったと思います。毎日寝る前に聞いております。

ところで、3月10日からは、新宿の映画館で「日本大俠客」が上映されます、貴女のスクリーンからあふれるようなお色気をまた見ることができのを楽しみにしております。

菊五郎様と菊之助様の歌舞伎は、財源的な理由もあり、見ることができなく、申し訳ありません。

10

20

30

40

50

ではお元気で。

敬具

平成12年2月19日

【0029】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。東映傑作シリーズ高倉健主演作品のV o l . 4も購入しました。日本侠客伝の第1作に貴女は、出演なさっていたのですね。V o l . 4は、日本侠客伝の第1作と第2作が収録されているのですが、第2作には、貴女は出演しておりません。「昇り龍」を収録してくれたなら、最高に幸せでしたのに、残念です。

10

私は、日本侠客伝の第1作をまだ見たことがありませんので、時間がとれたら、新宿のT S U T A Y Aで借りて来て、見たいと思っております。出演者の順番もまだ、藤純子様が数名のあとに書かれていますので、まだまだ本格的に人気の出る前の作品ではないかと思いますが、その意味で逆に見る価値がありそうです。

今回も、つまらない内容の手紙で、申し訳ありません。

今回は「日本大侠客」を見たあとの感想など書かせていただきます。

敬具

平成12年2月25日

【0030】

富司 純子

様

拝啓

お元気ですか。

さっそく、日本侠客伝シリーズの第一作のビデオを見てみました。1964年の作品で、今から36年も前の作品なのですね。私は、まだ15歳ぐらいで、貴女も19歳ぐらいの時の作品かと思えます。高倉健さんの恋人役で、出る場面もまだまだ少なく、とても初々しい感じがしました。貴女は、緋牡丹博徒をやられるようになったころから、また一段と美しくなられたのですね。9年間の藤純子としての女優の間にも、女性としてどんどん成長されていった様子がよくわかります。

20

ところで、新宿のビデオ店を見ていましたら、東映傑作シリーズ藤純子主演作品のV o l . 3が置かれておりました。内容は、日本女侠伝シリーズで、「真っ赤な度胸花」と「鉄火芸者」が収録されておりました。私は、「侠客芸者」は見たことがあるのですが、この両作品は見たことがありません。ビデオ化もされていないようで、ビデオ店をさがしても見当たりませんでした。V o l . 3をさっそく購入して聞いてみましたが、緋牡丹シリーズと違って、歌が入っていないのが残念でした。

30

また、つまらない内容の手紙で申し訳ありません。

敬具

平成12年2月28日

今は亡き木場政に恩義のある客分の清治は長吉に迷惑をかけまいと女房のお咲に別れの挨拶をすると一人沖山組に殴り込んだ。凄惨な死闘の甲斐なく清治は息絶えた。清治の死体を見た長吉の心は決った。『男の喧嘩は一生に一度しかない』という親分の言葉を思いつつ。子分を連れ長吉は祭りの騒ぎにまぎれ沖山組に殴り込み決死の戦いを挑んだ。悲惨な戦いであった。沖山兄弟を倒し、この殴り込みに一人生き残った長吉も今は獄中で静かに判決を待っている。木場は元通りに活況を呈し、深川は平穩を取戻した。

40

【0031】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。優秀助演女優賞の受賞おめでとうございます。(最優秀に選ばれるのではないかとおりましたが、少し残念でした。)

3月12日は、2回目ですが「日本大侠客」を見てきましたが、貴女が20歳ぐらいの

50

時の作品で、貴女のお色気が画面から飛び出しそうでした。鶴田浩二さんの相手役よりも、やはり高倉健さんの相手役が似合いますね。

3月31日からは、昭和残侠伝「唐獅子仁義」が始まります。前回見ました「昇り龍」、今回の「日本大俠客」、次回の「唐獅子仁義」の三作とも、最後に貴女が死んでしまう、かわいそうな役ですね。

高倉健さんと共演させたのは、「あ・うん」が最後だと思いますが、私を含めた日本映画のファンのためにもう一度共演作が世に出ることを期待しております。我々昭和40年代の東映任侠映画ファンもだんだん歳をとってきました。当時の藤純子様の写真集が出版されることを期待しております。

舞台出演も期待しておりますので、お忙しい中がんばって下さい。

10

敬具

平成12年3月17日

(日本大俠客)

この映画は、俊藤プロデューサーの娘でもある藤純子が大抜擢されて、一躍売れっ子になった作品としても有名。映画の中で藤純子は鉄火肌の芸者・お竜を演じてピストルをぶっ放すが、これが後の『緋牡丹博徒』へとつながって行く。マキノ監督は『緋牡丹博徒』シリーズを1本も撮っていないのだが、間接的な生みの親になったというわけだ。

俊藤プロデューサーはこの作品を「マキノの親父には名作傑作が数々あるけど、これはまちがいなくその一本だと思う」と言っているのだが、僕の見立てはちょっと違う。確かに面白い映画なのだが、この映画の鶴田浩二は最初から立派すぎると思うのだ。幼い頃から定職に就かず、朝鮮に出稼ぎに出ても無一文で帰ってきたあげく、料亭に嫁いだ姉の居候になっている磯吉。彼はあちこちから借金をして姉や義兄に迷惑をかけているものの、それでもどこか憎めない人間的魅力の持ち主です。

20

【0032】

富司 純子 様

拝啓

お元気で、忙しく、おすごしのことと思います。

5月は旦那様、菊之助様が歌舞伎座に出演中で特に大変ですね。5月末から6月初めにかけては、寺島しのぶ様も出演なされてご家族全員活躍の程喜ばしく思います。また、7月にはいよいよ新橋演舞場で、「巧名が辻、山内一豊」千代役で出演ですね。音羽会で7月20日の切符を入手させていただく予定です。私は、とにかく顔を拝見できればいいので、妻の反対を押し切って最前列を希望しました。

30

ところで4月30日には、新宿の映画館で「緋牡丹博徒(第1作)」を上映してありました。娘さんの時の感じとお竜さんになった時の感じが、すっかり変わるのに改めて驚きました。山下耕作監督が、お竜さんにあえて地味な着物を着せて見せたかったと書いておられましたが。

でも、何と言っても、もう一度観てみたいのは、「お竜参上」ですね。貴女が一番美しくシャシンになっているのではないのでしょうか。

なお、私事ですが、長男(貴女の長男、菊之助様と同じ歳と思いますが)は、福岡に着任しました。家業のない者のつらさで、私自身、故郷をはなれてはや30年近くになります。

40

敬具

平成12年5月9日

やまのうち かずとよ のつま(1557~1617年)夫、一豊は織田信長の部下。一豊のために嫁入り仕度のお金で馬を購入、その馬の手入れをした。信長はそれを喜び、ほめたたえた。

【0033】

富司 純子 様

拝啓

お元気で過ごしのことと思います。ところで妻から聞いたのですが、来年はNHKの

50

大河ドラマに出演されるそうですね。私は通常は、大河ドラマを見ません（渡哲也さんの織田信長の時は見ましたが）。来年は毎週楽しみにして見ようと思っております。

また、今月の26日からは、新宿の映画館で、「一宿一飯」が上映されます。学生時代に見た、相手の男が傘の上を空を描いて舞い、池に落ちて行くシーンと鮮やかな緋牡丹を見せる黄色の着物のシーンが思い出され、これもまた楽しみにしております。

敬具

平成12年5月16日

明治十七年秋。上州の農民たちは、高利貸倉持に収穫物をカタに取られ困っていた。一方、笠松はひそかに倉持と結託、上州一帯の生糸の総元締会社設立を図っていた。この計画を察知した戸ヶ崎は、農民に犠牲を強いる笠松のやり方に怒り、笠松一家に殴り込んだ。その時は、お竜は戸ヶ崎のはからいで四国の熊虎一家を訪ねていた。戸ヶ崎が殴り込んだことをお竜はそこで聞いたが、戸ヶ崎一家は笠松一家によって全滅したのだった。お竜は急ぎ上州に戻ったが、そこはもう日の出の勢いの笠松一家の勢力圏になっていたのだ。後日のことを考慮した戸ヶ崎によって彼の娘まちと結婚して戸ヶ崎組の跡目を継いだ勇吉は血気にはやって殴り込んだが、逆に私刑を受ける有様だった。お竜はそんな勇吉を何かと助けていたが、関八州の親分の一人宮内がその後楯となってくれた。一方笠松は邪魔なお竜を消そうとして襲ったが、一匹狼周太郎に阻まれた。しかし、笠松にはもう一つ企みがあった。戸ヶ崎組の経営する郵便馬車の権利を手に入れることだった。笠松はまちを脅し、ついにその権利書を手に入れたのだ。憤怒に燃えた勇吉は、笠松組と争いなぶり殺したあってしまった。ここに至っては、お竜も決心せざるを得なかった。周太郎とともに勇吉の葬合戦とばかり、笠松組に殴り込み、笠松を倒したのだった。

【0034】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと思います。旦那様、菊之助様は5月大歌舞伎で、純子様にとってもお忙しい毎日のことと思います。

ところで、私も昨日(21日)には、一番列車に乗り、朝7時には一幕見の切符購入の列に並び源氏物語を見ることができました。双眼鏡片手に遙か遠くの舞台を見下ろすのもなかなかいいものでした。特に3幕目の菊之助様の若紫は、とても美しくて素敵でした。まだ本物を読んだことのない私ですが、源氏物語の外郭がわかったようで、たいへん楽しい一日でした。

また、夜には大河ドラマで秀頼の役で出演されているのを拝見しまして、富司純子様の若き日を思い起こさせるような気がしました。

28日は、「一宿一飯」を見に行く予定ですが、何とその日に「花と龍」も上映されるということです。今から楽しみにしております。

敬具

平成12年5月22日

歌舞伎源氏が初演されたのは昭和26年。1951年3月のことです。東京大空襲で焼失していた歌舞伎座がようやく再建されました。戦争中にも上演予定があったそうですが、当時は源氏物語がタブーとされていた時代で上演できませんでした。戦争が終って帝も現人神から人間天皇におなりあそばし、ようやく源氏物語が文学や芸術として大手を振って歩けるようになったわけです。

初演の時光源氏を演じたのは、今回光源氏を演じる市川新之助さんの祖父、十一世市川團十郎でした。当時歌舞伎役者の中でもダントツのイイ男でした。写真を見ると新之助さんによく似ています。新之助さんは今の歌舞伎界の若手のホープでかつお祖父さん似のイイ男という評判です。

また、昭和45年、58年の上演組は、今回光君、紫の上、頭中将を演じる「平成三之助」こと新之助、菊之助、辰之助の父に当たる当代團十郎、菊五郎、故初代辰之助という、当時の歌舞伎界を背負って立つ人気若手組でした。源氏物語ファンだけでなく、ずっと昔から歌舞伎を見つづけてきた歌舞伎ファンにも非常に思い入れのある演目なのです。

【 0 0 3 5 】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと思います。5月大歌舞伎も終わり、ほっと一息といったところでしょうか、それとも、いよいよ「山内一豊の妻」の役作りで忙しくなるのでしょうか。

5月28日は、「花と龍」「一宿一飯」を見てきました。貴女のみずみずしい美しさが両方の映画にあふれており、楽しませていただきました。「一宿一飯」で貴女が、緋牡丹の刺青を見せる時、涙が出ていたのですね。スクリーンを注意して見ておりましたら、気がついたのですが、あれは、肌を見せることに対する悔しさ、それとも演技でしょうか？

10

6月には、貴女の出演する映画の上演は組まれておりません。残念ながら・・・でも、7月にはいよいよ新橋演舞場で貴女の舞台が見られます。双眼鏡も10倍のものを買いまし、あとはチケットが来るのを待つばかり。

ところで、「舞ちゃん」という雌犬のほかに、まだ2匹犬がいるということですが、まだ元気ですか？ 私の家には、4歳の「モモ」という猫が一匹いますが、元気です。

当面は、去年のNHKのスタジオパークのビデオと貴女の東映のCDでも聞いて過ごしましょう。

またつまらない手紙になってしまって申し訳ありません。

敬具

平成12年5月29日

20

山尾組を追放され、愛するマンを連れて彦島を離れた金五郎。昔の仲間と組を立ち上げた彼は、併合組の集会で女賭博師のお京と再会する。

【 0 0 3 6 】

富司 純子 様

拝啓

猛暑のおり、連日の新橋演舞場での公演大変なことと思います。

7月13日と20日は、巧名が辻を拝見させていただきました。13日は3階席で、20日は一階最前列で。（渡辺徹さんは汗をたらたら流しながら演技されていたのですね。）

7月3日には、徹子の部屋に出演なされていたのをビデオで撮っておきましたので、楽しませていただいております。（音羽会の案内では、7月5日になっていましたので、あやうくビデオを撮り逃がすところでしたが、娘が新聞のテレビ番組表で見つけてくれました。）貴女のトークビデオは、3年前の徹子の部屋と、1年前のNHKスタジオパークとで、3本目を収集したわけですが、今回のチャイナドレスの容姿が一番すてきに見えました。ただ、コマーシャルが多く、実質30分もないのが残念です。

30

7月15日は、新宿の昭和館で、「お竜参上」を見てきました。30年前の映画になると思いますが、今さらながら加藤泰監督の傑作だと思います。

同じ月に30年の時間を隔てた両方の貴女を観るのは、30年を経てもなお、美しくていらっしやるのに驚くばかりです。

ところで、12月には元禄港歌が再演されるとかで、チケットが手に入るのを楽しみにしております。

40

名古屋の中日劇場の10月公演とお忙しい日々が続くようですが、がんばって下さい。

敬具

平成12年7月24日

東映任侠映画といえば、活気のあった日本製娯楽映画全盛時代の良さがあるよね。いわゆる定番のプログラム・ピクチャーなんだけど、水戸黄門のごとく安心して見ていられるのだ。この映画も最初から最後までお約束だらけ。いいヤクザと悪いヤクザがいて、悪いヤクザは悪行三昧、いいヤクザは我慢に我慢を重ねて最後に怒り大爆発。もちろん最後は正義が勝つ！その単純さが許された時代っていいな。見所はなんといってもお竜さんの大活躍だ。どんな問題もお竜さんが出れば万事解決。悪人どももお竜さんには敵わない。1人

50

で切って切って皆殺し。そんなバカなとも思うが、かっこいいからいいじゃん。無敵の渡世人ながら女っぽさも忘れない藤純子の艶やかさが素敵だ。菅原文太と交わすストイックな愛情表現もいい。そして嵐寛寿郎親分の貫禄ときたら、もう渋すぎます。定番ネタの中に自分流の美学を忘れない加藤秦のこだわりの演出もこの映画の魅力です。

【0037】

富司 純子 様

拝啓

猛暑の中、巧名が辻もあつと言う間に終わった感じがしますが、ご本人はやっと終わったという感じでしょうか。

貴女の舞台を観られる機会も、私の人生において、この先、さほど数多くはないと思いつつ、3回も観覧させていただきました。 10

ところで、最近マガジンハウスから「銀幕の名花」というタイトルの図書が発行されておりましたので、購入してみました。本がビニールでシールされていましたが、表紙には貴女の写真が載っていましたので、本文の中にも掲載されていることは、確実にわかるものの、いったい貴女のために何ページ割かれているのかわからず、一種の賭けで、思い切って購入してみました。実際に割かれていたのは6頁でした。(大女優は、6頁、その他の女優さんは1頁でした。)6頁の中で掲載されている写真の中では、鶴田浩二さんと一緒に写っている写真が印象的でした。(当然のことながら、鶴田浩二さんも、30年前は、若々しくおられたのですね。ガンのために意外と早く亡くなられたのが、いまさらながら残念です。) 20

日本映画の歴史において、貴女は、最後の女優と言われており、日本映画も「関東緋桜一家」を最後に黄金期の終わりを告げることになるわけですが、貴女の若き日の9年間における約90本の映画出演の偉業は、永遠に残るものと思います。

そう言えば、5月ごろ、新宿で「車夫遊侠伝・喧嘩辰」を見ましたが、あの映画では貴女のキスシーンが出てきてびっくりしました。貴重なシーンを見た気がしました。キスシーンは、あれ一つでは、ないでしょうか?(大奥丸秘物語にキスシーンがあったかどうか忘れましたが。)

8月のお盆前後には、新宿で、「おたの申します」が上映されます。郷里に帰っている期間を短縮して、ぜひこれを見ようと思っております。

8、9月はご主人の菊五郎様は夏休みで、貴女もごゆっくりされるのでしょうか。ご主人様と良き夏休みを過ごされることを期待しております。 30

敬具

平成12年8月1日

【0038】

富司 純子 様

拝啓

暑さが続くおり、いかがお過ごしでしょうか。

8月16日には「おたの申します」「侠客列伝」を見てきました。「おたの申します」では、藤純子さんが、指を詰めるシーンがあったのですね。いたいたしい感じが鮮烈な印象として残りました。 40

「侠客列伝」も始めて見たのですが、最後に愛する鶴田浩二さんが死んでいくのを見取る貴女の演技が印象的でした。

9月8日からは、「関東緋桜一家」が上映されます。貴女の藤純子時代の最後の映画ですが、ちょうどその後、私は学生生活を離れ、社会人としての生活を送ることになりました。貴女は、その後、尾上菊之助様との結婚生活にはいられたのですね。「関東緋桜一家」が上映されてから、もう28年の歳月が流れたのですね。我々が世の中からいなくなるころには、あの映画館も世の中から消えるのでしょうか。

そんな意味でも、「藤純子」の映画女優時代の写真集が出版されることを期待しております。

ところで、夏休みはいかがお過ごしでしたか。有意義な夏休みを過ごされたことを期待 50

しております。

敬具

平成12年8月22日

【0039】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと思います。

旦那様と有意義な夏休みをお過ごしになられているのではないかと想像しますが、それとも広尾で菊之助様、お弟子様お犬のお世話をされているのでしょうか？

先日(10日)は、「関東非桜一家」と「博徒一家」を映画館で見ました。「博徒一家」は1970年上映の映画ですから、どちらかと言えば引退が近くなってきたからの作品だったのですね。ビデオ店でも置いていないので、私自身は始めて見たこととなります。「関東非桜一家」は、ビデオも持っていますので、もう何度も見た作品ですが、映画館で見ると、さすがに殺陣の場面の迫力が違います。しかし、だんだんフィルムも傷ついてきて途中で時々飛んだりしているのを見ると、当時の映画もしいに世の中から消えていくのではないかとすると少々残念な気がします。

さて、今年の秋から来年の春にかけては大活躍ですね。10月の名古屋の「祇園の姉妹」、12月の川口での「元禄港歌」、1~2月大阪での「近松心中物語」、3~4月明治座での「近松心中物語」と連続していますね。私は、川口の「元禄港歌」、明治座の「近松心中物語」を観たいと思っています。

では、健康で元気に、過密スケジュールを乗り切り、私達ファンを楽しませて下さることを期待しております。

敬具

平成12年9月12日

【0040】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと思います。

そろそろ旦那様の夏休みも終わりに近づいたことと思いますが、貴女には、オリンピックを見る時間などあったのでしょうか。

10月の予定は知りませんが、11月は中日劇場で「祇園の姉妹」(今まで10月と思いき勘違いしておりましたが、インターネットで確認しましたら11月になっておりました。)の公演がありますね。約1ヶ月の名古屋でのホテル生活でしょうか。

ご存知のこととは思いますが、「日本女侠传シリーズ」が最近東映ビデオから発売されました。さっそく、5作品とも購入しました。私は、「侠客芸者」しか映画では見たことがありませんので、楽しみにしております。

12月21日には、音羽会の懇親会があると聞いておりますが、一生の思い出にぜひ一度、近くでお顔を拝見したいものだと思っています。

それでは、ますますのご活躍(ほんとうに最近のご活躍はすごいですから)をお祈りしております。

敬具

平成12年9月26日

【0041】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと思います。

いよいよ11月は名古屋ですね。名古屋弁がうつらないように気をつけて下さい。名古屋弁は、品がないですから。聞いていると楽しい言葉ではありますが。

ところで、日本女侠传シリーズのビデオを全部見ましたが、なかなか面白かったのが、「激闘ひめゆり岬」でした。ズボンに帽子の姿がなかなかすがすがしいものでした。19

10

20

30

40

50

71年11月の上映ですから、東映をやめる直前の作品ですね。沖縄女性の雰囲気を出すための化粧も色っぽく感じました。当時は返還前で撮影もそれなりにご苦労があったのではないのでしょうか。相手役が菅原文太さんで、高倉健さんでないのもピッタリしていたようです。（高倉健さんが最後に銃殺される役ではかわいそうですから。）

昨年スタジオパークで、沖縄口ケのために大型の運転免許をとられた時のお話をされていましたが、この映画のためだったのですね。しかし、東映を辞める直前にも大型車の免許をとらねばならないとは、役者は大変ですね。

それでは、11月の「祇園の姉妹」がんばって下さい。

敬具

平成12年10月27日

与那嶺ゆりは、戦死した両親の意志をつぎ、運送会社を経営していた。ある夜、暴力団岩松組にからかわれていた花売娘を助けたことから、ゆりの母親の郷里新城部落の悲惨な現状を知る。

【0042】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと思います。11月の名古屋の「祇園の姉妹」も、川口の「元禄港歌」も終わり、いよいよお正月を迎える準備に忙しいということでしょうか。（我々の正月は、まったく静かなものですが。）

「元禄港歌」は、10日と17日の2回見させていただきました。（いつも、初回に見る時は貴女ばかりを見ていて、ストーリーがわかりませんので、2回目にやっとストーリーがわかるといった具合です。ノ頭がわるいのかもかもしれませんが。）

来年は、NHK大河ドラマに出演されるので、久しぶりに大河ドラマを見てみようと思っております。恐らく録画撮りは、すでに終わっていることと想像しておりますが。（大河ドラマは、テンポがゆったりとしすぎているので、通常は見ません。映画のテンポが私には合っています。）

ところで、昨日（17日）には、音羽会のスタッフの方から、貴女の名前ののしがみのついたケーキをいただき、甚だ恐縮いたしました。まずは、お礼と思ひまして、手紙を出させていだいたしだいです。

敬具

平成12年12月18日

自分勝手にワガママ者、取り巻きを大勢引き連れ歩いている・・・

それが「ひばり」のイメージとして長く脳裏にあったという。

劇中歌の吹き込みが気掛かりでスタジオで待ちかまえている蜷川の前に

「おはようございます・・・今日は頑張るうね・・・」

お手伝いさんを一人連れ明るく挨拶をしてやってきた小柄な人・・・まさか

「この人がひばり？」

数回演奏を聴きながら口ずさみ、いざ吹き込み本番・・・

演奏者達に「このあたりの歌詞で泣くかも知れないけど、よろしくね・・・」と

声を掛け「本番・・・」と気合いを入れいよいよ始まった。

ひばりが「泣くかも知れない・・・」の歌詞にかかった、涙が溢れ目からこぼれ落ちた。

本当に泣きながら「むせぶ様な声」で歌い続けている。

蜷川の全身を震えが襲った「何と言うことだ・・・」

吹き込みも一度だけでOK。歌い終わると、演奏者達にまた振り向きひばりはこう言った。

「泣いちゃった・・・」「お疲れさま・・・」

一部始終を目の当たりにして、蜷川は「コワサ」を感じたとか。

この人は本当の天才なんだ、まるで計算され尽くしたかのように言葉どうりに涙を流して泣きながら歌いきる。

目の前にいる「ひばり」は歌手ではない、この芝居そのままの「ゴゼの語りだ」

10

20

30

40

50

歌詞を歌っているのじゃない、歌詞さえ科白にしてしまう。

【 0 0 4 3 】

富司 純子 様

拝啓

感謝感激でした。昨日（ 2 1 日 ）は、大変楽しいひとときを過ごさせていただき、ありがとうございます。菊五郎様、菊之助様、しのぶ様も近くで拝見させていただき、有意義なパーティでした。また音羽会の鈴木正義様はじめ、場を盛り上げて下さったスタッフの方々に感謝いたします。

貴女に、一言挨拶させていただければよいと思い出席させていただきましたが、写真を撮っていただいたり、ダンスまで付き合っていたいただいたりと、夢のような時間でした。（私共より少し年配の方々や、若い方々には、ダンスがお上手な人が多いのですが、私共の年代はあまりダンスをする機会に恵まれなかったように思います。もっとも、貴女以外にダンスをしたい女性などいませんが。ただし、ダンスそのものは、私は好きで、インターナショナル選手権を見に行ったり、「サタディナイトフィーバー」や「ダーティダンシング」のビデオを持っていますし、ダンス音楽のCDも多数もっています。）

スタアの写真撮影は、肖像権で、不許可だと思いカメラを持ってきませんでした。ポラロイドで写真を撮っていただき、感謝感激でした。

21日の感動は、私の長男が出来たことを医者から知らせてもらった時依頼です。（私には、兄弟がなく、両親から孫の誕生を期待されていまして、結婚して2年間子供に恵まれなかった時、すぐ夫婦で不妊の検査を受けたところ、間もなく子供に恵まれました。続いて長女、次女と生まれました。私の両親は、岐阜で生活しておりますので、いずれ岐阜に戻らねばなりません。）

最後の貴女の挨拶で、「来年の7月からは主婦にもどる」とのお話がありましたが、最近のご活躍を見ると、大女優の道に進まれることで、家族の意見の一致があったのかと思っておりましたが、そうでもないのでしょうか。ともかく貴女が、女優に戻られたおかげで、会話させていただける機会を持てたわけで、我々、貴女のファンにとっては、いずれにせよ、ありがたいことです。

菊之助様と私の長男が、同じ年の同じ月の生まれであったことは、なんとなくうれしく思いました。ただお父様（俊藤浩滋様）がお元気が、聞き忘れたのが残念でした。（「任侠映画伝」によれば、元気に現役でご活躍と書かれていますので、お元気のことと思いますが）

敬具

平成12年12月22日

【 0 0 4 4 】

富司 純子 様

拝啓

お元気で、お正月の準備に忙しくされていることと思います。

歌舞伎は、1月2日から始まりますから、正月をゆっくり過ごされたことなどないのでは？

ところで、日比谷線の中吊り広告を見ていましたら、週刊文春の目次の中に、“藤純子のデビュー「スチャラカ社員で」”というタイトルが目につきました。残念ながら、スチャラカ社員時代とか映画「男の盃」の時代の貴女の記憶は、あまりありません。当時は自分の限界まで勉強一筋でしたから。映画を見出したのは大学に入ってからです。

記事を読みました。すべて私の知っている内容でした。（キネマ旬報 1971年8月特別号「任侠藤純子おんなの詩」と芳賀書店の写真集「藤純子」を国会図書館でコピーして持っていますので。）記事に載っている写真は、スチャラカ社員時代のものと、お竜さん時代のものだと思います。

しかし、さすが最後の銀幕の大スタア藤純子様、今世紀最後の週刊文春の記事に登場するとは。

10

20

30

40

50

きっと私のような貴女のファンは、数えきれないくらいいるのでしょう。

それでは、良いお年をお迎え下さい。

敬具

平成12年12月27日

『スチャラカ社員』

61年4月から67年4月まで続いた人気番組で、ダイ・ラケの決定版となったのが『スチャラカ社員』だった。海山物産という商事会社の大阪支店を舞台としたサラリーマン・コメディ。「定年までポチポチいきまひよか」という、中年の無気力社員がダイ・ラケにピッタリだったよ。

社長がミヤコ蝶々。オフィスを大阪支店にしたのは、「民放各局に出演していて、スケジュールのきついミヤコ蝶々が、毎週出演できないことを考慮しての設定だった」と、この番組のディレクターだった澤田隆治氏が「上方芸能列伝」という本に書いていた。支店長が横山エンタツ。腰痛で座ったままの演技が多かったが、とぼけた味が何ともいえなかった。若手社員役には、腹話術の川上のぼると、「ハセく〜ん」と叫んで恋人の女子社員を追いかける藤田まこと。藤田まことの名が知られるようになるのは、この番組からだった。

10

追いかけられる美人女子社員が長谷百合。「ほんと、ちい〜とも知らなかったわア」と

とぼける課長が人見きよし。長谷百合は映画出演するようになり、後に女子社員は、当時高校生だった藤純子に、課長も長門勇にバトンタッチした。

20

【0045】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしでしょうか。

年始の関係深い方々のご挨拶も一通り終わりほっと一息といったところでしょうか？1月25日から2月18日まで休みなしで近鉄劇場で「近松心中物語」に出演なされるので、休む間もなく大阪入りするのでしょうか？

私はと言えば、貴女の主演映画のビデオや、高倉さん、鶴田さんとの共演映画のビデオを見たり、大学駅伝をテレビ観戦したりとのんびり過ごしておりました。ビデオを見るにつけ、昨年12月21日に本物のご本人にお会いできたとは、なんだか今でも不思議な気がします。(映画の中では「侠骨一代」など、何度見ても、花のように貴女が美しいと思います。)緋牡丹博徒を見ていて、いつも馬鹿な疑問を思うのですが、お竜さんが、時々着替えられる着物は、旅するお竜さんの小さな小荷物の中から、どうして出てくるものか？いずれにせよ、今年の音羽会のパーティも何とか都合をつけて参加させていただきたいものだと思っています。

30

ところで、松竹(株)永山会長様、菊五郎様、辰之助様から、尾上梅幸様、尾上松緑様を偲ぶ会のご案内をいただきました。梅幸様は、徹子の部屋で菊之助様の誕生お宮参りの記念写真で見ただけですし、松緑様は、まったく知りませんし、私のようなものが、出席するのは何となく場違いのところへ行くような気がします。貴女が、29日12時から公演終了後、東京へ戻られることを、新橋演舞場宣伝部の方にお聞きし、出席することにいたしました。(出席する動機たるや不謹慎かもしれませんが。)それにしても、何というハードスケジュール、翌日は、12時からまた公演が予定されているというのに。

40

1月6日には、NHKの劇場への招待「功名が辻・山之内一豊の妻」が放送されましたので、ビデオに収めました。また一つ貴女のビデオコレクションが増えました。NHKに感謝！それから大河ドラマも(こちらは、ビデオ撮りするわけにはいきませんが。

では、今年もますますご活躍されることを期待しております。

敬具

平成13年1月9日

【0046】

富司 純子 様

50

拝啓

今回のニュース、昨日のインターネットで知りましたが、昨年からスケジュールが過密続いていたので、内心、貴女の健康を心配していたところです。

また、梅幸様を偲ぶ会では、貴女を発見できず、あるいは体調が悪く、来られなかったのでは？ と考えたりしておりました。その時もなんとなくいやな予感がしました。

もっとも、1公演約5トンの紙ふぶきの中で演技するのでは、一種の職業病と言えるかもしれません。

とにかく、健康が一番です。ゆっくり休んで下さい。

年末の音和会のパーティの時、元気な顔を拝見できるのを楽しみにしております。

実は、私、音羽会のルートとは別に、一人で会社を休んで見に行く切符をすでに手配していたのですが、しょうがないので、のんびり高橋さんの演技でも観ようかと考えているところです。

もし、貴女の全快祝いパーティを音羽会で開催していただけるとファンとしては、ありがたいのですが。

敬具

平成13年2月21日

同作品は、「常陸坊海尊」「かさぶた式部考」「村岡伊平治伝」などの作品を生み出してきた作家・秋元松代が、『冥土の飛脚』を始めとする近松門左衛門三作品を元に作り上げたオリジナル作品である。演出はおなじみ蜷川幸雄。プロデューサーの中根公夫氏いわく「CMじゃないけど、何も足さない何も引かない」という、好評を博して来た従来の演出そのまま、重厚な配役で脚本の奥深さを表現する。主人公の忠兵衛役には初演から86年まで演じてきた平幹二郎が再び挑戦し、相手役の遊女梅川を富司純子が初出演する。

【0047】

富司 純子 様

拝啓

ご回復の程いかがですか、少しはゆっくりとされているのでしょうか？

3月10日に、仮名手本忠臣蔵（夜の部）を妻と見てきました。美形の菊五郎様、菊之助様を見たいという気持ちと、音羽会のスタッフの方に回復の具合をお聞きしたかったものですから。新橋演舞場へは、会社から15分ぐらいで行けますので、会社の昼休みに行っ
て切符が手に入ります。（スタッフの方が、だいぶ良くなられたと話されておりましたので、安心しております。全快の祝賀パーティをぜひ開催して下さいとスタッフの方にお話
しましたら、笑って「話ときます。」と言っておられましたが、ほんとうに貴女にお話
なるのでしょうか。）

ところで、日曜に本屋をのぞいていましたら、貴女の写真が雑誌の表紙に出ているのを見
つけ（「ゆうゆう4月号・特別号」）購入しました。記事のかなりの内容は、俊藤浩滋
様の「任侠映画伝」や徹子の部屋やNHKのスタジオパークで知っている内容でしたが、
知らない話も一部ありました。雑誌の記事の中では貴女がオードリ・ヘップバーンに似て
いる雰囲気があると書かれていましたが、私は、オードリ・ヘップバーンよりも貴女のほ
うがすばらしいと思っています

藤純子の時代の貴女も、すばらしかったのですが、50歳を超えてからの貴女は、若い
時にはない美しさで、また輝いていますね。今回の雑誌を見てあらためて、そう思いま
した。そんな貴女を今年は年末のパーティの時まで見る機会がないと思うとかなり残念です
。雑誌の記事の中で、不思議に思ったのは、しのぶ様と菊之助様が一つの部屋をアコー
ディオンで仕切って使われていたように書かれていたことです。いままで、貴女は大邸宅に
住んでおられたと聞いていましたので。（あるいは、大邸宅もお弟子さんたちが多く、家
族のスペースとしては、多くとれないのでしょうか？）家を立て直しておられることは、
スタジオパークの中の話でなんとなくわかっていましたが、昨年6月に完成したという
ことで、改めて、おめでとうございます。他の記事の内容としては、もう地方の公演には
出場しないようなことが書かれていました。私も、関東に在住している間にできるだけ多
く貴女が出演される劇を見ようと思いました。

10

20

30

40

50

それにしても、もう一度映画に出演されることを切に希望します。最後の映画になるとしたら、それは、日本映画史上最強のコンビ高倉健さんでなければならぬと思います。「あ・うん」が最後の映画でもう13年も前になりますね。

話は変わりますが、最近インターネットで、「緋牡丹博徒」を貴女以外にも、レコーディングしている人がいることを知りました。藤圭子さんです。(貴女は、ご存知だったかもしれませんが。) 昨年12月20日に藤圭子のCDボックス(102曲入り)が発売されていまして、購入して聞いてみましたところ、貴女の歌とはまた一味違って、ドスのきいたなかなかの仕上がりになっていました。(同じCDボックスに入っていた「唐獅子牡丹」もなかなかのものでした。ところで、藤圭子さんは、本名「阿部純子」といって貴女と同じ純子という本名なのですね。お二人共、優秀な子供に恵まれてお幸せな点も共通しています。(もっとも、藤圭子さんは、引退される時は、人気落ちてきた時で、貴女のように人気絶頂の時に引退されたのとは状況異なりますが。作詞作曲家で作家である石坂まさを氏の「宇多田ヒカル母娘物語」によれば、その分、藤圭子さんには、娘ヒカルさんに賭ける野望は大きいようです。さらに「宇多田ヒカル母娘物語」のP.161に石坂まさを氏が次のように書いています。・・(「新宿の女」、「女のブルース」、「圭子の夢は夜ひらく」、のヒットを飛ばしたあと4作目「命預けます」を生み出す時の苦勞話の1節ですが)「ええい、こうなったらやるしかない」とペンを持ったが、テーマが見つからない。フレーズが書けない。そこで僕は意外な方向に目を向けた。当時、映画館ではオールナイト興行が流行っており、猫も杓子も映画館に出掛けていた。お目当ては高倉健主演の唐獅子牡丹こと「残侠もの」と藤純子主演「緋牡丹お竜もの」だが、どちらもやくざ渡世映画で悪い奴らに散々しいたげられ、最後に堪忍袋の緒が切れ、お命いただきますと主役が啖呵を切り、健さんと藤純子さん扮するヒーローとヒロインが悪いやつらを切って切って切りまくるのだ。僕はこの二つの映画の中にしか大衆の叫びはないと考え、連日連夜深夜の映画館に通いつめた。そして、この「命預けます」のフレーズも、この深夜の映画館からひらめいたものである。・・藤圭子さんの第4作目が貴女の映画から発想されているのは実に興味深い。ただ、藤圭子さんは、この「命預けます」のあと人気は叙々に落ちて行くのですが。(同じ本名「純子」という女性が、「藤」という同じ名字でほぼ同時期に人気者になったり、藤圭子さんの両親も、貴女の両親も離婚されている点でも共通点があるのは、同世代を生きてきた私どもにとっても少し興味深いことです。なお、お二人共、3人兄弟の3人目であることも共通しています。)

今日は、貴女にとっては、どうでもよい話を長々と書いてしまった気がします。もし最後まで読まれたら、貴重な時間をうばってしまって、申し訳ありません。

では、お元気で早く全快されることを期待しております。最後にできれば全快祝いのパーティを開催して下さることを希望しつつ、失礼いたします。

敬具

平成13年3月12日

【0048】

富司 純子 様

拝啓

最近、いよいよ春らしくなり、貴女の回復の具合もどんどん進んでいるのではないかと想像します。あるいは、もうすっかり良くなられたのかも？

ところで、昨日(3月18日)は妻と二人で、近松心中物語を見に行く予定でしたが、キャンセルをしました。ちょうど新宿の映画館で貴女の出演の映画を上映しておりましたので、私だけ見にいきました。いまだに約30年前の任侠映画が繰返し上映されているのは不思議な気がします。客は60歳ぐらいの人が多いのですが、中には若い人もいます。昨日は、結構客が入っていました。入場料は3本立てで、1300円、朝一番に行くと1100円です。

昨日の映画は、1. 昭和残侠伝 死んで貰います(1970.9.22封切り、貴女=幾江) 2. 博徒対テキ屋(1964.12.29封切り、貴女=お咲) 3. 日本女侠伝 血斗乱れ花(1971.4.3封切り、貴女=平野てい)でした。(1.、3.はポスタ

10

20

30

40

50

ーも実物が残っており、よく保存されているものだと思います。) 1. 3. はビデオを持っており、1. は映画館で見るとさすぐに迫力が違いますね。2. の作品は、私がまだ15歳の時の作品なのでまだ見たことがありませんでした。(ビデオ屋さんにも置いてありませんし。) 貴女がデビューして2年目の作品ではないでしょうか。貴女のお顔も、1. 2. の作品よりも、ふっくらとしております。松方さんの恋人役でしたが、鶴田さんの恋人役に島倉千代子さんが出ており、島倉さんの歌が流れていたのが、なんとなく愉快でした。それにしても、デビュー2年目にして、すでにスクリーンの中で目立っていましたね。1. 3. での映画での貴女の美しさは、言うまでもありません。

ところで、高倉さんと貴女が結ばれる映画は、「日本侠客伝 斬り込み」「遊侠列伝(この作品では、貴女は若くして病で亡くなります。)」 「関東緋桜一家(この作品では、おそらく健さんと結ばれるのだろうという場面で終わります。)」 という意味では、「日本侠客伝 斬り込み」が唯一の健さんとの結婚式の場面があり、ハッピーエンドの映画になっている作品ではないでしょうか？

「あ・うん」も何となく切ない関係でしたし。今日もまたとりとめのないことを書いてしまいました。では、当面は、主婦としてがんばって下さい。

敬具

平成13年3月19日

【0049】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか？ 桜の咲く頃となり、お体のほうもすっかり良くなってらっしゃるのではないのでしょうか。

ところで、昨年12月17日に貴女から、お土産をいただいたり、21日には写真を撮っていただいたりしましたので、何かお返しをと考えておりましたが、なかなか適当なものが思いつきません。

お金があれば、着物でも差し上げたいのですが、何かの情報で、最近貴女が、歌舞伎の雰囲気を持った素敵な着物を作って、それを着ておられた写真を拝見しましたが、あのような着物はいったいいくらするのか、私には、想像もできません。雑誌「ゆうゆう」では4万～5万のブラウスを着ておられましたが、その程度の物なら私にも手が出ますが、貴女センスに合ったものはいけませんし、私には、女性物の洋服のサイズの知識もありません。また、そのような種類のものを送ること自体、菊五郎様の感情を害することにもなりかねません。

そこで、瀬戸内寂聴さんの「生きることはあなたへ」という本を贈らせていただくことにしました。すでに、お持ちでしたら、ご家族の方が、お友達にでも差し上げて下さい。

最初の貴女へのファンレターにも書きましたように、私は、1995年頃に鬱病になり、自殺まで考えていたところを、貴女の映画(ビデオ)を見まくることで、幸福な気持ちになり、最近病も良くなりました。緋牡丹博徒第8作「仁義通します」で、貴女が現れて、悪いやつらをやっつけるのを見て、渡世人の中の一人が、「観音様が現れたのやないか」という台詞を言っていました。私にとっては、まさに貴女が観音様で、寂聴さんの本を手元に置く必要はありません。

本というものは、人の心を動かす力を持っていますので、お贈りしました本が邪魔になれば、前にも書きましたように、お友達にでも差し上げて下さい。ただ、この本は、ゴミ箱に入れるような本ではないとは思いますが？

手紙が長くなって申し訳ありませんが、今日は、私の趣味について書かせて下さい。私は、菊五郎様、貴女、貴女のお子様達と違ってスポーツは、まったくダメです。ゴルフも練習場にはずいぶん通いましたが、120ぐらいのスコアしかでないの、最近はやめてしまいました(その分、演劇を観るのに資金が回せます)。球技は子供の頃から苦手です。ただし、陸上競技は、得意でした(そのせいか、長男は、ラグビーの全日本高校選抜チームに選ばれるまでになり、大学時代の4年間もラグビーを続けて卒業しました。)

10

20

30

40

50

私の趣味は、もっぱら 1 . 音楽鑑賞（ただしクラシックは苦手。その他のジャンルなら何でも好きですが。歌のものでは、美空ひばり、春日八郎、三橋美智也、鶴田浩二、高倉建、井上陽水から S M A P、V 6、浜崎あゆみ、宇多田ヒカルまで等々といういろいろ好きです。もちろん貴女の緋牡丹博徒も。）と 2 . 映画（小説の名作物は苦手。）、3 . 観劇（貴女の出演のもの、菊五郎様、菊之助様のものしか見ません。しのぶ様の現代劇は苦手。）、4 . 読書（もっぱら映画俳優のことにについて書いたものが好きです。最近出版された、娘さんが書かれた鶴田浩二さんのものとか。）です。

C D は 1 0 0 枚以上、映画ビデオは 2 0 0 本程度持っています。

持っている映画ビデオ中で、最も何回も繰り返し観るのは、何といても、貴女の「緋牡丹博徒シリーズ」「昭和残侠伝シリーズ」「日本女侠传シリーズ」「人生劇場・飛車角と吉良常」「侠骨一代」「あ・うん」等々です（見た回数が、1 0 0 回を超えているものもあると思います）。

10

次に多く観るのは、高倉さんのものでは、「幸せの黄色いハンカチ」「遥かなる山の呼び声」「駅」「八甲田山」「鉄道員」。オードリ・ヘップバーンのものでは、「ローマの休日」「麗しのサブリナ」。マリリンモンローのものでは、「帰らざる河」「7 年目の浮気」「バス停留所」。ビビアンリーのものでは、「風と共に去りぬ」。チャールトン・ヘストンのものでは、「ベン・ハー」「十戒」。等々です。

ところで、東映ビデオに「女渡世人シリーズ」の発売の予定を問い合わせたところ、発売の予定はないとのことでした。少し残念です。

また、つまらない手紙を書いてしまいました。ご迷惑をおかけしているのではないかと反省しております。

20

では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成 13 年 3 月 26 日

某国の王女・アン（オードリー・ヘップバーン）が親善旅行の最終訪問地ローマに着いた。大歓迎を受けるが、自由な生活に憧れを抱くアンは侍従たちの目を盗んで大使館を脱出。ローマの街中で寝込んでしまったアンを仕方なく助けたのが、通り掛かりの新聞記者ジョー（グレゴリー・ベック）だったが、自分が助けた娘は王女だと気づいて・・・。

【 0 0 5 0 】

富司純子 様

30

拝啓

お元気でお過ごしでしょうか？

音羽会より、7 月 1 5 日に懇親会が開催されるという連絡をいただき、大変よろこんであります。日曜日なので、参加しやすいのが何よりです。平日に 5 時からの場合は、ちょっと工夫をしなければなりませんので。

今度は、私の妻も参加すると話しております。（ほんとうは、一人で参加したいのですが。）

瀬戸内寂聴さんの本は、いかがでしたでしょうか。そう言えば、5 月の源氏物語は、瀬戸内寂聴さんの訳・脚本ですね。音羽会には 3 階 A 席（2 枚）をお願いしました。（3 階 A 席をお願いするとは、失礼かもしれませんが・・・。貴女の演劇の場合は、いつも最前列をお願いしているのですが、資金的都合もありますので。）

40

今回で、3 0 回以上のお手紙になりますが、ファンレターの数では、最高でしょうか？

あるいは、まだ上には上がりますでしょうか。でも、それだけご迷惑をおかけしているのかもしれませんが。少し反省しております。

では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成 13 年 4 月 5 日

これも先輩に頂いた本です。あまりに有名な著者であるせいか、今まで一度も読んだ事はなかったのですが、読んだ後は寂聴さんの人間的な魅力にはまりました。

50

私はこの本にたくさん付箋をつけています。

最初から順に読むもよし、ランダムに開けて読むもまたよしです。

【0051】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと存じます。

源氏物語のチケットも12日の分を予定通りご手配していただき、喜んでおります。

何かの週刊誌で、今や源氏ブームで映画も近々制作されるとかの記事を見ました。

ところで、昨日は新宿で「日本侠客伝」(64年8月13日封切り)を見ました。実は、以前にも見たことがあるはずなのですが、すっかりストーリーを忘れてしまっていました(貴女が出てくる場面だけしか見ないことも多いので、あとの場面は、半分寝ています)。貴女は、健さんの恋人役だったのですね。お顔がふっくらとして、まだ初々しい感じがしました。(63年8月13日封切りの「男の盃」から、1年と少ししか経ってない時の作品ですものね。まだ、NHKの源義経が放映される前の作品ではないでしょうか?)

デビューして2年目の作品であるにもかかわらず、すでにポスターの左上には、貴女の顔が載っていました。

5月26日は、健さんの主演映画「ホタル」が封切りとなりますね。こちらの方も、今から楽しみにしております。封切り日に行く予定です。(いつものように舞台挨拶には、健さんは、出てこられないと思いますが、多少の期待を持ちながら。昔は、健さんも舞台挨拶に出られたようですが。)貴女も時間がとれば、そっと見に行かれたらいかがでしょうか。つまらない内容の手紙で申し訳ありません。

それでは、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成13年4月23日

【0052】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと思います。30日は、人間国宝中村歌右衛門様の葬儀・告別式に参列されたり、通夜にも参列されたりと、お忙しいことであつたろうと思います。告別式は、3000人の参列者で、田中真紀子外相の参列の様子も拝見しました。テレビでは、菊五郎様も写っていました貴女は、どうかと思ってましたが、テレビでは、見なかったような気がします。妻は、朝日新聞に貴女が、通夜に参列されていたというのが、記事に載っていたと話していましたが、私は、見逃しました

ところで、最近の歌舞伎ブームは何故こんなに隆盛を極めているのでしょうか?今日の不況の時代、景気の良いのは、歌舞伎界、ユニクロ、アサヒビール、電話業界ぐらいではないでしょうか。約400年の歴史を持つ歌舞伎界の人気の根底には、役者さんの方々の子供のころからの精進があるのでしょうか。そこに、襲名という伝統があって、代々芸が引き継がれ、人気が続いているのだと想像しております。(歌舞伎界のことは、複雑でなかなか分かりませんが、親の遺伝子を引き継いでも、歌舞伎はいやだと言って、歌舞伎界を飛び出す人もいるのでしょうか?)相撲界は、最近努力する人が少なくなって、スターがいなくなり、人気は低下している気がします。

ところで、ほかの芸能界は、他の古典芸能を除き、襲名という制度がない為か、代々引き継がれるという可能性はないようですね。高倉健は、あくまで一代かぎり、貴女も一代かぎりですものね。もっとも、日本映画界自体がこのままでは、アメリカ映画の為に滅んでしまいそうですが。

さて、東映任侠映画は、将来いったいどんな歴史的評価がされるのでしょうか。

今さら、歴史的評価を論述する人など出てこないかもしれませんが。ただ、貴女の父俊藤浩滋プロデューサーと、鶴田浩二、高倉健、藤純子の4人が約10年間にわたって、熱狂的な大衆文化を創造してきたことは、事実です。この史実を20世紀の日本の文化史の中で高く評価する本が登場してもいいと思うのですが。

10

20

30

40

50

明日から團菊祭五月大歌舞伎が始まり、貴女は、また忙しくなりますね。

では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成13年5月2日

【0053】

富司 純子 様

拝啓

5月28日のスタジオパークで、お元気なお姿を拝見し喜んでおります。貴女の、聡明な気品さは、日本一ですね。

ところで、スタジオパークも堀尾さんが交替してから、少し面白みがなくなったような気がします。(話しの間合いの取り方とか。)貴女が、出場する時は、50~60歳の男性が司会をされるともっと盛り上がるのではないかと思います。何せ天下の藤純子だった訳ですから。

話の中でインターネットで96本の映画出演とお話しされていたのが、別紙の資料です。(黄色のマークは、私が見たものです。そのうち、半数程は、ビデオを持っています。)緋牡丹は、7作だったかしらと話しておりましたが、8作ですから、忘れないで下さい。今でもCD店で売られている作品ですから。

今度は、6月11日にNHKに出演される予定ですね。また、ビデオ録画をしておくつもりです。

ではお元気で。

敬具

平成13年6月5日

【0054】

富司 純子 様

拝啓

今日6月11日2時5分からの、NHKの番組のなんとという素晴らしさ。

なかにし礼先生も貴女の大ファンであったことが、なんとなく悔しい気がしました。なかにし礼先生の貴女に対する賛辞は、まったく私と同じレベルです。

私も、緋牡丹博徒のタイトルとおおよその封切り時期は、空で言えます。

ただ、なかにし礼先生と違って、私には、菊五郎さんに対する、嫉妬の意識は、まったくありません。それは、私が、今52歳であり、貴女を結婚の相手とすることは、考えること自体、時空的に不可能だったからでしょう。(もっとも3歳ぐらいの歳の差は、今となっては、ないと同じですが。)

私も、なかにし礼先生は好きですが、中でも、北原ミレイが歌う「石狩挽歌」が一番好きです。緋牡丹博徒は、渡辺岳夫先生の作詞、作曲だと思いますが、私も最も好きな歌の一つです。あとは、阿久悠先生の「津軽海峡・冬景色」、吉岡治先生の「天城越え」等が好きです。

ところで、7月15日にお顔を拝見できるのが、今から楽しみです。今度は、妻も参加したいと言うので、昨日(6月10日)は、ホテルを見たあと、銀座三越で妻の靴から、バッグから、スカート、ブレザー、シャツまで一式購入して帰って来ました。もし、チャンスがあれば、貴女に紹介したいと思っております。(貴女の次に好きな女性ですから。大分差は開いてますが。)

それでは、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成13年6月11日

病弱な妻・知子のため、夫の山岡秀治は沖合漁をやめて養殖を始めていた。時代が昭和から平成に変わったある日、山岡は同じ特攻隊の生き残りである藤枝が雪山で自殺したという知らせを聞く。そんな折り、四十数年前に鹿児島湾から飛び立つ特攻隊の若者から"知覧の母"と慕われていた富子から、山岡はとある依頼を受ける。ある男の遺品を、男の故郷である韓国に届けて欲しいというのだ。その男とは、山岡や藤枝の戦友であり、かつて

10

20

30

40

50

知子と結婚の約束をしていた金山少尉だった…。

【0055】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと思います。

6月17日には、「日本侠客伝 白刃の盃」(1967.1.28封切)、「緋牡丹博徒 一宿一飯」(1968.11.22封切)を見て来ました。「白刃の盃」は、健さんのそばで病院で寝ているシーンが大部分ですので、撮影は、ほとんど1日で終わっているのではないかと思います。

「一宿一飯」は何度見ても最高に素晴らしいですね。特に上映開始時の啖呵を切る場面が、絵のように美しいと思います。緋色を背景にして、薄黄に緋牡丹の柄の着物を着込んで、「さっそくお控え下すって有難うござんす。手前ことは九州は肥後、熊本は五木の生まれ、名前の儀は、矢野竜子、通り名を緋牡丹のお竜と発します。御視見の通りの未熟者にござんす。いくすえ、おみしりおかれまして、すえながく、お引き立ての程お願つかまつります。」と言われるのだが、このシーン程世の中に美しいものがあるのだろうかと思

います。
また予告編の最初に出て来る「私、藤純子、緋牡丹博徒のご好評のおかげをもちまして、第二作「一宿一飯」をお送りすることにあいなりました。よろしくご観覧の程お願申し上げます。」というのも同様に美しい。

こんなに美しい物を観ることができた私は、ほんとうに幸福だと思います。

では、お元気で。

敬具

平成13年6月18日

白刃の盃：千葉県銚子の博徒外川一家は、親分の死後解散して、若親分正一郎を助け堅気な運送業を始め、順調に繁昌していった。ところがもと一家の幹部であった根占も新しく運送業を開業、ことあるごとに外川運送と衝突していた。その頃、東京からぶらりと流れてきた宿なしの大多喜が、外川運送で働くことになった。彼は一家の、人の好い仲間や、もと外川組の代貸江夏やけなげなその妻澄子、長男の一男などと触れ合って美しい人情に感動した。それに反し悪らつな根占は合併という口実で外川運送を乗っとうと企み、策を弄して運送業を独占しようとした。ある時根占はキャバレーのホステス夢子に入れあげている外川運送の芳造を脅迫して身内に引き込み、外川方のトラックを転覆させ、運転手まで死亡させてしまった。しかし正一郎は博徒から足を洗ったからには暴力で復讐してはならないと、根占の無法ぶりに耐えた。更に好色な根占は、江夏の妻澄子まで犯し、彼女は自殺してしまった。怒り心頭に達した江夏は、やはりもと外川組の幹部で、今は料亭の調理士をやっている大五郎と組んで、根占に斬りこんだが、多勢に無勢逆に斬り殺されてしまった。こんなドサクサの続いたある日、正一郎は大多喜を呼んで東京に戻るよう勧めたが、正一郎が単身殴り込んでいく決心を言外に知った大多喜は、直ちに部屋にあった大槍をかかえて飛出した。彼は根占の暴拳に耐えてきた正一郎の意志を貫かせてやろうと必死だった。大多喜はトラックのガソリンを床一面にまき、火をつけたと思うや突きまくり、斬りまくっての死闘を展開し、根占を倒したのだった。

【0056】

富司 純子 様

拝啓

お元気でおすごしでしょうか。6月24日(日)は、鎌倉の明月院に妻と二人で行ってまいりました。ご存知とは思いますが、北条時頼の墓があり、紫陽花寺として、有名です。

ものすごい人出で、私どもは、9時に到着したから、よかったものの、9時半には、大勢の人で、まるで原宿の竹下通りのようになってきました。(もちろん、若者と中年という人の層の差はありますが) 貴女は、明月院にすでに行かれたことがあるのでしょうか?もしまだでしたら、今日(26日)は6月歌舞伎の千秋楽ですし、今ごろは、紫陽花も見ごろですから、ご主人とお出かけになってはいかがでしょうか。平日ならすいていると思

ます。

ところで、いよいよ7月15日の音羽会の夏祭りの案内が、来ました。

今から楽しみにしております。何せ、本物の貴女を拝見できるのは、今年始めてになるわけですから。

では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成13年6月26日

【0057】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと思います。5月28日と6月11日には、NHKにご出演いただき、しっかりビデオを撮らせていただき、毎晩見ております。やはり、昨年からハードスケジュールで公演が続いていましたので、今年始めの急性気管支炎の後少しお痩せになったかなあという気がします。(歳をとってから、ぶくぶく太り出した私や、妻に比べればよほどよいのですが。)ところで、7月15日もだんだん近づいてまいりました。国立劇場にも、ひょっとしたら、お顔を出されるのではないかと、今からわくわくしております今度は、カメラ持参でいこうと思っておりますが、今年のクリスマスパーティー同様写真撮影OKでしょうか？

話しはかわりますが、クラシックラガーのCMに高倉健さん(私の一番好きな男優)に登場していただくことになりました。健さんが昭和残俠客伝で登場したように活躍されるとありがたいのですが。貴女が、菊之助様とご結婚された年に、私は、キリンに入社しましたが、当時のラガーは、63%のシェアを誇っておりました、今やラガーとしては、15%のシェアです。(日本俠客伝を見ると、たいてい出て来るビールは、キリンのラガーだったと思います。)同封させていただきました、写真のコピーの最初のものは、今年の7月号の社内報の表紙です。ほかに、私の秘蔵の本やパンフの中から、いくつか選んで同封させていただきましたが、お気に障るものがありましたら、どうかお許し下さい。個人的には、昇り龍のポスターが一番好きです。

1ヶ月程のNHKのクローズアップ現代で高倉健さんが登場し、「・・・あるいは、ホテルが最後の映画になるかもしれない。」というような事を話されておられましたが、最後の映画は、やはり、貴女が相手役でなくては、と思っております。「あ・うん」は、夫婦役ではありませんでしたが、今度は、夫婦役で、ほのぼのとしたストーリーのものを降旗監督にお願いしたいと思っております。平成に入って、何かと暗いニュースが多く、小泉総理のニュースもなんとなく殺気だっているおり、あまり涙を流さなくても見られる平凡であって、心温まるような作品が世に出たらなあと考えている今日このごろです。

敬具

平成13年7月4日

【0058】

富司 純子 様

拝啓

暑さにもかかわらず、お元気でご活躍のことと思います。7月15日は、写真を撮らせていただきどうもありがとうございました。また、国立劇場で少し会話をさせていただき、感謝しております。私の予想通り、「飛車角と吉良常」で最初に出てくる「おとよ」さんの髪の毛は、かつらでした。藤純子が未だに封印されきらず上映されているのは、我々貴女のファンにとっては、大変ありがたいことです「激闘ひめゆり岬」や「俠骨一代」等もう一度スクリーンで見たいものがあります。映画のよさは、何と行ってもスタアが大きな画面に迫ってくる迫力ですね。

15日の歌舞伎教室は、楽しく拝見させていただきました。特に世話物はわかりやすいのが、いいですね。パンフレットも付き、菊之助様の記事が載っていましたので、興味深く読ませていただきました。私も、古典芸能はというと、新入社員のころ、謡曲を習っていましたが、正座する苦痛と古文の難解さに耐えきれずやめてしまいました。

10

20

30

40

50

こんなことを言うと失礼かもしれませんが、歌舞伎の世界は、一種の組集団のようなものなのではないでしょうか？ 菊五郎劇団は、菊五郎様を親分とした侠客の雰囲気をもった集団のような。そして、跡目を菊之助様が継ぐことになっていて、親分のおかみさんが、寺嶋純子様で、一家を影で取仕切っているような劇団の団員の方々は、終身団員でいるのでしょうか？ 我々サラリーマン社会は、今や、若くても仕事が良くできる人が上に行き、そうでない人は、早めにリタイアする構造に変化してきています。（雇用体制が構造変化していますから。）

貴女は、8月までは、大河撮りがあるということをお聞きしましたが、私は、番組の最初に配役メンバーに貴女の名前が出ている時だけ大河を見ております。

ところで、女優さんの写真を撮らせてもらいながら、その写真を送るのは、失礼かと存じますが、21世紀の最初の音羽会懇親会の記念にと思ひまして、3枚だけ送付いたします。踊っておられる姿を拝見し、日本女侠客伝「侠客芸者」のシーンを思い浮かべました。あの映画でも、貴女の踊りが一番すてきでした。これは、第一に貴女の体の線がかっこいいのでしょうか。立っている姿自体がすてきですから。

それでは、ご主人様も間もなく夏休みに入られますので、貴女もますます有意義にお過ごしなされることを期待しつつ。

敬具

平成13年7月18日

【0059】

富司 純子 様

拝啓

お元気でおすごしのことと思います。今ごろは、菊五郎様と避暑地でお過ごしでしょうか、それともNHK大河の録画撮りが残っている為、広尾のご自宅で、犬のお世話でもされているのでしょうか？

ところで、新宿の映画館で、主として仁侠映画を繰り返し上映している映画館の案内を掲載している新聞を見つけました。産経新聞の映画案内です。（同封したもの）

4日（土）には、もちろん見に行ってきましたが、「緋牡丹博徒」は何回となくビデオでも見たりして、どこでどんな台詞が出てくるかも知っていますが、やはりスクリーンで見るのとテレビ画面で見るのとは迫力が違いますね。「侠客列伝」は、見るのが2回目ですが、これもなかなかいいですね。両方共1968年の封切りで、もう33年も前になります。

列伝と名のつくのは、侠客列伝、博徒列伝、遊侠列伝の3本が思いつきますが、遊侠列伝は、貴女が病気で死んでしまって、スクリーンから早々と姿を消してしまう少し趣の異なった映画ですね。また池辺良さんの妹役などが多いのですが、遊侠列伝は、なんと悪役の天津敏さんの妹役ですし。また、つまらない内容の手紙ですが、お許し下さいませ。

では、有意義な夏休みを過ごされますことを、願いつつ。

平成13年8月9日

でかい！強い！怖い！、しかも182センチの長身で渋いマスクという、申し分ない敵役ぶりをマキノ雅弘監督と俊藤浩滋プロデューサーに買われて東京映画から東映へ。「日本侠客伝」（1964）以来10年間、高倉健、鶴田浩二、藤純子、若山富三郎、菅原文太など大スターを向こうにまわし徹底的な悪人（客観的に見れば近代産業の担い手）を演じて、準時代劇と呼ばれる東映任侠路線を代表する悪役スターとなる。

【0060】

富司純子 様

拝啓

お元気でおすごしのことと存じます。

菊五郎様は、まだ避暑地でゴルフを満喫されておられるのだと思いますが、貴女は、菊之助様が、新橋演舞場で出演されているので、おそらく広尾のご自宅ですごされているのではないかと想像しております。

「人生劇場・飛車角と吉良常」と「昭和残侠伝・血染めの唐獅子」の映画を見たのが7

月14日で、音羽会の懇親会で貴女を拝見したのが7月15日で、「緋牡丹博徒」と「侠客列伝」を見たのが8月4日で、今度(9月8日)は「日本女侠传・鉄火芸者」と「日本大侠客」を見てきました。藤純子と富司純子様が見られる時を追っかけている間に月日が流れていきます。もっとも、私の部屋には、藤純子のビデオも、富司純子様のビデオもたくさんあるのですが、映画だと頬のほくろまで良く見えます。「日本大侠客」は、1966年ですから、貴女が20~21歳の時の作品、「鉄火芸者」は1970年ですから、24~25歳の時の作品、どちらも美しい芸者姿ですが、66年の時は、顔が丸く、若さにはちきれそうな芸者さんですね。日本刀を持って階段で演技する場面が印象的です。

貴女は、デビューとほぼ同時に主役の相手役を演じておられましたので、素の藤純子さんを見ることはほとんど不可能なのですが、1965年の「日本侠客伝・関東編」に素に近い藤純子さんを伺い知ることができるような気がします。この映画では、高倉健さんと南田洋子さんが主役と相手役というめずらしい配役でしたので、貴女は、南田洋子さんの脇で比較的のびやかに演技されていましたので、素の藤純子さんというか、俊藤純子さんを見たような気がします髪スタイルも普通の娘様でしたし。

ところで、「侠客芸者」と「鉄火芸者」は、良く似た映画ですが、相手役が高倉健さんである点と、若山富三郎さんが、映画にユーモアを入れている点で、「侠客芸者」のほうが上かなと、私は、感じました。

では、近々、貴女の舞台が見られる機会が来ますことを祈りつつ(舞台で印象的なのは、「滝の白糸」ですねストーリーは、不思議な話して難解でしたが、赤いドレスがとにかく印象的でした。)

敬具

平成13年9月10日

【0061】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと思います。前回のファンレターで「日本侠客伝・関東篇」に登場してくる貴女が普通の娘らしくて、他の作品にはないすばらしさがあることを述べましたが、10月6日に新宿で上映していましたので、見てきました。お顔がふっくらとして、健康的ですてきなあとと思いました。1965年の映画ですから、ちょうど菊五郎様とおつきあいを始められたころの作品ではないでしょうか? さすがの菊五郎様も貴女の美しさに惚れ込んだのでしょうかね。

ところで、6日のNHKニュースを見ておりましたら、志ん朝さんの葬儀に出席されておられる貴女の横顔がアップで出ておりましたが、緋牡丹博徒「お命戴きます」に登場するお竜さんを思わず思い起こしました。喪服姿が、またよく似合います。(喪服も日本一似合う女性ですね。)

今は、菊五郎様も、菊之助様も御園座に出演されておられますので、ご自宅で犬の世話でもされてすごされているのでしょうか?それとも、時々名古屋まで、おでかけになるのでしょうか?

いずれにしましても、お元気でお過ごし下さい。

11月18日にでも、もしや歌舞伎座でお姿を拝見できればと思っております。

敬具

平成13年10月10日

九州熊本の矢野組々長矢野竜子こと緋牡丹お竜は、渡世修業の旅の途中、上州伊香保の久保田組の賭場で、胴をつとめる親分の実弟猪之助のイカサマの一件で危機に直面したが、武州熊谷結城組々長結城菊太郎によって難をまぬがれた。そして、両家の手打ちは、大前田の二代目英次郎の仲裁で行われ猪之助は破門された。しばらくして、お竜は父の法要のため、一時九州に帰る事になったが、高崎観音建造の勧進賭博の日までに再び来る事を約して結城と別れた。お竜は、結城に渡世の付き合い以上の想いを寄せ始めていたのだった。その頃、熊谷在に軍部御用の兵器工場ができ、周辺の百姓はその公害のために苦しんでいた。結城は、百姓の暴動を未然に防ごうと、工場に交渉して用水堀造成のため保障金を出

させようとした。この工場の運搬関係の仕事を仕切っていた富岡組々長は、何かと反目する結城を消そうと計った。富岡は、工場長の大村や軍の監督官畑中大尉と結託、工場本社からでていた保障金を着服していたのだった。富岡は、言葉巧みに猪之助をあやつり結城を殺した。・・・菊太郎の初七日の日--。寺の本堂一杯の百姓衆に大村の横領を吹聴している富岡、畑中へ黒い喪服に仕込み笛を抱いたお竜が乗り込んだ。

【0062】

富司 純子 様

拝啓

お父様が、お亡くなりになり、謹んでお悔やみ申し上げます。ニュースで知りましたが、9月ごろから体調を崩され、胃がんの手術もされていたとか。お父様は、290本の映画プロデュースという輝かしい業績を残されましたね。貴女を日本一の女優にされたのも、お父様ですし、貴女の心の痛むところ、いかばかりかと計りかねるしだいでございます。高齢になられましてからも、現役で仕事をされておられましたので、私のように、年々きびしくなる企業環境の中におかれて、そろそろ退職も頭に入れ始めている人間にとっては、貴女のお父様は、鉄人のように思われておりましたが、人間というものには、やはり定命というものがあるものだとしみじみ感じただいでございます。

「神の引く臼は極めて細かい」という聖書の言葉が胸にささります。

私は、もちろん俊藤浩滋プロデューサーに直接お会いしたことはございませんが、「任侠映画伝」の本を読み、お写真では、お父様の風貌をよく存じ上げておりました。

もちろん、大のファンである貴女のお父様であるということで、特別の親しみを感じておりましたし。

しばらく、ご心痛の日々と思いますが、お体を大切にお過ごしになられますよう、願っております。

敬具

平成13年10月16日

【0063】

富司 純子 様

拝啓

そろそろ、心の痛みも和らぎだしたころでしょうか？ところで、びっくりしましたが、アサヒ芸能(11月1日号)をコンビニで何の気はなしに手に取りましたら(通常、私は、この種の週刊誌は見ませんが)、貴女が、お父様の遺影を持っている姿がグラビアに載っておりました。写真のお顔を拝見するにつけ、お父様を亡くされたお気持ちを察するに余りあります。お父様のお写真は、比較的最近の時のものと感じました。

私の場合は、まだ両親が生きておりますが、兄弟がいないこともあり、なんとか親よりは長生きしなくては、ならないなと考えております。(年をとるにつれ思うのですが、親子というものは、そんなに年が離れていないものだなあ、ということです。親より長生きするのも、以外と容易ではないぞと。)今年の盆に岐阜の郷里に帰りました時に、母は、「遺影には若い時の写真を使ってくれ」と言っておりましたが、その時も、母より長生きするとはかぎらないのになあ、と思ったりしたものです。

お父様が、お亡くなりになられたことについては、特に高倉健さんは、大きなショックだったのではないのでしょうか。高倉さんには、奥様も、お子様もおられず、一人さびしく心を癒していらっしゃるのでしょうか(何処にお住まいなのかは、私は、まったく存じあげておりませんが)。

では、お元気でお過ごし下さいませ。

敬具

平成13年10月25日

健さん、ショック-。仁侠映画の生みの親といわれる映画プロデューサーで女優・富司純子(55)の実父、俊藤浩滋(しゅんどう・こうじ、本名、博=ひろし)さんが12日午前0時25分、肝不全のため京都市内の病院で亡くなった。84歳だった。

「日本侠客伝」「昭和残侠伝」など俊藤さんが手がけた人気シリーズに主演し、トップ

10

20

30

40

50

スターになった高倉健(70)はこの日夕、とるものもとりあえず、京都市左京区の自宅に駆け付けた。

仁侠映画で才能を開花させてくれた恩人の死にショックを隠せない様子で、遺体と対面後、無言で立ち去ったが、ファクスで「俊藤さんと出会ってなければ今日までがんばって来られなかったと思います。ご一緒したさまざまなシーンがよぎります。今は取り乱しております。これ以上の言葉がありません」などとコメントを寄せた。

【0064】

富司 純子 様
拝啓

お元気でお過ごしでしょうか？左幸子さんが11月7日、71歳で亡くなられたことを、新聞で知りました。 10

「飢餓海峡」と「人生劇場 飛車角と吉良常」の二本しか、私は、知りません。「飢餓海峡」、「飛車角と吉良常」共に名作であり、ビデオも持っておりますが、「飢餓海峡」は内容がまだ貧しさの残った日本の社会情勢を画がいており、結末も主演の三国連太郎さんが海に飛び込むところで終了するので、現実味がありすぎて、一度見たきり、もう一度見る気にはならない作品です。「飛車角と吉良常」は、貴女が少し墜ちた魅力ある女性に描かれており時々見ます。お河童の髪がすてきです。芸者姿も。

記事には、「日本昆虫記？」も有名と書かれてありましたが、この作品は、タイトルは聞いたことがあります、私は、見たことはありません。(タイトルからして、あまり興味は湧きませんが。) 20

最近、人間はいったい、いつごろ死ぬのだろうかという事に若干興味があり、告別式の欄(私の方は、茨城版ですが。)によく目を通します。50代から90代で分布していますが、ついこの間、104歳で亡くなられた方がいました。喪主は、孫になっていましたが、104歳まで生きると喪主は孫になるのかと、つくづく思いました。人間あまり、長生きするのもつらいものだと思います。親より長生きして、子よりは、早く死んでいくのが、順当で幸せな人生でしょう。

縁起のよくない内容のファンレターになってしまいました。

では、お元気でお過ごし下さい。11月18日にお目にかかれるとしたら、楽しみにしております。

敬具

30

平成13年11月12日

人生劇場 飛車角と吉良常：大正十四年。八年ぶりに上海から故郷に戻った吉良常は、亡き主人青成瓢太郎の子瓢吉を尋ね、東京に出た。・・・しかし、おとよはそのまま行方をくらましたのである。四年の歳月が流れた。宮川は玉ノ井の女に惚れ、毎日通っていた。宮川の知らないことだったが、それはおとよだった。仲間はそれと知って忠告した。小金一家にとって飛車角は大恩人なのだ。しかし、おとよに惚れ込んだ宮川は二人で逃げようとしていた。一方、吉良常はおとよに、飛車角に面会に行くよう勧めた。だが、おとよの心はもう飛車角にはなかったのだ。苦悩するおとよは、瓢吉の青春の思い出となったお袖と共に姿をくらました。やがて飛車角が特赦で出所した。すでに小金は病気で世を去り、丈徳の跡目を継いだデカ虎に寺兼も殺されていた。そのころ瓢吉は懸賞小説に当選し、大陸に渡ることになった。吉良常は、瓢吉が男として名を上げるまで墓は建てるな、と遺言して自殺した瓢太郎のために、今こそ墓を建てる時だと思って飛車角と共に吉良港に発った。飛車角はそこで、おとよと再会、ともに昔を偲んだのだが、時の流れに離ればなれになったお互いの気持ちを、どうすることも出来なかった。

40

【0065】

富司 純子 様
拝啓

18日にお会い出来たことは、大変幸福だったのですが。私の場合、歌舞伎座にしろ、新 50

橋演舞場にしろ、国立劇場にしろ妻と歌舞伎を見に行く、大きな目的は、貴女に一目お会いすることですが、（よく、考えると、このような時は、貴女は、女優「富司純子」としてではなく、梨園の妻「寺嶋純子」として立っておられるのですから、人妻に一目お会いしたいというの、不謹慎なことかもしれません。しかし、女優と兼業されているのですから、単なるファンの気持ちとして許されるのかとも思います。）

今年は、貴女にとって、いろいろなことがあった年ではないかと思えます。3月～4月の近松心中物語の降板とか（あれは、近鉄劇場のプログラムの組み方もひどかったと思っています。1月25日～2月18日まで一日も休みがない。これは大阪の商売感覚から来るものだったのでしょうか？単純に考えても、3月から大丈夫かなあと思っていました）。

それに、何と言っても、10月12日にお父様が亡くなられたこと。それ以外のことは、知りませんが。 10

18日にお姿を拝見して、少しお痩せになったかなと思えました。（おそらく、先月、心労や東京と京都の往復で、少し無理をなさったのではないかと思えます。）また、菊五郎様や菊之助様の仕事が夜にわたるので、毎日の家事の仕事が終わるのが遅くなり、犬の散歩までの時間（睡眠時間）が短いのではないかと想像します。何かの記事で、山田五十鈴さんは、一日12時間の睡眠時間をとられると書いてありました。梨園の妻として、ライフスタイルを変えることは、とうてい無理と思えますが、のんびりできる時間を少しでも多く取っていただけたらと思えます。

結局、今年は、貴女の舞台は一度も見ることなく終わってしまいました。来年は、一度ぐらい舞台を見られたらなあと思っております。（祇園の姉妹とか・・・）。 20

では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成13年11月19日

富司は歌舞伎役者、尾上菊五郎（54）の妻で、梨園の妻では大先輩。今回の離婚について、「梨園の妻も夫を支えていくものですが、私は夫のお母さまや先輩の奥さま方に支えられてきました。サトさんは八十助さんに仕えていらっしやったようですし、もし戻れるようなら帰ってきてくださいと言いたいです」と語り、もう一度やり直してほしいという願いを口にしました。

【0066】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしでしょうか？2001年もいよいよ終わりとなってきました。12月1日には、雅子妃殿下が女の子を出産され、おめでたいニュースがありました。一年全体を振り返って、暗いニュースの多い一年だったと思えます。貴女にとっても、10月にはお父様が亡くなられ、何かと心労の多い年だったのかなあと思えます。

雅子妃殿下は、男の子ではなかったもので、貴女の場合と同じような、男の子を産まなければという気持ちを、まだ持っておられるかもしれません。そう思うと気の毒な気がします。私のような、一庶民でさえ、最初に男の子が生まれてきたので、親（特に母親）の期待に応えられて良かったと感じたことを思い出します。

音羽会に入会して、早三年、いつまで関東で生活できるのかわかりませんが、来年の音羽会の懇親会にまた参加できることを期待しつつ、今年の終わりを迎えるだけです。 40

なお、1月6日には、国立劇場で、お顔を拝見できればと、思っております。

敬具

平成13年12月29日

宮内庁は1日、皇居内の宮内庁病院に入院した皇太子妃雅子さま（37）について「本日午後2時43分ご出産、（女の子である）内親王がご誕生になりました」と発表。母子ともに健康という。雅子さまは、住まいの東宮御所（東京・元赤坂）で出産の兆しが現れ、11月30日から宮内庁病院に入院。その際、皇太子さまは雅子さまに同行。天皇、皇族専用の病室や陣痛室を兼ねた分娩（ぶんべん）室にも足を運んで雅子さまを励ますなどし 50

て、病院でお子さまの誕生を迎えた。天皇家、各宮家では紀宮さま（32）以来、9人続いて女の子の誕生。7日目の7日に命名される予定。皇太子さまは1日夕、東宮侍従を通じて、「無事の出産を大変うれしく思っています。これまで温かく見守ってくださった多くの方々から御礼を申し上げます」「今後は二人で相談をしながら子どもの幸せを祈りつつ、成長を見守っていきたいと思います」との感想を発表。

【0067】

富司 純子 様

拝啓

昨日（1月6日）は、どうも有難うございました。美形の菊五郎様、菊之助様の演技を鑑賞でき、有意義な一日を過ごせました。文芸春秋の新年号に「この演劇を楽しむには、菊之助の舞台を観続けることが、早道であり、彼にはそこへ観客を導く義務もある。」と書かれて（当然、貴女もご存知の内容ですが。）いますが、ほんとうに、そうだと改めて実感いたしました。菊之助さんが、登場すると舞台上に華が咲いたようになります。

私なりに菊五郎様に感ずるところは、「粋で、品格があって、かっこいい男」と言ったところでしょうか、菊之助様も結局、表現しようとすると同じ表現になります。ただ、品格の質が異なるような気がします。菊之助様には、宮内庁ご用達の品々が持っているような、より高貴な品の良さがあるような気がします。この品格は、おそらく貴女のDNAから受け継がれたものだと思います。演技を観ると、菊五郎様と菊之助様は、よく似ていますが、ただ自然立った時の雰囲気、微妙に異なっていると感じております。その点、寺島しのぶ様の品格は、菊五郎様のものが、より強く出ているように思います。

国立劇場は、歌舞伎座、新橋演舞場の三つの中で、最も好きな劇場です。それは、貴女が、最高に美しく見えるからです歌舞伎座、新橋演舞場は、ロビーが狭く窮屈で、貴女が立っている姿を拝見すると、なんとなく、お役目ご苦労様ですと言いたくなる感じです。一方、国立劇場は、ロビーが広々しており、女優富司純子様、凛として存在している感じがします。（緋牡丹のお籠ここにあり。といった存在感を感じます。）

そんな、偉大な方に、あつかましくも、昨日は時々、声を掛けてしまって、と反省も致しております。だいたい貴女の前では、緊張してうまく話せません。こんな、女性は貴女以外にはいません。あこがれの女性がいるといことは、人生楽しいものです。精神的恋愛ではなく、精神的片思いにすぎないのですが。片思いも男の美学の一形態とっております。舞台は、来年の三越劇場とお聞きしました。今から、楽しみにしております。（「滝の白糸」の時のように、こっそり休暇を採って3回は見たいぞと言った感じです。）

ところで、文芸春秋の新年号に六代目菊五郎の記事が掲載されていたのを、ご存知なかったようですので、お伝えいたします。「まだ足りぬ踊り踊りてあの世まで」という句を残されております（P301）。では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成14年1月7日

【0068】

富司 純子 様

拝啓

土曜日の朝の民送のニュースで、1月10日に中野区でとり行われた神田正輝さんのお母さんの葬儀の中で、貴女のお姿を一秒（いやもっと短かったかもしれない）程度、拝見いたしました。中央付近が多く映し出されておりましたので、松田聖子さんとそのお嬢さん、北原美枝さんなどは、多くの時間出ておりましたが、貴女はほんの一瞬でした。しかし、それを見逃さないのが、ファンですね。それにしても、お付き合いが広くお忙しい毎日を過ごされているのだなあと思いました。

今日は、麒麟社の商品戦略の説明があり、クラシックラガーの新作CMビデオも見ました。意見交換会があり、高倉健さん一人では寂しそうなので、ぜひ富司純子様（貴女および菊五郎様が了承されるとはかぎりませんが。）をお側に置いたCMを、という意見をマーケティングリーダーに申し上げたところ、マーケティングリーダーは、若い為、「その方は、見たこともない。」と言われました。年月の流れは早いものだなあ、とつくづ

く思いました。大会社ですから、私個人の意見が採用されることはあり得ない（麒麟社といえども金がなくなりつつあります。）と思いますが、万一声がかかりましたら、ご協力願います。

では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成14年1月15日

【0069】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと存じます。1月は、国立劇場の1回公演なので、菊五郎様も菊之助様も早くお帰りでしょうか？子供は成長すると親とはほとんど別行動をとりますので、早く帰られても、どうということはないかもしれませんが。

私の娘2人は、長女が4年制、次女が短大なので、4月からは家族全員が社会人ということになりました。長女は、養護老人福祉施設、次女は保育園ですが、この世を去ろうという人間と、これから長い人生を生きていこうとする人間を相手にする職業につくことに不思議な感慨があります。長男は、博多（貴女も映画のロケで九州に行かれたことがあるのではないのでしょうか。日本女侠传「血斗乱れ花」、「日本大俠客」とかで。）で勤務しておりますが、将来が不安で仕事をしながら司法試験の勉強をしているようです。（合格は、まず無理と思っておりますが）

ところで、すっかり貴女の誕生日が過ぎ去ったのを忘れておりました。我々の年で、誕生日おめでとうと言うのもなんとなく違和感がありますが、啓宮愛子様と同じ誕生日だったのですね。あらためて、「おめでとうございます」。

さて、菊之助様も私の長男も今年は、25歳になります。私は、25歳の時結婚いたしました、貴女が、菊五郎様と結婚されましたので、まっいいか、という感じで。菊之助様は、どんな方と結婚されるのか、楽しみにしております。女系の方は、男の子が生まれる確率が低くなるので良くないですよ。（まあ、余計なお世話か。）それから、しのぶ様のことも。ただ、結婚しない世の中になってきましたので、私の子供たちは、誰も結婚しないのではないかと考えたりしております。

では、益々のご活躍を期待しております。

敬具

平成14年1月23日

関東緋桜一家：昭和47年製作の東映仁侠映画。『緋牡丹博徒』シリーズで大人気の藤純子が、梨園の御曹司・尾上菊之助と結婚して引退するのを記念して作られたオールスター映画だ。出演は藤純子以下、高倉健、鶴田浩二、若山富三郎、菅原文太、片岡千恵蔵、嵐寛寿郎などそうそうたる顔ぶれ。この映画は『人生劇場・飛車角』以来、足かけ10年に渡って東映を支えてきた仁侠映画の、実質的な最後を飾る作品としても知られている。映画の出来はさておき、「藤純子の引退」「最後の仁侠映画」という2点だけでも、日本映画史に名を残す作品だ。監督はカツドウ屋・マキノ雅弘。彼はこの映画を藤純子引退のはなむけにしようと努力したが、完成した映画は不本意なものだった。マキノ監督は自伝「映画渡世」の中で、『もっと一生の記念になるような映画を純子のために残してやりたかった』と嘆いている。『オールスター・キャストだから、一人一人のスターの顔をアップ、アップで撮らなければならないと言われ、これでは純子の引退と結婚のはなむけにはならないと思った。あんなものしかやってやれない東映にはいよいよ愛想が付き。純子の九年間の努力にむくいてやれる内容ではなかった』『（映画には）純子の映画の何もかも詰め込んだが、逆にそのために内容は薄いものになった』と語っている。

【0070】

富司 純子

様

拝啓

余寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。あっという間に2月中旬にな

10

20

30

40

50

り、3月17日の音羽会の観劇日を楽しみにしている今日この頃です。ところで、最近、小林旭さんが、「さすらい」という本を出されましたが、小林旭さん、石原裕次郎さんは、私にとって、貴女や高倉建さんを知る前からのスターでした。映画そのものは、見ておりませんが、学校の行き帰りの途中に映画館（今は、なくなっていますが）がありましたので、よく看板で見かけたのが、小林旭、石原裕次郎さんでした。小林旭さんは、歌手としても60歳を超えた今でも、伸びのある声が出る希有な歌手だと思います。

小林旭さんの歌に「純子」（遠藤実作詞・作曲）という歌があります。今から25年以上も前に世の中に出た歌ではないかと思いますが、記憶は定かではありません。

遊び上手なやつに だまされいると聞いた 噂だけだね
 純子 純子 僕は淋しい
 いつか目ざめた朝は そばに可愛く いたね ふるえながらも
 純子 純子 愛をくれたね
 離ればなれにいても 忘れはしないよ 僕は負けちゃいけない
 純子 純子 待ってておくれ
 風は話をつくる だから噂は きかない 信じているのさ
 純子 純子 便りをおくれ

10

歌詞の「純子」が幸福な女性かどうか察し難いのですが、ある男性から常に思われていることは事実のようです。貴女もスタアとして、いったい何人の男性から、思われ続けているのでしょうか。思われることは、実体がないことなので、女性にとっては余り価値のないことかもしれませんが、男性にとっては、絶対に実現しない愛を頭の中に描くことは、ロマン溢れることです。（大袈裟に言えば、ハンフリーボガードのダンディズムでしょうか。）

20

では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成14年2月12日

前妻は美空ひばり。同時代のライバルは石原裕次郎。もはや、その存在こそが伝説である。

ただ、知りたいのは昔の思い出話などではなく、今、この時点のアキラだ。最近、自伝が出たり、その業績を再評価する特集本が話題になったりしたが、何より大事なものは「今」である。

30

自らを評して、「普通のオッサン」という。食べたいものを食べ、週に2、3回は、好きなゴルフに興じる。体は至って健康。車のハンドルを握り、高速道路のスピード感を楽しむ。功なり名を遂げ、ゆったりとリタイア生活を楽しんでいるかのようだ。

【0071】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお越しのここと存じます。さて、3月号の中央公論P210に、1890年に上野に博覧会が開催されたこと、浅草凌雲閣（12階・エレベータ付）が完成したことの記事が載っておりました。上野の博覧会と言えば、67年の「昭和残侠伝・血染めの唐獅子」。凌雲閣と言えば、70年の「お竜参上」を思い出します。「血染めの唐獅子」では、貴女は、まだどこことなく、ういういしい。「お竜参上」では、階段を駆け上がる時の美しさ、展望台にたどり着いた時のなんとも言えない色気のある大人の女性の美しさが、忘れられない。

40

ところで、映画は、名台詞はあまり記憶に残りませんが、名場面は、記憶に残ります。名場面としては、「三代目襲名」の鶴田浩二さんに桃を渡す場面、「お竜参上」では、雪の橋の上の文太さんとの場面、「花札勝負」では高倉さんに番傘を渡す場面、「死んで貰います」では、銀杏の木下の高倉さんとの場面等々。

台詞で記憶に残っているのは、「お竜参上」の雪の橋の上で、文太さんが、いう「あなた

50

は、優しい人だ」、「あ・うん」では、高倉さんの「みすみす実らないとわかっていても人は惚れるんだよ」、「仁義通します」の文太さんがいう「あなたは蟹なんかじゃない・・・」、「詩城の旅びと」の貴女がいう「・・・さんがお好きなんですね」とかでしょうか。

お父さんと貴女が残された業績は、私の人生を、いまだに豊かなものに行っていることに感謝したい。

来年の三越劇場での公演を楽しみにしております。

敬具

平成14年2月18日

血染めの唐獅子：

(健さん)「ただいま帰りました！」・・・「着物が縫えるようになったんだね」

(純子)「待ったの。3年もよォ」

(健さん)「おッ、泣く、泣く、泣く、、、」

(純子)「いじわる！」

(健さん)「何だよ。重さんは、もう泣かなくなったって、言ったのに」

(純子)「秀さんがヤボったいからよ」

(健さん)「どうしてだよ」

(純子)「3年振りに逢って。ただいま帰りました！」「着物が縫えるようになったんだね、だって」「ヤボったいこと、ペラペラ言わないで」「後ろから、そーと抱いてくれると思っていたのに」「見たいと思っても、見ない辛抱して」・・・

(耳のあたりを搔きながら、聞いている秀次郎)「知らない！」

(健さん)「もう一回やり直すか!？」

(純子)「いいの!」・・・

【0072】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。もう一年になりますか、明治座講演の取り止めは。まあ、あれは、近鉄劇場が貴女をこき使いすぎたのだと思っております。

私事ですが、2月末からインフルエンザに感染したようで、苦しい日々でした。3月2日～4日かけて、布団の中で横になっていましたが、本を読むまでの気力がありませんでした。そこで、見ていたのは、貴女のビデオ、「非牡丹博徒：第1作」「お竜参上：第6作」「仁義通します：第8作」「日本女侠传・侠客芸者」「日本侠客伝・関東篇」であります。前にも書かせていただきましたが、「日本侠客伝・関東篇」の貴女がすばらしい。65年の作品だから、貴女が20歳の時です。20歳と言えば、私の娘が今年20歳になりました。自分の娘の比べると、貴女には、風格があります。すでにスタアのせいであろうと思います。いずれにせよ、すでに何回となく見たビデオであり、ビデオもやや擦り切れてきました。DVDだと、こうはならないであろうが。まあ、いずれにしても、役者のように、休みなしということはないし、多少休んでも後で取り戻せばよいので、サラリーマンは気楽ではあります。しかし、気楽なサラリーマンも最近は、かなりしんどくなってきました。「歌舞伎役者は死ぬまで役者でしょ」と1999年のスタジオパークで話されておりましたが、サラリーマンは、適当な時期に身を引くことが常識になってきました、私にとっても、その時期はさほど遠くないと感ずるようになりました。しかし、考えようによっては、死ぬ前に何かもう一つは、できそうだということであり、幸せなこともあります。貴女は、ちょうど終戦の年に誕生されましたが、何故日本は、戦争に突入せざるを得なかったのか、戦争を知らない子供たちの一人として、この課題を自分なりに研究して、結論を出してみたいと考えています。

ではお元気で、お過ごし下さい。

3月17日にお目にかかれまして、期待しつつ。

敬具

10

20

30

40

50

平成14年3月6日

・・・仁義通します・・・

お神楽のおたかの分家として堂万一家を構える岩木のもとに、戦友北橋が訪ねてきた。その頃の大阪は、安治川をはさんで、堂万一家と、伝法町で嘉納竜三がしきる伝法一家の二大勢力があり小ぜりあいが出なかった。・・・おたかはめっきりやつれ病床に伏すが、そんなところにお竜が訪ねてくる。すでに死期を悟ったおたかは、信頼するお竜を証人に、堂万一家三代目を岩木に継がせるよういいのこし波乱に充ちた生涯をとじた。岩木に三代目の座を奪われた松川は伝法一家に走り、嘉納を後見人にたて、岩木、お竜と対決する。一方、ぜがひでも松川を押し立てて堂万一家を掌中に納めようとする嘉納もお竜に喧嘩を 10
 売る。負け犬のように酒を浴びる松川を伝法一家からつれ戻そうとした岩木、藤吉、お竜らは千羽一家の不意討ちにあい、傷ついたお竜をかばった岩木はダイナマイトを受けて死んだ。岩木の死を聞いて走りつけた周平そしてお竜の一大事とばかり松山刑務所を出所するや一目散にやってきた四国道後の熊虎親分。それぞれの怒りを胸に喧嘩仕度で身を包んだお竜、周平、熊虎の三人は、伝法一家へと乗り込んでいく。

【0073】

富司 純子 様

拝啓

いつもお美しく、お元気なご様子を新橋演舞場で拝見し、喜ばしく思っております。また、菊之助様には、15日にハッピーなニュースが流れ、人ごととは思われぬ嬉しさを感じ 20
 ております。もちろん、貴女が言われたように、この先どうなるかは、ご両人しだいのことではあります。江角さんのように素晴らしい方（実は、江角さんについて、私は、まったく知識を持ち合わせていなかったのですが、新聞記事やインターネットの情報を見ますと、大変な逸材だと感じました。ノ女優さんについては、貴女以外には、まったくといっていい程知識がないのですが。）とお付き合いされるということは、菊之助様が、将来の音羽屋を継承していく立場を良くお考えになっていることによるものと推察いたします。

さて、このニュースを15日の朝耳にするにおいて、一抹の寂しさを感じましたが、これは何だったのでしょうか。おそらく、菊之助様と同じ年の長男を持つ私にとって、自分の息子（司法試験に5年ぐらいいは挑戦するつもりでいるようですから、当面結婚すること 30
 は、有り得ないのですが）も、もうそういう歳になっているのだなあという、つまり世代交代の時期に私自身がすでにさしかかっているのだなあという感慨から来るものと思えます。

考えてみれば、私は25歳に、結婚しましたが、その時、両親がどういう気持ちであったのかは知るよしもありません。その場面に、自分自身が直面すると分かることとは思いますが。ただ、結婚式の披露宴に出席してくれた父の兄弟が、「我々の時代も終わったということかな」と一言漏らされたのを、何故か今も記憶しております。（従兄弟の中では、結婚が早かったものですから。）

「疾風のごとく」は、すばらしい演劇でした。菊之助、新之助、辰之助と若手三人の揃い踏みで華やかな舞台でした。もちろん、菊五郎様も粋な感じでした。また、予約していた 40
 いただいた席が通路側であり、ゆったりしていましたが、音羽会のスタッフの方に感謝しております。お礼を言い忘れしたので、よろしくお伝え下さい。チラシの裏を見ましたら、今日18日だけがお休みになっておりました。役者は、たんへんなお仕事だとつくづく思いました。

では、ますますのご活躍を期待しております。

敬具

平成14年3月18日

【0074】

富司 純子 様

拝啓

10

20

30

40

50

多忙な日々を過ごされていることと存じ申し上げます。21日は、横山大観展を見てまいりましたが、明治元年に生まれ、昭和三十三年に89歳で亡くなるまでの間、25歳の東京美術学校卒業作「村童観猿翁」から、89歳の「不二」にいたるまで描き続けた一生を送られた人のようです。東京国立博物館としては、約40年ぶりの大観展とのことです。ガイドブックによれば、大観は、「日本人としての民族と歴史に誇りをもった自然観をよりどころにしていた」との評がありました。昭和15年作の「日出処日本」(宮内庁所蔵)の富士と太陽を描いた作品にも、そのあたりの思想がうかがえるようでした。

ところで、その後、久しぶりに新宿の紀伊国屋書店の映画のコーナー(映画関係の本は、普通規模の書店にはないようです)行ってみました。そこで新発見したのが、「仁義なき映画列伝」(大高宏雄著:2002年2月1日初版発行:書のタイトルがなんとなく気に入らないが)である。この著者は、1954年生まれで、1972年に「関東緋桜一家」を東映仁侠映画としては初めて観ていたと書いています仁侠映画の主な作品一つ一つに彼なりの論評を加えているのであるが、貴女の引退記念映画以前のもは、いったいどこで観たのか、ビデオであるのか疑問である。個々の作品の評には、多少異論もあるが、同感であるのは、(序章)で「・・ここでも重要なのが、物語の強化を図る藤純子という女優の類い希な資質・・」と評している部分、(日本大俠客)で、「・・まだ幾分ふっくらとした顔立ちであり、どこか幼さが残っているお竜だが、・・“かわいさ”が際立つ」、(緋牡丹博徒)で、「・・お竜の妖艶さと娘時代の可憐さが藤純子という女優の中で見事に共存している・・」、(お竜参上)で、「「あ、素足」。・・人間の肉体のある部分に視点が定まる時、一種異様な効果を見せている。・・つめていたお竜の黒髪が、さっと解けて肩にかかる時の描写、・・効果的な映像のアクセントになっている」、(俠客芸者)で、「・・この作品のもう一つの見所が、藤の澆刺とした芸者の舞でもあった」、(鉄火芸者)で、「・・合間で演じられる藤の舞がいい・・」、(女渡世人)で、「・・71年という時代に、世界中でどのような女優が活躍していようとも、藤純子は世界最高峰の女優の位置にいたのではないか。そう思わせる美しさの凄みが、本作の姿態にはあった」等の評であった。

なお、新宿昭和館でここしばらく、“藤純子”出演映画の上映が中断されていたが、4月に入ると毎週上映される。引退から30年を経た今でも、まだまだ女優“藤純子”は不滅である。しかし、“富司純子”になって再登場してからもまたいい、舞台では2000年1月の「滝の白糸」、トーク番組では2000年7月の「徹子の部屋(チャイナドレス)」、ややさかのぼるが、「詩城の旅びと」が印象的であるが、これらはすべて洋服で登場されている。洋服姿も良いのだ。

お元気で、ますますのご活躍を期待しつつ。

敬具

平成14年3月22日

【0075】

富司 純子 様

拝啓

いろいろと調査してみると出てくるものだ。1972年に発行された“別冊キネマ旬報 女優 藤純子 保存版”という本が存在していることを知った。さっそく早めに昼休みを取り、国会図書館へ行って待つことしばし、一冊だけ丁寧に製本された目的物がカウンターから出てきたのです。篠山紀信の1頁目のグラビアは、カラーコピーをとりました。この本は恐らく貴女が結婚されてからの本であるから、貴女は、所蔵されていないかもしれない。

印象に残った部分は、マキノ雅弘監督の

「・・実際は後半の四年間で一気にスターになったんだからえらいものだ。・・いま誰を連れて来ても、あの子ほどの良さをさせる女はいないんじゃないだろうか。第一、身体の線ひとつをとってみても違うんだからね。」

貴女のお父さんの

「わが娘のことながら、藤純子ほどの女優がこれからもそんなに簡単になれるものでは

10

20

30

40

50

ないことは誰よりも僕が一番よく知っている。・・藤純子があってお竜は生まれたのであり、誰もが言うように、彼女のお竜が、多数の観客に優しく語り日本の女のイメージをきざんだ故に、東映任侠路線の花となった。目下のところ藤純子以外に一人だちで、客の呼べる女優はいない。・・・・ところが純子は、私が奥さんになる以上は、絶対そんなことはさせません、あなたここで浮気しないと一札お書きなさいという。菊之助君も一札こそとられなかったが苦笑していた。父親が案ずるほどのことはない。」

森山正三氏の取材ノートより、貴女の発言から、「私の演じている女性は、あくまで映画のなかの女性で実際の本人のわたしとは違うのよ、あんな立派じゃないし、ほんとにお竜がいたらクシャミしているわよ。ファンの方が映画とわたしを同一視して錯覚されるのは仕方ないことだけどね・・」

“女優 藤純子 保存版”が発売されてから、30年経た。当時の東映の人にとっては、大変だったであろう。今まで藤純子のおかげで生活できていた人が、お先真っ暗になる人も出たであろうし。まあ、考えようによっては、藤純子のおかげで羽振りが良かったのだから、今までに感謝しなければとも考えられるのだが。貴女の発言の紹介にあったように、私友ファンは、スクリーンの藤純子と実の本人を錯覚していたのは事実であろう。しかし、実と虚を区別することも大して意味がないようにも思える。理想の日本女性としての虚を造り上げる力量が実の本人はあったのは、まぎれもない事実であるから。ところで、私が、東映任侠映画を見るきっかけとなったのは、大学紛争で学校に行っても休講が多かったからである。おかげで、勉強はあまりせず、卒業してしまった。でも、私にとって、藤純子は、一生のあこがれであり、私の人生をいまだに豊かにしつづけている。

敬具

平成14年4月3日

【0076】

富司 純子 様

拝啓

お忙しい中、お元気でお過ごしのことと存じ上げます。

お知らせする程のことではないかとは思いますが、「新宿昭和館」が4月30日を以って閉館することになりました。4月19日から「緋牡丹博徒」、4月26日から「明治侠客伝 三代目襲名」が上映され、閉館になります。昭和26年に開業し、建物老朽化の為閉館するようです。新宿駅東口から、徒歩3分程度の場所ですから、後は、飲食店か遊戯場にでもなるのでしょうか。本物のやくざ様も行っているとかの話は聞いておりましたが、特にそれには気にもせず、貴女の物はたいてい見ておりました。

学生時代に貴女の映画を見出したのが、「緋牡丹博徒」からでしたから、それ以前の作品は映画では見てなかったのですが、かなりのものを見ることができました。

「緋牡丹博徒」以前の作品で、振り返ってみて最も印象に残っているのは、「日本大侠客」の階段での場面での貴女の美しかったこと(この世の人とは思えない美しさ)、「車夫遊侠伝 喧嘩辰」のキスシーン(えっ、藤純子にキスシーンがあったのか)です。

いずれにしても、大画面での藤純子を見ることが、今月を以ってできなくなるのは寂しいことですが、世の中に永久というものがあり得ない以上、いつかは、こういう時期も来るというか、また、今まで上映し続けていた映画館が存在したことが不思議でもあります。ではお元気で。

敬具

平成14年4月18日

【0077】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。貴女にとっては、ほとんど関係のないこととは思いますが・・・。

いろいろと調査しましたら、「新宿昭和館」が閉館になった後、「中野武蔵野ホール」に、主として東映任侠映画が引き継がれるという情報をインターネットにより入手致しました。中野駅から3分程度の場所です。座席数が73席です。ミニシアターと称するもの

10

20

30

40

50

でしょう。4月27日以降、2本立てで、相当数の東映任侠映画のスケジュール組まれております（添付資料ご参考）。これを企画した“いしい・たもつ”という人は、私より若い人で封切りでは藤純子を見ていない。「新宿昭和館」で藤純子を見て感動した人です。彼は、同封しましたインターネット情報によると、どうも若い女性に東映任侠映画を紹介したいという願望を持っているようです。今の若い女性が、30年以上も前の映画に興味を持つのか疑問ですが、まあ私が、これについて、とやかく言うことではないでしょう。同感だったのは、彼の発信した情報の中で“永遠なる藤純子・・・”という表現を使っていることです。藤純子のスクリーンでの美しさは、ご本人の意思とは関係なく、永遠のものでしょう。いまだに、「ローマの休日」を何度見てもすばらしいと思うように・・・。

私に関して言えば、藤純子の作品は、ストーリーもよく知っているし、場面が出てこれば、おおよその台詞も役者から出てくるよりも先に思い浮かびますので、何のために時間とお金（たいした料金でないが）に使うかと言えば、藤純子の美しさに陶醉する為です。失礼な事を言うてしまうようだが、富司純子の作品（映画の本数が少ないこともあるが）には、“陶醉する美しさ”という程の作品は、ないと思われる。しいて挙げれば1989年の「あ・うん」だが、“きれいなお母さん”といった感じで、見る人を陶醉させる美しさといったレベルものではないでしょう（ご本人にお会いすると藤純子時代の美しさと変わらないと思うのですが）。ところで、東映（株）は、藤純子の作品をデジタル化して、永久保存しているのだろうか、今の技術を持ってすれば、永久保存可能であろう。藤純子のような美しい女優は二度と世に出ないのであろうから、東映（株）はそうしておく責任があると思います。（ご本人には、迷惑なことと思いますが。）また、その意味でも、貴女が“藤純子”の名前を、そのままにしておかれたのは、賢明なことだったと思います。芸は進化させることができても、美しさを進化させることは容易なことではないでしょうから。

さっそく、新宿まで行ったついでに、中野まで行って「中野武蔵ホール」を見てきました。「武蔵野ホテル」という小さなホテルの一角を映画の上映スペースに当てているのです。サンモール商店街は、たいへん活気のある商店街でした。道が狭い、人は狭い所を好むようです。また雰囲気が明るい、年寄りも若者もひしめき合うように集まっている感じです。飲食店から、洋服店、八百屋、時計屋等々種々の小さな店があります。お忙しい貴女に、中野に行くような時間はないと思いますが、一度行ってみられればと思います。

敬具

平成14年4月22日

【0078】

富司 純子 様

拝啓

お元気でお過ごしのことと思います。

もう、5月の大歌舞伎が明日（3日）から始まるのかと思うと歳を経るにしたがって、年月が流れるのが早くなるのかと思います。前回お会いしたのが、たしか3月17日だったと思います。明日は、初日ですから、貴女もお出かけになるのでしょうか。

音羽会の観劇日は、18日（夕）になるとなっておりますので、チケットを手配していただきました。花道近くで、かつ通路側の席であり、大変喜んでおります。もっとも「口上」を観たいと言ったのは、妻であり、私は、19日（昼）でも良かったのですが。まあ、私にとって、音羽会の観劇日を選ぶのは、きっと貴女も歌舞伎座へご挨拶に来られるだろうとの期待からです。（入場料金の大半は、貴女を拝見することにあるのですから）貴女に、頻繁にお手紙を書くようになってから、2年6ヶ月程経つのでしょうか。月に2回のペースとしても、60回程出していることになります。最初の手紙にも書きましたが、自分が、病気になって貴女のことを改めて考えるようになりました。それまでは、まあ普通のサラリーマンのように仕事のことだけ頭の中にあるというか。封を切るのも、めんどくさいと幾度となく思われたことでしょう。もっと、高頻度でファンレターを出している人は、おりますでしょうか？

2年半を振り返って、一番の思い出は、平成12年12月21日の貴女とのダンスです。

だいたい、緋牡丹博徒の中で、お竜さんの手を握っていたのは、「一宿一飯」での熊虎親分の海岸でのシーンを思い出すだけ、あとの人は、手に触れることもご辞退するといった感じです。私も、あの時は、熊虎親分のくそ度胸で、貴女の前に歩み寄ったのでした。あの日は、ポラロイド写真を3枚撮っていただき、そのうちの1枚は、菊之助様とのツーショットです。まだ、青年といった感じでしたが、いつのまにか結婚の噂も、といった時の流れを感じます。とにかく、貴女とのダンスは、私の生涯最高の時間でした。今後、同じ機会があるかどうかはわかりませんが、最高の思い出になったことは確かです。

ところで、東映ビデオ(株)は、いよいよ「緋牡丹博徒・第一作」をDVDで7月21日発売することになりました。DVDが世の中に残るかぎり、“女優藤純子”は、ご本人の意思とは関係なく、半永遠的に存在することになった訳です。DVDプレーヤーは、まだ持っていませんが、プレーヤーはいつでも購入できますので、“藤純子”主演、準主演作品は、収集しておこうと考えております。(再製造されない場合ほとんどですし、カバー印刷をながめているだけでも価値がありますから)DVDの形で残るといえるか、残ってしまうというか、最高の主演による映画は、最高の芸術なのだなあと感じます。

では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成14年5月2日

【0079】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。私は、5月3日～6日にかけて、故郷(岐阜県各務原市(岐阜市の東隣))に行ってきました。父(79歳、元鉄道員で、私は父と話をした記憶がほとんどない)は、そろそろかという感じの顔つきでしたので、生きている間に知っておこうと思ひ。「お父さんの生涯の中で、一番気に入った女優は誰だった？」と聞いてみました。私は、原節子とか岸恵子あたりの名が出てくるのかと予想しましたが、返ってきたのは、「そうだな、藤純子が一番良かった。」と言いました。えっ、親父も私と同じ時期に緋牡丹お竜に入れ込んでいたのか。ひょっとしたら、親子同じ映画館にいたのかもかもしれないな...親と子が似ているのか、それだけ藤純子が凄かったのか、おそらく両方の理由だと思ひますが、父との距離を非常に近く感じました。

今から40年前、私の家の近くに、一つ歳上の浅野銀子(銀子と書くとはばかり思っていたのだが)中学生がいました。彼女は、まさに「矢野竜子(藤純子というよりも矢野竜子)」といった容貌の女の子(陸上競技のチャンピオンで、走る姿は惚れ惚れする程美しかったです。私も陸上部でした。)でしたが、私は、彼女が現在どうしているか知りたくなり、彼女が子供の頃過ごしたと思われる家を探してみました。彼女の兄の嫁が出てきて、いろいろ会話している間に、銀子と書くのではなく、吟子と書くのだということを知りました。彼女の住居は、私の家から、1キロぐい離れた場所でした。最後に、「・・・今は、離婚していますけど。」と話されました。何故、離婚していることまで、話してくれたのだろうか。いささか、謎めいたものが残りました。銀子と吟子、彼女には銀子が似合うなと感じました。もし、会ってしまえば、貴女のような美貌は、おそらく、もう失っており、自分が、がっかりするだろうなと思ひながら、私は、東京行のひかりの中で、考えていました

敬具

平成14年5月7日

【0080】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。5月11日に、中野武蔵野ホールで「日本侠客伝・花と龍」「飛車角と吉良常」を見てきました。劇場は、小さいがスクリーンの大きさは、映画の感動を味わうのに十分、さらに、素晴らしいのは新しく清潔な場内、座席は、16500円の歌舞伎座がエコノミーなら、1000円の中野武蔵のホールは、ビジネスかファーストクラス。歌舞

10

20

30

40

50

伎以上のものが、どうして、10分の1以下のお金で味わえるのであろうか。しかも、新宿昭和館と異なって、客層ががらりと変わりました。若者から、女性から、中高年までさまざまです。

貴女も、藤純子時代に、こっそりお父様らと見に行かれたときいています。音羽屋の元締めのお仕事を少しおさぼりして、自分の映画を観られたらいかがでしょう。まさか、富司様、が来ているとは、だれも思わないでしょう。ご本人が、お竜さんの美に、改めて感動されると思います。6/1～6/7は、「お竜参上」と「血斗神田祭り」が上映されます。(一人で行くのが、つまらなければ、会社に電話していただければいつでもご一緒します。いかなる予定もキャンセルして。まあ、これは冗談いや内心願望(かなわぬ)です。)

10

お元気でお過ごし下さい。

18日の夜の部で、お姿拝見できればと、今から楽しみにしています。

敬具

平成14年5月13日

シリーズ第4作。老舗を誇った神田の呉服問屋“澤せい”も、このところ商売が思わしくなく、借金がかさむ一方だった。澤せいの土地家屋を狙う大貫一家は、若旦那の伸夫から権利書を取りあげ、伸夫もろとも澤せいを焼き払った。纏持ちの新三をはじめ、神田“よ組”の連中は澤せいの再建に力を貸す。大貫は訴訟を妨害するため、伸夫の女房・花恵を連れ去る。新三は花恵を救うため大貫一家に乗り込んだ。

【0081】

20

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。5月の大歌舞伎も終わって、6月の歌舞伎が始まる前の、ひと時の休息でしょうか。5月18日の音羽会の観劇日に、お顔を拝見でき(いつも、お顔しか見ていないので、どんな着物を着ていらっしたかは、何も覚えていません。ましてや、帯までは、帯をしていらっしたかどうかさえ、記憶にありません(笑)。)有難うございました。6月は、15日の観劇日に、再びお顔を拝見できるのを、今から期待しております。

ところで、清川虹子さんが亡くなられ、貴女も感慨深いものが、あるのではないのでしょうか。緋牡丹博徒の映画の俳優さんも、かなりの方がすでに亡くなられているものと存じます。村井国雄さんや、山城新悟さん、京唄子さんらは、いまだに健在で、活躍しておられます。中でも、小林稔侍さんが、すごい俳優になられたと思います。東映時代は、脇役だった人が、現在は、堂々たる主役です。歳をとってから、凄くなる俳優さんの代表ですね。女優さんでは、三島ゆり子という方が、比較的配役表画面で、目についた(特に、「仁義通します(第8作)」の中で印象深かった。)ぐらいですが、今も活躍されているか、私は知りません。

30

さて、尾上辰之助様は、「尾上松録」を襲名されましたが、菊之助様はどうなるのでしょうか。いずれ、菊五郎様が、「梅幸」を引き継がれ、菊之助様が、「菊五郎」を襲名されるのでしょうか。(今の歌舞伎は、菊五郎様、団十郎様の両翼で隆盛を極めているのであるから、菊五郎様も、すぐには、名前を変える訳には、いかないでしょうし。まあ、このレベルのテーマは、松竹の社長が、中心となって、考えることでしょう。)

40

では、お元気で、つかの間の休日?をお楽しみ下さい。

ワールドカップも(日本開催は、私どもにとっては、二度とないでしょうし。)お楽しみ下さい。6月15日には、日本が予選突破していると嬉しいのですが。

敬具

平成14年5月30日

生涯現役を貫いた喜劇女優清川虹子さん(きよかわ・にじこ、本名関口はな=せきぐち・はな)が24日午前3時37分、肺出血のため川崎市の病院で死去した。89歳だった。98年に肝臓がんを発病してから入退院を繰り返していた。戦前から数多くの喜劇の名優と共演し、喜劇女優としてのプライドは人一倍高かった。一方で「檜山節考」「復讐する

50

は我にあり」など名作映画で鬼気迫る演技も見せた。恋多き女で波瀾万丈の人生だったが、豪快かつ庶民的な人からは多くの人に親しまれた。

関係者によると、清川さんは肝臓がんを患って以来、何度も入退院を繰り返していた。今月3日に、下血などの影響で極度の貧血となり自宅で倒れ、緊急入院した。亡くなる前日の23日、見舞客には笑顔を絶やさぬ心遣いを見せたが、自力でタンが切れずに何度もせき込んで酸素マスクに血がにじむ状態だった。24日未明、親族に見守られながら静かに息を引き取った。

清川さんの女優人生は、喜劇にささげたものだった。エノケンこと榎本健一、伴淳三郎、徳川夢声ら、一世を風靡（ふうび）した喜劇の名優と共演。喜劇女優の先駆けとして、欠かせない存在となった。

10

【0082】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。村田英雄さんが亡くなられ、1つの時代が終わった感じがします。この間は、清川虹子さんも亡くなられて、東映任侠映画出演の方もしだいに少なくなっていくなあという感じがします。もちろん、東映はその当時、若手は、貴女ぐらいだったのですから、だんだん少なくなるのも、時代の流れでしょうか。

当時の監督で生きておられるのは、降旗監督ぐらいでしょうか？鶴田浩二さんとか、山本隣一さんとか、天津敏さんとか、一見頑強な感じの人が早く亡くられるようです。

タバコの吸いすぎでしょうか？

20

あつという間に、今日はサッカーの予選リーグ決定戦で、明日は、音羽会の観劇日。また貴女のお美しいお姿を拝見できるかと思うと期待に胸が膨らみます。

この手紙が到着するのは、お顔拝見後かも。

敬具

平成14年6月14日

【0083】

富司 純子 様

拝啓

15日は、たいへんお美しいお姿・お顔を拝見し、感動いたしました。今年は、舞台出演もなく、いくらか余裕があたりでしょうか。表情にゆとりのご様子が伺えました。

30

着物は、はっきり記憶には残っていませんが、金色かがった白でしょうか？柄は、まったく認識できませんでした。帯びは、金色でしたでしょうか。約5～6秒の拝見ですから、お顔に集中するのが精一杯です。（私の場合、観覧料のうち1万円は、貴女のお顔を拝見するために、かけているつもりですから、1秒2000円になります。でも、それだけの価値はありますね。何せ、天下の富司様にお会いできるのですから。）

15日の舞台では、菊之助様の舞がすてきでした。菊之助様は、女形で出て来ると、富司様に似て見えますし、男役で出て来ると、菊五郎様に似て見えます。ご両親に似ているのだから、当たり前のことではありますが。それに、菊之助様は、声が女形でも男役でも両方いいのが、良いところですね。

菊五郎様は、田之助様との世話物がいいですね。まさに江戸っ子という感じが素敵です。

40

私共は、楽しむだけですが、毎日演ずるのは、たいへんなことですね。

映画は、監督のOKが出れば、次のカットに進み、よほどのことがないかぎり、再撮影はないものと思います。

ところで、2年前の音羽会、ポラロイドでしたので、デベロップの余地はないかと思っておりましたら、最近、カラーコピーが発達しているので、コピーできました。流れ行く年月の記念になればと思いあつかましくも、送付させていただきました。貴女の記念にもしなれば、と存じます。

平成12年12月ですから、菊之助様23歳（私の長男と同じ）時のものです。

では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

50

平成14年6月17日

【0084】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。18日は、日本はとうとうトルコに負けてしまいました。

久しぶりに「あ・うん」を見ました。すでに何回も見ているのだけれど、はじめて気が付いた場面がありました。門倉さんが、さと子さんと会った後、喫茶店の前で兵隊さんの行進を眺めている場面から、南京陥落の提灯行列の場面へ移る間のワンカットですが、貴女が鏡の前で髪の手入れをしている場面です。横からのシーンが多いのですが、3秒から4秒間、貴女が髪を長く垂らした顔が鏡に写っているのをカメラが捕らえています。お竜参上の場面で、髪を垂らした時のように美しい。

10

「あ・うん」の映画は、同じ時期の「詩城の旅びと」と異なって、貴女をあまり美しく撮ろうとはしていないような気がします。貴女の清楚な美しさを引き出しているようです。物語の内容から、妥当なことであると思うのですが（会社員の奥さんがあまり美しいのも奇妙ですから）。この場面だけは、きわめて美しく貴女を撮っていることに気が付きました。

あの流れの中で、どうしてあのワンカットが必要なのか、あまり理解できないのですが、ジャワ行きで門倉さんと別れが近づいた話に切り替えるためのアクセントであったのであろうかと推察しています。

あのカットシーンでは髪を整えるため、はさみのようなコテを貴女が使っていましたが、私の母も昔同じようなものを持っていた記憶があります。当時何にするのか知らなかったのですが、始めて知りました。

20

前にも書きましたが、この映画のすべては、門倉さんの「みすみす実らないと判っていても、人は惚れるんだよ。」という台詞に凝縮されていると思います。男性は惚れるだけで満足（ほんとうに惚れこんだ女性には手が出せないところがある）だけれど、女性は、それだけじゃ満足しないのでは、というのが、最近の世相から感ずるところです。

それから、私の妻が26日昼の部、歌舞伎座へ行くと言っていました。「富司さんがいたら、挨拶しておいて」、と言っておきましたが。もし、顔を合わせることはありません、よろしく願います。

はずかしがって、挨拶しないかもしれないけれど。

30

歌舞伎座は、私の職場から1キロぐらいしか離れていないのですね。

ではお元気で。

敬具

平成14年6月24日

【0085】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。ワールドカップもブラジルの優勝で終わりましたが、終わってみれば「やはり、ブラジルは強かったなあ」という感じです。日本がワールドカップを手にするこ

40

ところは、中野武蔵野ホールですが、29日、「鉄火場列伝」と「斬り込み」をやっておりましたので、見てきました。「鉄火場列伝」は、夏の設定になっていますので、藤純子さんの着ている着物も白のものが多いのですが、映画の中で着ている1つの着物、これも白であります。着物に“お竜”という文字が書かれているのがスクリーンから読み取れた。これは、ビデオでは、絶対見えないものである。舞台であったとしても、客席からは見えないであろう。

「鉄火場列伝」は、論評図書等では、あまり高く評価されていないが、これは、いろいろなものを詰め込みすぎて、焦点がボヤケタからかも知れない。しかし、ゆかた姿の藤純子さんは、最高に美しいし、天津敏さんとの、スローモーション格闘シーンも印象的である

50

。「斬り込み」も言うにおよばず、高倉さんとの婚礼シーンもありすばらしい。両作とも、いくらかまだ貴女の顔がふっくらとしている。貴女のお顔がほっそりに見えるようになったのは、1970年ごろの作品からかと思います。

ところで、同封しましたチラシですが、35年を経てまだ、このような迫力あるチラシを作ってしまうような女優は、貴女だけではないかと思います。お顔と着物の色からして、「仁義通します・8作」のものではないかと思います。スカシのようなお顔が入っており、1つの紙面に二つのお顔が入っているというすぐものですただ、横に書いてある表示がなんとなく品がないのが欠点です。お顔に折り目がつくと失礼なので、会社の封筒を拝借して送付いたします。

では、お元気で。

敬具

平成14年7月1日

【0086】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。7月は、菊五郎様、菊之助様は大阪公演ですので、貴女は留守を守っておられるのでしょうか。それとも、時々大阪へ出向かれるのでしょうか。菊五郎様は、8、9月お休み（多分）で、しばらくゆとりある生活ができるのでしょうか。9月は、菊之助様が、新橋演舞場で出演なさるので、音羽会の観劇日もあるのでしょうか。いずれにせよ、貴女のお顔を拝見できるのは、少なくとも9月になるのでしょうか。藤純子時代の“お竜”の雰囲気、そのまま歌舞伎の受け付けの立ち姿に残っているのが、不思議な気がします。

その間、私は、中野武蔵野ホールで貴女（藤純子）の映画を見ることにしよう。

“侠客芸者”に続き、“総長賭博”“昇り竜”“関東緋桜一家”等が上映予定されているようです。9年間の女優生活で、90本もあるから、長期にわたって上映されるのだなあ。

しかし、後半の4～5年間のものが上映されることが多い。デビュー初期の白黒作品も見たいのだが。“めくら狼”とか。藤純子のデビュー初期は、私はまだ中学生であったので映画を観ること自体ほとんどなかった。こういう作品は、中野武蔵野ホールも持っていないであろうし。（ビデオ店にもないし。）東映の倉庫に眠っているのであろうか、それとも、東映もすでに処分してしまったのであろうか。“侠客芸者”はいいなあ。舞もいいし。

芸者さんと言えば、私が横浜に入社着任したころは、ちょっとした料亭にそれらしき人がいたような気がします。太鼓たたいたりして遊んだ記憶があります。30年も前のことなので、会社の経費で遊んでいたか、自分で出していたのかさえ忘れてしまいましたが、今は、こういう種類の遊びは少なくなったような気がします。今の時代、芸者さんと遊ぶような粋な人は、歌舞伎役者さんとか、その他芸能関係の人だけでしょうか。

ところで、貴女の遊びは何でしょう。多分、遊ぶ暇はないのでしょうか。着物の手入れだけでも、手間がかかるでしょうし。何となくお気の毒。余計なお世話か……。

私の遊び（趣味）は、貴女にファンレターを書くこと。迷惑かな……。

では、お元気で。

敬具

平成14年7月10日

東映任侠映画の監督の中でもう一人キーパーソンをあげるなら、山下耕作であろう。63年の中村錦之助（萬屋錦之助）の「関の弥太ッペ」は情念描写にすぐれ股旅ものの決定版といえる。68年の鶴田浩二、藤 純子、若山富三郎の「博奕打ち・総長賭博」はやくざ映画の頂点である。他に「緋牡丹博徒」1作目「緋牡丹博徒・鉄火場列伝」「博奕打ち・いのち札」「戦後最大の賭場」「日本女侠伝・侠客芸者」「日本侠客伝・昇り竜」「博奕打ち・流れ者」「仁侠列伝・男」「博奕打ち外伝」などやはり名作ぞろいである。52年京都大学法学部を卒業、同年5月、東映京都撮影所入社。映画好きではあったが、

10

20

30

40

50

他に就職先がなかったからという。総務課、製作課、製作計算係、同事務係をへて55年に助監督。61年「若殿千両肌」で監督デビュー。

【0087】

富司 純子 様
拝啓

お元気ですか。中野武蔵野ホールで、“鉄火芸者”を見てきました。

いいなあ、“藤純子は。”「藤純子の出ていない映画は、映画じゃないのだよな。」と妻に言うと、「あなた、それは歳とった証拠ですよ。」と言われてしまった。そうかも知れないなあ。最近のテレビは、番組表を見てもニュース以外に見たい番組がないし、新作映画にも興味がなくなってしまった。歌謡曲も、同様、宇多田ヒカルより、藤圭子の歌のほうに、愛着がある。当然と言えば、当然なのだが。

ところで、チラシのVOL.3が出来上がっていたので、送付します。全体のイメージは、総長賭博から来ていると思われるのだが、月の中の藤純子さんのお顔は、総長賭博のポスターから、抜いてきたものと思われます。藤純子ファンにとっては、前回のチラシのほうが良いできればと思います。

三島由紀夫は、総長賭博を絶賛していたのだが、私、個人としては、鶴田浩二さんは、俳優としては、あまり好きではありません。健さんには、なんとなく、純でユーモアがあるのですが、鶴田浩二さんは、色気がありすぎて肌に合わないといった感じです。したがって、藤純子さんと健さんの組み合わせの映画が、私にとっては、No.1です。最近は、文太さんとの映画もいいなあと思うようになりました。

今回のチラシの最下段に“緋牡丹博徒”ニュープリント“とありますが、古いフィルムを基にコンピューター処理して、フィルムを新しく作り直したのでしょうか。映画を観てみて、どれだけ映像がきれいになっているか見てみましょう。

ところで、佐伯清監督が亡くなられた記事が出ておりましたが、1967年昭和残侠伝「一匹狼」ぐらいが、貴女出演作としては、記憶に残っている程度ですが。そう言えば、「一匹狼」で出演していた扇さん、今は、大臣ですから、人の運命は予測しがたいものですネ。

では、お元気で。

敬具

平成14年7月17日

この日の午前中、中野武蔵野ホールで私は山下耕作の「日本女侠伝・鉄火芸者」をみている。藤純子がラストで「保名(やすな)」を踊るのであるが、この踊りが本格的なもので今さらながら嫁ぎ先に納得がいく。非常に音の少ない作品で山下耕作の気遣いある演出を感じる。それは、藤純子の動きひとつひとつを美しくとらえようとする試みであろうと思う。「日本女侠伝・鉄火芸者」子供の頃売られて芸者になったヒロインは、途中でつらくて死のうとした時に励ましてお守りをくれた男のことが忘れられないでいる。ある時、彼女はその男

(菅原文太)と再会するが、二人は結ばれない運命だった……。藤純子の芸者ぶりとしが美しさが如何なく発揮されており、魅力的な女優を軸にした映画の作りかたのお手本みたいな作品である。

【0088】

富司 純子 様
拝啓

お元気ですか。暑いですねえ。7月20日、21日は特に暑かった。ところで、緋牡丹博徒DVDは、19日に、入手できました。貴女の元には、挨拶がわりに届けられたのでしょうか？もう、34年も前の作品ですから、担当者は、緋牡丹博徒は、知っていても、藤純子と富司純子様が同一人物であると結びつかなくなっているかも知れませんね。

さて、DVDを再生してみましたら、さすがにみごとな鮮明さで再生できました。具体的には、そうですね、貴女の左頬のほくろがはっきりと見えるとか。実の本人のお顔で、ほくろを認知したことは、まだありませんが。東映も新作映画の製作にリスクを賭けるより

10

20

30

40

50

も、過去の財産に投資したほうが、手堅いということでしょうか。緋牡丹博徒シリーズは、レンタル用に遅れて、セル用が順次発売されてくると予想しております。半年に一本とすると、3年程かかるのでしょうか。映画が封切られた時と、ほぼ同ペースでしょうか。緋牡丹博徒シリーズのDVD化は、団塊の世代向けでしょう。私どもには、東映任侠映画の前の時代劇作品には、興味がありません。ただ、藤純子のデビュー初期の作品を見たい。9年間に藤純子の変化していく様子がわかり興味深いのです。

では、お元気で。

敬具

平成14年7月22日

藤純子のシリーズものであった。

大学生の頃、土曜日ともなるとオールナイトでよく見に行ったものである。

「お竜参上」「お命頂戴いたします」他

スクリーンに大きく映し出されるお竜さんのその美しさに（綺麗だ）そう口にしたものである。

お竜さんの黒髪がほどけるシーン、その後悪い奴らは片付けられていった。

お決まりのシーンとは分かっているてもその場面を見たいがために友人と映画館に通った。

確かに単純なスジではあったと思うが、その存在感がスクリーンを支配していた。

今ではそんな俳優も少なくなったのかも知れない。

【0089】

富司 純子 様

拝啓

猛暑の中、お元気でお過ごしでしょうか。

菊五郎様は、おそらく8、9月は休暇であられますので、貴女と一緒に避暑地にて過ごされるのでしょうか。まあ、これは人様のご家庭のことですが。

ところで、すでに、平成15年1月の三越劇場の案内がインターネットに出ておりました。時代劇物でタイトルは「初雪の朝」だったと記憶しております。ただ、役者さんで名前をはっきりと知っているのは貴女だけだと思います。最近の役者さん方の知識をほとんど持っていないことによるものでもありますが。まず、最近ではテレビをあまり見なくなりました。ドラマ、バラエティ、歌番組、野球、ニュースどれをとっても興味がわきません。ニュースは不愉快な内容のものが多すぎると感じます。これでは、時代に遅れますね。貴女は、今のテレビ番組に興味がおありでしょうか。

さて、「富司純子（特別出演）」、我々には、この“特別出演”の意味がよく理解できません。1. 貴女だけが、特別に有名だからなのか、2. 特別に出演依頼をして出たいたからなのか、3. 他の人は、ある劇団に属していて、貴女だけが、そうでないのか。まあ、1. であると理解することにしておきましょう。

そう言えば、緋牡丹博徒（第1作）にも、高倉健（特別出演）と画面に出ていました。これは、“高倉健さんは、本来主演クラスの俳優であるのだが、今回は、藤純子さんを主演に立てて特別に出演していただきますよ”という意味であろうと理解しております。

特別出演という言葉には、どういう意味があるのか、ふと考えてみました。

それはそれとして、平成15年1月3日からとは、ご苦労様です。場所が日本橋だから、自宅との往復は楽だと思えますが。12月の始め頃から準備なさるのでしょう。平成15年という、“富司純子”を名乗って15年目に入る訳ですね。“昭和も遠くなりにはけり”といったところでしょうか。

敬具

平成14年8月1日

京都映画100年の黄金期を支えた映画人、月丘夢路、山本富士子、富司純子、澤蘭子、本田省三、高田浩吉、東千代之介、淡島千景、京マチ子、西岡善信へのインタビューからなる。

【0090】

富司 純子 様

10

20

30

40

50

拝啓

お元気でお過ごしでしょうか。猛暑だった今年の夏も終わろうかとしている今日この頃ですが、お父様の新盆で京都へ行ったりなされたのでしょうか。今年は、お盆のあたりから、涼しくなったと思います。

さて、8月24日は中野で、「緋牡丹博徒第1作」を見てきました。ニュープリントということで、画面は綺麗になっておりました。フィルム飛びもありませんでしたし。でも、DVDというのは、凄いものですね。画面の大きさを除けば、映画とほぼ同じレベルの解像度でテレビ画面に写し出されます。緋牡丹シリーズの第何作が一番良いか、論評はいろいろとありますが、やはり、第6作の「お竜参上」でしょうか。貴女が一番美しいという点において。しかし、第一作には、渡世人になる前と、後が同時に観られる点で第2作以降にはない魅力があります。

藤純子には、大きく分けると2つの面の魅力があるというのが、私の考えです。一面は、矢野龍子としての藤純子、もう一面は、矢野龍子ではない藤純子。矢野龍子としての魅力は、世の中に存在することは有り得ない女性を演じ切っている点です。矢野龍子ではない藤純子は、世の中に、あるいは存在しうる女性を演じています。どちらが、好きかといえれば、両方共良いということになります。日本大俠客の「お竜」などは、びっくりする程美しい。日本俠客伝関東篇の南田洋子さんの妹役なども、ほがらかで、元気なお嬢さんという感じでなかなか良い。

ところで、今回の映画館のチラシに藤純子さんが載っていないのが、残念でした。夏目雅子さんがデザインされています。「鬼龍院花子の生涯」、この類の映画は、内容が重過ぎて私の好みではありませんが、1982年の作品なのですね。「関東緋桜一家」から10年しか経っていない。年月の経るのは早いものですね。「極道の妻たち」の第一作も1986年。貴女が富司純子として、女優復帰する3年前ですね。「極道の妻たち」は、観た後に、何となくいやな感じが残り、一回観るともう一度観たいという気になりません。岩下さんの貫禄には、圧倒されますが。

さて、11月には、「緋牡丹博徒第2作・一宿一飯」のDVDが発売されます。第何作までDVDがリリースされるのでしょうか。東映ビデオ(株)としては、利益が出る商材かどうかで判断するのでしょうか、それにしても「緋牡丹シリーズ」というのは、藤純子が映画界に存在していたからこそ創り得た稀有な作品だと思います。

では、お元気で。

敬具 30

平成14年8月26日

【0091】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。26日には、涼しくなったと書いたのですが、予想に反し残暑が強いようです。しかしながら、すでに9月に入り、今日2日は新橋演舞場の初日、貴女も再びお忙しくなられたのでしょうか。

ところで、昨日は中野へ「日本大俠客」を観に行ってきました。「日本大俠客」を観るのは、たしか3回目ですが、私の知るかぎりでは、ビデオ化されていませんので、3回しか観ていないとも言えます。66年の作品ですから、貴女がまだ21歳ぐらいの時のものと思います。資料によっては、これが緋牡丹博徒の生まれる原型になっていると記述しているものもありますが、任侠映画伝(俊藤浩滋・山根貞夫)によると、必ずしもそうとは書かれていません。これは、どうしてもよいと言えば、どうしてもよいことですが、「日本大俠客」は女優藤純子が主演作を生み出す基になった作品だったのではないかと思います。(あるいは一年後の「俠骨一代」が主演作を生み出す基になっているかもしれませんが。)というのは、「日本大俠客」の藤純子は、前回も書きましたように、とてつもなく美しい。美しさに迫力があると言えます。主役は、鶴田浩二さんですが、鶴田さんの存在が、藤純子の存在によって影が薄くなってしまっている感じがします。この作品で、当時の東映の関係者は、いずれ藤純子の主演映画が到来するのを予期したものと察します。

私の持論では、女優藤純子が最も美しい映画を3つ挙げるとすると、1「日本大俠客」6

10

20

40

50

6年、2「侠骨一代」67年、3「お竜参上」70年（「昇り龍」も挙げたいのだが）となります。66年の作品は、娘藤純子と大人藤純子の美しさが同居している感じです。67年あたりの作品から、大人の女性としての風格が出て来て、70年「お竜参上」では堂々たる風格です。この「お竜参上」の風格、歌舞伎座や国立劇場で立っておられる時と同じですね。さて、9月の音羽会の観劇日は、19日（平日）ですが、4人が揃う日を見つけて懇親会の日を設定するとすると、今年は、9月19日しかないのでしょうか。16日には、お姿拝見できないとは思いますが、菊之助様を拝見できるのを楽しみにしております。

ては、お元気で。

敬具

10

平成14年9月2日

マキノ雅弘の「侠骨一代」をみるとまさに、その想いがわかります。女の気持ちとしたら、それが母に対する愛情だとわかったらこんなに辛いこともないと思うのですが、そこは女性の不思議で、だれしも母性というものがあって、受け入れてしまうものらしい。この作品で藤純子は母親と娼婦の二役をやっていて、牛乳を飲むシーンが何回も出てきます。そのたびにその飲み方が違う。牛乳というのはおそらく母親の象徴なのでしょうが、マキノらしいきめの細かい演出がひかります。快樂亭ブラック師匠は藤純子のベスト2は「女渡世人・おたの申します」と「侠骨一代」だと言いつつ切ってます。

【0092】

富司 純子 様

20

拝啓

お元気ですか。ほんの一瞬、テレビで見ましたが、“結婚泥棒”というドラマでは、貴女がウエディングドレスを着る場面があるような気がしました（見誤りかもしれませんが）。

タイトルからして、コメディっぽいのでそうかも知れない。相手役は、橋爪さん？であったかなあ。相手役の方が羨ましいなあ。21日のスタジオパークも楽しみです。ただ、4～5年前のスタジオパークに出演された時のビデオを撮っていないのが残念です。あの時は、着物姿だったと記憶しております。それ以降（ページュのパンタロン姿/犬が吐いた時）のものは、すべてビデオを撮っています。

今年の正月に国立劇場で、貴女から、NHKの出演があると聞いていましたが、なかなか情報が出て来ませんでしたので、中止になったのかと思っていました。番組制作の企画というのは、ずいぶん前から決定されているものだと思います。2年程前でしょうか、“東京の女・大阪の女（金貸しの奥さん役）”が放映され、これもビデオにとってありますが、藤純子のイメージを引きずっている私（私共）には、少しイメージが変わりすぎという感じです。たまにビデオを見ますが、

30

その点、“詩城の旅びと”はすばらしい。

貴女にファンレターを書き出してから、かなりの年月が経ち、貴女にとっては、わずらわしいことと想像いたしますが、女優であるからしょうがないと割り切って下さい。

19日には、音羽会の懇親会、八丁堀から東京までは近いので、貴女のお姿拝見するために出席させていただきます。

40

では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成14年9月13日

【0093】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。とは、言ってもつい先日、手紙を出させていただいたばかり。16日に観覧させていただいた“上意討ち”“お祭り”大変良かった。何が？ 菊之助様の美しさが

妻は、菊之助様は、菊五郎様に良く似ていると言う。黒柳徹子さんも、そう言っていた。

50

しかし、私には、どうも納得いかない。“上意討ち”で登場してきた時の雰囲気、姿、“お祭り”の舞は、藤純子さんの“侠客芸者”の場面とそっくりな気がした。もっとも、私は、菊五郎様の若き日の女形を見たことがないので、その点からの感想を述べることはできないが。美しい母から生まれてくることは、幸せなことだ。また、なかにし礼先生が言っていたように、貴女は、日本文化に貴重な財産を残されたものだと思います。しかし、人というのは、永遠ではないので、菊之助様には、その次を、どなたかと共に、残されねばならない重責があるのか。

いずれにせよ、菊之助様は、美しかったし、藤純子さんの舞を彷彿とさせた。ちょうど、歳も、貴女の“侠客芸者”や“鉄火芸者”の時と同じころだと思う。もちろん、男性と女性では骨格が異なるので、もし、並んでいるところを見比べれば違うのであろうが、よくまあ、あんなに女性らしい動きが出るものだと感心した。日頃の鍛錬のたまものであると思う。

歳をとったせいか、映画を見てよく涙が出るようになった。何回も見ている同じ映画においてさえそうである。特に、藤純子さんがスクリーンでアップになると、あまりの美しさにそれだけで涙が出てくる。

今まで歌舞伎を見て涙が出ることはなかったのだが、お市（菊之助様）が自害する場面では、思わず涙が出てきた。いい歳をして、菊之助様の美しさに惚れこむというのも恥ずかしいことだが、昨日は、そんな気持ちにさせていただいた。まあ、根底には、菊之助様が貴女の子供であるから、ひいきにしていることがあるのではあるが。

敬具

平成14年9月17日

【0094】

富司 純子 様

拝啓

19日は、たいへん楽しいひとときを過ごさせていただきありがとうございました。菊五郎様、菊之助様はもとより、関係の方々に機会がありましたら、よろしくお伝え下さい。特に今回は、貴女はもとより、菊之助様にも、いろいろとお話する機会を得ることができました。（菊之助様には、菊之助様の演技がすばらしいこととか、貴女のことを、日本の有史以来の、最高の女性であると思っていることなど。）

時は、瞬間の連続であり、それがゆえに、楽しかったパーティもかなり先のここと思っていました。それが、やがてやってきて、2時間半程の時間があっという間に過ぎ去りました。

ご自分の写真を見るというのは、私の場合に関して言えばあまり好きなことではありませんので、貴女にとりましても同様であるかもしれませんが、2002年9月19日の17時30分から20時にかけての時間を、10枚の写真でまとめてみました。

貴女にとっても、良き記念になれば、幸いに存じます。

敬具

平成14年9月21日

上意討ち、江戸中期、藩主のお古の側室を押し付けられた侍が、その元側室と夫婦になり仲良く暮らしていると、しばらくして藩主側の勝手な都合により元側室を返せよーと命じられる、そんなご無体な！な話。時代劇にごく近い印象で、私からしてみると非常にとっつき易く親しみ深い感じが致しました。それでも節目節目にかっちりと型が決まって、そのたびに鳥肌がたつみたいな興奮を覚えるのであった。特に成田屋親子、團十郎と新之助が揃って見得を切ると、なんとというか身動きする事すら憚られるような迫力があるのだなあ。美しくて恐ろしいのだなあ。こうゆう時に、歌舞伎は血だ！って思ってしまうのだなあ。

ところで菊之助と新之助のカップルは完璧である。もう菊之助は絶対女子だね。あまりにキレイでこの世のものとは思えない。美しすぎると、その美しさ故に早く天に召されそうな気がして心配になる程よ。新之助鼻肩の友人とよく言っていることだけど、あの二人が結婚してくれたらこんなに目出度いことはない。なんか説得力あるしお似合いだし何より

10

20

30

40

50

ももう色んな心配（女子関係の）しなくて済むし。

【0095】

富司 純子 様

拝啓

スタジオパークすてきでしたね。何がって？ 長く垂らした黒髪の容姿が。貴女が髪を垂らすとどきっとします。あまりにも魅力的なので。

黒髪を垂らした場面は、

1966 源義経

1967 侠骨一代 高倉健さんと2階で会う場面

1969 花と龍 賭博場での壺振りの場面

1970 昇り龍 最初に彫り物をしている場面とか

1970 お竜参上 最後の方の場面

1971 お命戴きます 最後の方の場面

1989 あ・うん 鏡の前で髪をとく場面

1999 結婚ラブソディ かつらをとった後、黒髪が垂れてくる場面

等を記憶しております。一番どきっとしたのは、侠骨一代で高倉さんと仮病をつかって会う場面ですね。そして、その次が2002年9月21日のスタジオパーク。どちらも美しいなあ……。魅力という点において、35年の年月を経た今も遜色ないと思います。女性は髪型一つで、まったく雰囲気が変わりますが、特に貴女は、髪を上げた凛とした女性像を印象強く作ってこられましたので、特に、髪を垂らした時の容姿に、“どきっ”と

ところで、「結婚泥棒」、面白いですねえ、笑いながら見てしまいました。何が面白いって？ とにかく橋爪さんが詐欺師の役ですので、台詞の一つ一つが、嘘を言っているのか、本当のことを言っているのか、よくわからないのが面白い。

詐欺師、金儲けのためにそういうことはしたくないが、結婚に関して言えば、私もそうであったかなと思います。

では、お元気で。

敬具

平成14年9月24日

金五郎に一目惚れしたお京は、金五郎の体に、一生一代の刺青「昇り竜」を彫りこんだ。金五郎を慕って若松にやって来たお京は、マンの存在を知って衝撃をうけるが、二人の命を救うため島村ギンに、金五郎と友田との仲裁を願い出た。ギンはお京の一途な心に打たれ金五郎と友田の手打ち式を行うようとりもった。……。胸を患って浅草で荒んだ生活を送っていたお京は、自分の命の長くないことを知り、金五郎に一目会いたいとの心を押しきれずに若松にやって来た。金五郎は、最後の命の灯を消そうとするお京を、武蔵野温泉に尋ねた。お京は残されたわずかばかりの力をふるって、金五郎の背に彫りこまれた朱色の“京”の文字を、新しい墨で塗りつぶした。お京は、金五郎の心も体もすっかりマンに返そうとしたのだった。そしてお京は金五郎の胸にすがって、二度と開くことのない目を閉じたのだった。

【0096】

富司 純子様

拝啓

9月27日の日経新聞に貴女の写真掲載の記事が出ております。

女優さんの中でも、日経新聞に、それも35年前のものが写真掲載で出るというのは、貴女だけではないでしょうか。

すでにお読みになっているかも知れませんが、念のため記事のコピーを送付致します。

では、お元気で。

敬具

平成14年9月30日

最近読んだ本からネタを。笠原和夫の「映画はやくざなり」。笠原和夫といえば、東映任

10

20

30

40

50

侠映画の最高傑作「博奕打ち・総長賭博」や、実録路線の先駆「仁義なき戦い」など有名な脚本家だが、去年の十二月に亡くなってしまった。この本は遺稿集です。

「総長賭博」は公開当時はヒットしなくて、所長室に監督の山下耕作と共に呼び出され「何だお前は！ ゲージツみたいなものを作りやがって。ゲージツでは客は入らんぞ！」と叱られた。「わかりました」と謝りながら、山下監督と「してやったり」の目配せをして、ニヤリとしたらしい。笠原曰く「たまにはこうやって会社を騙して自分の作りたいものを作る必要がある」と。その理由は色々あるのだが、そうやってしたたかに生き抜いてきた人なのだ。

「総長賭博」とはどんな映画だったのか。量産されたヤクザ映画にそろそろ飽きかけていた笠原は、ある日会社から「総長賭博」というタイトルでやれ、と命令される。社員である以上イヤといえない。山下監督と相談した結果、「男同士、何も言うな、お前の気持はわかった」式の義理人情ドラマとは正反対のものを作ることにした。

組のため耐えに耐えた鶴田浩二が、義兄弟の若山富三郎を刺し殺してまで組の対面を保ったものの、敵側の叔父貴である金子信雄に一片の反省もないことから、ついに怒りを爆発させてドスをもって殴り込む。びっくりした金子信雄の”叔父貴分に刃物を向けて、それがてめえの任侠道か”とわめくのに対して、鶴田は”任侠道か、そんなものおれにはねえ。おれはただのケチな人殺しだ”と言い終わるや相手を刺し貫く。鶴田浩二の名演技です。ここに、それまでの道義と情の美学としてストックに任侠世界を形成していたパターンが崩れたのですね。

この映画は後に「映画芸術」などで三島由紀夫に絶賛され、今や前述したようにヤクザ映画の最高傑作としての評価が定まっているんだけど、公開当時観た私としては、正直そんなイイ映画とは思わなかったもんなあ。だって殴り込みシーンにカタルシスがないんだもん。ヤクザ映画を観に行くのは、そのカタルシスを味わいに行くのに、それがなけりゃ客はとまどいますよ。「総長賭博」の殴り込みには、個人の暗い怨念みたいなものがすぎているチョットつらい。まあ、このことが高評価されることになるんだけど、高校生だった私には分かりませんでしたね。

【0097】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。ひさしぶりに、中野で「日本女侠传 血斗乱れ花」を観ました。チラシも夏目雅子さんから再び藤純子さんにもどっておりました。このチラシのカットは、「一宿一飯」で上州を歩いているシーンから抜き出したものでしょうか。情報によると、来年の1月4日から1週間は、「車夫遊侠伝喧嘩辰」と「幕末残酷物語」が上映されます。いずれも1964年の封切りであるから、38年程前のものになります。藤純子さんのデビュー時期の頃の作品は、さすがに上映されることが少ないので楽しみです。1月3日には、三越劇場へ行く予定なので、忙しい。38年前の作品でも、出演されたご本人はよく覚えておられるのでしょうか。それとも、記憶が薄れてきているのでしょうか。

ところで、「結婚泥棒」もいよいよ来週は、最終回。今年の夏は、お忙しい日々だったのですね。「結婚泥棒」は大変面白いのですが、藤純子のイメージを引きずっている者共には、なんとなくしっくりこない気がします。藤純子に惚れこみすぎているのかもしれない。

ではお元気で。

敬具

平成14年10月23日

日本女侠传 血斗乱れ花：治の中頃、大阪船場の一人娘平野ていは婿養子を迎え呉服商を仕切っていたが、夫の藤吉は石炭に取りつかれ店の金もち出しては、友達の平吉と組んでひと山当てる夢を追っていた。北九州へとんだていは藤吉を説得しようとするが、炭層を掘り当てた直後の落盤事故で息絶える。ていは、命を賭けた夫の志を継ぐ決意を固め、大阪の店をたたんだ。その日からていの男勝りの生活が始まり、川船頭の吉岡幸次と知りあったのは間もなくだった。幸次は、女一人炭坑稼業に打ち込むていの姿に惚れ込み、炭

10

20

30

40

50

坑の山頭の吉岡銀蔵に紹介した。幸次は、銀蔵の息子だが、親の意に反して川船頭になってしまったのだ。ある日、幸次は勘造の子分に襲われ、やむをえず三人を殺して八年の刑期で刑務所入りした。それから二年、ていは銀蔵、平吉などの働きで「平野鉦山」の看板を出した。そして、さらに五年、ていの活躍は続き、やがて幸次も出所した。しかし、勘造と組んだ芦屋の問屋組合長大島儀十は、ていに横恋慕し、平野鉦山を乗っ取ろうとその機会を狙っていた。ていの味方である松木や仁平も大島の手にかかり、遂には銀蔵まで殺され、平野鉦山にはダイナマイトが仕掛けられた。あまりの惨事に、ていは炭坑を閉めることを心に決めるが、幸次の説得でもう一度やり直す決意を固めた。怒りをおさえる事のできなくなった幸次は、大島と勘造のもとに向った。幸次は、拳銃で傷を負いながらも、大島と勘造に斬りつけていった。

10

【0098】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。ついに「結婚泥棒」も6回の放映完了となりました。結末は、予測できていましたので、安心して観ておりました。役者というのは、いろいろの役柄をこなすものだなあと思いました。富司さんの方から、男性にダイレクトにアタックしていく役も、藤純子時代になかったわけではないのですけれども、例えば「日本侠客伝 斬り込み」とか、基本的には、渡世人の世界の話が多かったこともあり、健さん、鶴田さん、文太さんらとの間に恋の火花はあったものの、結局はなかなか結ばれないという作品が多かったと思います。そんな意味でも今回の作品は、ちょっと意表をつかれた感じですが、でも、暗いニ

20

ューズが多い中、明るい気分になるには、良い作品であったかと思えます。ところで、藤純子ファンでもある私は、またまた中野へ足を運び、「日本侠客伝」1964年、「女渡世人 おたの申します」1971年を観て来ました。同じ藤純子さんでも、1964年と1971年ではずいぶん違うなあと思いました。1964年は、まだ19歳でふつうの娘さんの雰囲気が残っています。1971年は、すばらしく美しくなった女性となって登場しています。「女渡世人」シリーズは2作しかないのですが、いずれもビデオ化されていませんので、「おたの申します」も実は2回しか見ていません。一回目は、貴女が指をつめるシーンに驚いただけで終わりましたが、2回目を見るとなかなかいい作品だと思えました。例えば、町田京介のくどきをつれなくかわすシーン等。まあ何といても藤純子の美しさといったら、言い様がない。1971年といえば、菊之助さんとの結婚も近づいて、そんなこともあって、美しく輝いていたのかなと思えます。(71年は、引退も近づいたせいか作品数は少ないのですが。)

30

ところで、場内には、すでに11月下旬からのプログラムが置かれておりましたが、さて今回のチラシのお竜さん、一体第何作目の作品から切り出してきたものか、さすがの私にも分かりかねます。第7作「お命いただきます」では、水色の着物を着て、鶴田さんと並んでいたシーンがあったと記憶しており、これから切り出したもののような気もするのですが。富司純子さんも素敵ですが、藤純子さんの素晴らしさは、永遠ですね。

では、お元気で。

敬具

平成14年10月29日

40

女渡世人 おたの申します：シリーズ第2作 第1作目は小沢茂弘で今回は山下耕作にメガホンをバトンタッチしている。女主人公に想いをよせる流れ者のセリフ“姐さん、ヤクザは日陰の花だ。日陰の花が日向に咲こうなんて考えたら、てめえが辛くなるだけですよ”泣かせます。「関の弥太っぺ」にも似たようなセリフがありましたネ。

【0099】

富司純子 様

拝啓

お元気ですか。11月9日には、「いつもお手紙をいただいて」とのお言葉を戴き甚だ恐縮致しました。内心ご迷惑(煩わしく、またゴミになる)になっているかもしれないと思っておりましたので。しかし、夜の部の終了後も、ご挨拶に立っておられるとは思いませ

50

んでした。梨園の妻とは、大変な仕事だなあと思いました。あの夜は、菊之助様の食事を済ませて、後かたづけをして、犬を風呂に入れて、やっと一日が終わったのであろうと思います。

女優として、妻として、母として、音羽屋の元締めとして、一人で何役も良くこなしておられるなあと感心いたします。きっと、東映京都時代にハードなスケジュールをやり抜いてきたからこそ務まるのでしょう。多い年は、年間12本程度の映画をこなしてきたわけですから、それも主役・準作品6~7本を含めてですから。特に23歳~26歳ごろは、めまぐるしい日々だったものと想像しております。何と言うか、かなり徹夜に近い撮影の日々を、持ち前の体力と若さで乗り切られたのでしょうか。そのおかげで、我々東映任侠映画ファン(といっても、私のような藤純子ファンには、藤純子が出演していない東映任侠映画には、まったく興味がないのですが)にとって、永遠なる財産を残していただいたことになったわけです。またその事が、貴女にとっては、多忙なスケジュールと多量の人間関係を手際よくさばっていく器量がはぐくまれたものと推察致します。

途中にブランクもあり、一人で何役もやってこられたから、朝丘ルリ子さんのように、いずれ紫綬褒章受賞とはいかないかもしれませんが(また政府としても任侠映画の評価を公式には行いにくいでしょうし/個人的には、東映任侠映画は、実録物を除き、その格調の高さや様式美は古典芸能や映画の文芸作品にけっして劣るものではないと考えるのですが)、貴女が、上述のごとく日本一のお母さんであることは間違いのないと思います。

さて、年末から年始にかけては、女優としての活躍が再開されるのですが、あまり力を入れることなく適度にさばかれることを期待しております。まあ、私共のような熱狂的な貴女のファンとしましては、演技がどうであるとかあまり気にすることなく、ただ貴女を見ているだけで満足という者共であり、そのようにファンを思わせることが貴女の価値だと思います。最後に、10日、日曜日に中野で「一宿一飯」を性懲りもなく見てきましたが、良かったですね。ではお元気で。

敬具

平成14年11月11日

"緋牡丹お竜"こと矢野竜子は、か弱い女の身ながら不義理者や情け知らずを嫌う、筋の通った女渡世人。上州に赴いたお竜は、生糸産業を食い物にして多くの人を泣かせる笠松一家に怒りを爆発させ、

殴り込みをかける...。藤純子の当たり役として人気を博した「緋牡丹お竜」シリーズ全8作の第2作目。藤純子は粹できりりとした表情の中にも女のか弱さを漂わせた名演技で、任侠映画のスターの一人となった。鶴田浩二がお竜を助ける渡世人として登場し、結ばれない悲しい恋の相手を演じている。

【0100】

富司 純子 様

拝啓

ある本から、見つけた写真、スチャラカ社員に出演していた高校三年生頃の写真を送付します。スチャラカ社員の出演よりも映画出演の方が先なのではないかと想像しますが、私は、はっきりとは知りません。いずれにせよ、ほぼ同時期の1963年の写真です。いたずらっぽい目つきに高校生の若さが出ている貴重なスナップではないでしょうか。我々の歳になると、昔の写真というものは、よほどのことがないかぎり見ることはないと思います。

私に関して言えば、妻の結婚前のことには、あまり興味がなかったようです。したがって、妻の結婚前の写真は、何かの折、一度ざっと見ただけです。まあなんと言うか、妻の過去をいくら追っかけても、現実が変わるわけではないので、無意味というか、そんな訳でして。結婚すると興味が湧くかと言うと、現実はその逆であり、結婚した後は、妻に対する興味は、急速に下降します。まあ、男というのは、たいていそんなものなのでしょう。結婚してしまうと、普通のケース、お互いに別れを惜しむという場面を迎えることがなくなりますから、燃えなくなるというか。

多分、菊五郎様も余り貴女の過去に興味はなかったのではないかと思います。現実にはすべ

ての価値があるのですから。また、結婚してしまうと、いかに大女優を手に入れたとは言え、結婚する前に比べると、貴女に対する興味は、急速に下降していったのではないかと失礼ながらご推察します。だとすると、今回同封しました写真も当然に見たことがないのではないかと思います。日常生活の中で、わざわざ昔の写真を引っ張り出してきてながめるといことは、まずないことですし。

そんな意味でも、この写真、菊五郎様に見せてあげてはどうでしょうか、お付き合いを始める前の写真ですから。菊五郎様も、少しばかり、結婚前の気分にもどられるのではないかと思います。自分の妻は、こんなにチャーミングだったのだなあと、しみじみと。よって、誕生日にビッグなプレゼントを贈られるかも。

ところで、この写真の雰囲気が残っているのは、1966年の映画の頃までだという気がします。その後、すっかり、大人の女性の雰囲気がなくなったというか。

我々、ファンは、ほんの一瞬しかお顔を拝見しませんので、永遠に貴女に対する興味がつきないのが、ある意味で幸せなのかもしれません。

では、お元気で。

敬具

平成14年11月15日

あの頃の大阪モノの中でも特に有名なのが、中田ダイマル・ラケット主演で、後年、緋牡丹博徒・お竜役で画面に出た瞬間に館内大拍手の超大々ブレイクする藤純子が、キレイで優しい番組アイドル的女子社員を演じている「スチャラカ社員」と、その一年遅れぐらいの昭和三十七年から始まったバリバリ大阪喜劇の「てなもんや三度笠」。

【0101】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。DVD第2弾、「一宿一飯」が発売されました。(主演16作、写真本付でセットにして販売してくれるといいのだが、東映側にもレンタル用、セル用と時期を変えたり販売戦略があるのでしよう。)

この作品の評価が高い点は、貴女も指摘されているように、お竜さんが片肌脱いだ時の名台詞にあるということについては同感ですが、さて、あの台詞今でも記憶されておりますでしょうか。「女だてらに、こぎゃんもんば背負って生きとつとよ。だけん、あたしにゃあマチさんの気持ちなようわかりますばい。女と生まれて人を本当に好きになったとき、一番苦しむのは、こん汚してしもうた肌ですけんね。消えんとよ、もう一生。だけん、体じゃなかつよ。人を好きんなるのは心。肌に墨はうてても、心にゃあだあれも墨をうつこつはでけんとです。」やや、道徳的な意味あいを含んでいる感じがする台詞であると思うのですが、確かに女性が本当に墨を入れたら、ちょっと怖くて、誰も相手にしなくなると思います。(ヒモ付きでなく、怖い人から言いがかりをつけられなければ、刺青していたって、その女性がすばらしければ、かまわないと思いますが。まあ、現実にはそんな人に出たら、恐怖心が先に立つでしょうね。)また、この台詞では人の心を重視しているのですが、最近の世の中、こういう道徳感がなくなり寂しくなりました。そういう自分も、それ程、倫理観、道徳感を備えているかと自問自答してみると、現実には、自分の都合のよいように心が動くものだということも自覚しており、所詮人間とは、その程度のものであって、それも神はお許しになるといった都合のよい解釈をしております。私個人的には、「一宿一飯」の最大の評価を、お竜さんが、黄色っぽい着物姿で親分集の前で、啖呵を切る場面とか、一番初めのご挨拶の場面とか、相手の子分が宙を回って池に落ちる場面とかといったお竜さんのかっこいい場面に置いております。

この作品のいやな面は、悪役の天津敏さんが(ほかの作品では憎憎しい中でも、少しユーモアの表情が出ているのですが)、悪義に徹しすぎといったところです。男性が女性を冒すという場面は、「日本侠客伝 白刃の盃」の松尾嘉代さんとの場面ぐらいの表現に留めて置くのがよいのではないかと思います。あそこまで、悪を表現しなくても、お竜さんに切られる価値は十分にありというのが私の感想です。さて、貴女が、あれだけ体格の良い天津敏さんを相手にして、やっつけても(特に第5作の徳島での決闘場面とか)、不自然

さを感じないのは、貴女が当時の女性としては大柄だった（今は、でかい女性がいっぱいいますが）ことと、お顔が小さい割には、体の骨格がしっかりしていて、特に腰のラインにしなりがあることではないかと思えます。したがって、スクリーン上では、より大きく見えるようです。（平成12年12月21日に、音羽会の懇親会で黒い洋服を着ておられた時のお姿を拝見して、実際は思っていたよりも小柄な人だなあと感じました。）

ではお元気で。

敬具

平成14年11月21日

【0102】

富司純子 様

拝啓

お元気ですか。お誕生日前にお祝いの手紙を出そうと思っておりましたが、過ぎてしまいました。敬宮愛子様と同じ日なのに。さて12月に入り、お忙しい日々をお過ごしのことと存じますが、12月は、菊五郎様、菊之助様共々京都南座ではなかったかと記憶しておりますが、時々京都へ飛んで行かれるのでしょうか。

話は変わりますが、1966年の紅白歌合戦には、菊五郎様と貴女は、ご両人で審査員になられたのでしょうか？（資料を付き合わせると、そうであったとも窺われますし、菊五郎様だけであったとも推察されます。）当時の出演者当然のことながら、全員よく知っているのですが、最近の出演者は、半分近くが知らない若者たちです。ただし、演歌歌手の方々、例えば大御所の北島三郎さん、1963年から出場しているのですね。（何と、貴女がデビューした年にもう出場していたのですね。）

ところで、歌と演技、けっこう繋がりがあられるのですね。貴女も映画の中で歌われておりましたし。歌が上手くないことを、貴女自身は、自認されておりますが、映画の中で流れると違和感ありません。ただ、男優と女優を比べると男優の方が、歌のうまい人が多いようです。鶴田浩二さん、石原裕次郎さん、小林旭さん、杉良太郎さん等（いずれも歌手クラスまたは俳優兼歌手）、女優さんでは、倍賞千恵子さん、いしだあゆみさん、吉永小百合さん、松坂慶子さん等（歌えるが、歌手というには程遠い）。

さて、今年の紅白の初出場組に、藤本美貴という人がいまして、この人まだ17歳ですが、テレビで二度程、何かのおり、見かけたことがある人ですが、目の感じが貴女に似ていましたので、最近のタレントにめずらしく美人がいるなあと、少し気になっておりましたら、何と紅白歌合戦に出場することになりました。気になっていたこととは、つまり、菊之助さんのお嫁さんにどうかなとか（ミーハー気分です。まだ、江角さんとの件が、ニュースで流れる前のことです）。菊之助さんとは、少し歳は、離れていますが、女性の17歳、結構しっかりしていますよね。貴女もそうであったように。

まあ、それはともかくとして、もし、今年の紅白を見る時間がありましたら、藤本美貴さんを見てあげてください。（初出場だから、出番はきっと早いでしょう。）

歌をしっかり聴いていないので、来年も出場できるかどうかについては、コメントできませんが。

敬具

平成14年12月2日

【0103】

富司純子 様

拝啓

お元気ですか。正月が近づき、通常でもお忙しいことと思えますが、来年は、3日から三越劇場で出演ということで、台詞を覚えたり大変な毎日だと想像します。第1、私共の歳になると、新しいことがなかなか覚えられなくなるのではないかと思います。もっとも、台詞を間違えても、私のようなファンは一向に気にしませんし、間違えたかどうかも分かりませんし。要するに、私の場合、特に演劇のストーリーに興味がある訳ではなく、貴女を観に行くだけが目的ですから。（他の出演者には申し訳ありませんが。）3日の席は希望通り最前列を採っていただき感謝しております。妻は、三越劇場でなく、新橋演舞場に行きます。江守さんがいいとかで。

10

20

30

40

50

今まで観た中では、赤いチャイナドレスの滝の白糸が一番印象に残っております。とにかく、貴女が美しかった。

さて、今年もクリスマスが近づきましたが、2年前の平成12年12月21日は、私の生涯最高の時でした。つまり、音羽会のクリスマスパーティーで貴女とダンスをしたこと、その2分半程の間に、1秒程度貴女のお顔をちらりと観ました。清楚な美しさだなあと感じました。「あ・うん」の水田たみさんの雰囲気でしたね。ダンスと言えば、ノーベル賞の田中さんも、一瞬困ったことになったなと思われたようですが、貴女に教えていただいて、ブルースをボックスで踊るぐらいは何でもないことなのだと思います。もう、二度とあのような体験はできないと思いますが、男はロマンに生きますので、あれで十分です。その点、女性は、男性よりも積極的に現実を求めるような気がします。

10

ところで、先日、中野へ行き、「昭和残侠伝・唐獅子仁義」を観てきました。「悪い女になりたいんです」と言って、貴女が健さんを、誘う場面があるのですが、健さんは貴女に手を出さない。あれが、男の美学ですね。

しかし、あれは渡世人の価値観、今の世の中、実際に貴女から誘われれば、のりますよね。菊五郎様に訴えられても、本人同意なら、大丈夫ですし。(この部分は、冗談です。)

いずれにせよ、お忙しい中、お元気でがんばって下さい。2001年の近鉄劇場のようなハードスケジュールではないので、安心しておりますが。

敬具

平成14年12月20日

【0104】

20

富司純子様

拝啓

お元気ですか。クリスマスはいかがお過ごしでしたか。

菊五郎様から素敵なプレゼントがありましたでしょうか。それとも、もうそのようなことは、遠い過去のことになったのでしょうか。

私の場合は、まったく通常の日と変わらず、風邪を引いてしまったこともあり、自分の部屋で静々と過ごしました。私は、夜行性の猫との付き合いに対応できない為、いつも一人自分の二階の部屋に籠っています。それに、娘たちは、私がリビングにいるのをいやがりますし。

前回のファンレターで、2003年1～2月の中野の映画館のプログラムを同封するのを忘れしたので送付させていただきます。表側のデザインは、まったくセンスのないものですが、裏を見ますと、藤純子さんは、2ヶ月になんと計8本の作品に出ておられます。女渡世人第1作は、実は見ていませんので、楽しみにしております。映画の評論では、藤純子さんの白の着物姿が特に美しいとされています。

30

藤純子の 美しさにまた 涙して 過ごす新年 2003年かな
ではお元気で。

敬具

平成14年12月26日

(女渡世人シリーズ 第1作)時は大正の終り信州。生き別れの母を探し求めながら渡世修業の旅を続ける妻恋いお駒は、渡世の義理で大藪組親分を斬ってしまった。やがて小諸十六島一家の賭場に足を踏み入れたお駒は、そこで幼い娘お夏を連れた流れ者筑波常治と知りあった。賭場を出たお駒は、後を追ってきた大藪一家の男たちに襲われ、その窮地を常治に救われた。常治がわらじをぬいだ十六島一家と、野沢一家のでいりはその夜のことであった。一宿一飯の義理のために死を覚悟した常治は、長野から三里ほど入った山の中にある鹿教井温泉の猿渡屋の祖父母のもとに、お夏を届けてほしいとお駒に頼んだ。鹿教井温泉の湯元の利権は、昔から猿渡屋、鹿の湯、鳴沢屋の三軒の旅館が握っていたが、今、二年後の鉄道開通に目をつけた博徒石渡組によって鳴沢屋は乗っ取られ、残った旅館にも圧力が加えられていた。石渡組の魔手はお夏にも伸び、人質になったお夏を救うためお駒は単身石渡組に乗りこんでいった。無事お夏を救いだしたものの、お駒の後を追ってきて石渡に身をよせた大藪一家の身内のために、猿渡屋は焼かれ、善兵衛らは斬られてしま

40

50

った。お駒は、急を聞いて駆けつけた常治と、喧嘩支度に身を整え石渡組に殴りこんでいった。二人のドスと拳銃は石渡を倒したが、ひそんでいた子分の放った銃弾が常治の胸を貫いた。

【0105】

富司 純子 様

拝啓

明けましておめでとうございます。1月3日には初雪の朝、拝見させていただきました。富司さん、凄く美しかった。若々しい着物姿が。感動しました。この舞台、榎本孝明さん、鈴木瑞穂さん、山田吾一さんとか、けっこう有名人が出ていらっしゃるのだが、富司さんがいないと、私にとっては、何の興味もない舞台です。ところで榎本さんの台詞で「3歳上ですけどれど」というのがあり、客席の笑いを誘っていましたが、ああいう台詞って、

10

言っているご本人もお腹の中で笑えちゃうのじゃないでしょうか。ところで、私としては、思い切ってランの花を買い、受付にいらした平岩光代様にあずけました。帰る時に見ましたら、細川たかさんの大きなランの下にずっと目を移すと、フロアの上に、私が贈呈させていただきまして、かわいい白いランの花が飾られておりました。花ってというのは、大きさに関係なく美しいものは美しいものだと思います。そんな意味でも、私のお贈りしましたランは、貴女の清楚な美しさを表現しているものと自負しております。もし、まだご覧になっていなかったら、小さく咲いているランを見てあげて下さい。（花の命は短いですから。貴女は例外ですが。）

年末年始には、博多に勤務する長男が帰り、3日には、戻っていきましたが、あいかわら

20

ず司法試験の勉強にはげんでいるようです。もし合格して、こちらに戻ってきたら、寺島しのぶさんと結婚してはどうかと半分本気で話したら、本人はただ笑っておりました。私の長男は、先にもお話ししましたように菊之助様と同じ歳（同じ8月生まれ）ですが、4～5歳の差なんて、今時まったく問題ないですよ。しのぶ様も当分、芸の道に精進しておられるので、もし長男が法曹の道にでも進めば、お互い専門家同志でバランスがとれるのではないのでしょうか。もっとも、家の格式は、天地の差がありますが。

では、お元気で1月の舞台を務めて下さい。

敬具

平成15年1月4日

【0106】

富司純子 様

拝啓

お元気ですか。

「車夫遊侠伝 喧嘩辰」「幕末残酷物語」を見てきました。いずれも1964年の作品です。

藤純子さんまだ19歳頃でしょう。十代の藤純子さんが、キスシーンを見せるとは、貴重な映像ですね。以前にも書きましたが、藤純子さんは、キスシーンを見せないところに良さがある女優さんだと思っておりましたから。

映画館の支配人とも、話をしてきましたが、私より一歳下の52歳の方で、藤純子さんのすばらしさには、意気投合しました。

40

すばらしいなあ 藤純子さん。

では、お元気で「初雪の朝」がんばって下さい。

敬具

平成15年1月6日

【0107】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。深作監督が亡くなられ、通夜参列とか、お忙しかったことと存じます。

さて、水曜日に歌舞伎発祥400年の記念切手が発売されましたので、送付いたします。

すでに、お持ちかもしれませんが。

50

400年長いようで短いですね。

私は、藤純子のファンになってからすでに35年が経りました。歌舞伎の歴史は、その約1
1倍にすぎないものですね。

ではお元気で。

敬具

平成15年1月17日

【0108】

富司 純子 様

拝啓

23日は、楽屋入口でお会いでき幸せでした。

また、手ぬぐい、油とり紙をいただき有難うございました。

特に手ぬぐいは、貴重な私の宝物とさせていただきます。

ところで、油とり紙の着物、普段は、地味な着物しか見ていない我々には、新鮮で素敵で
すね。

それに、舞台の最後で、私と目線が合った気がして（気のせいかな）、大変嬉しく感じまし
た。

今回は、マッチ売りの少女をしのぶ様と共演されるので、今から楽しみにしております。

1～2月は、中野では、藤純子さんの映画を数多く上映しております。

26日は、習志野文化ホールで「初雪の朝」上演されるようですが、私は、映画館に行く
予定にしております。

では、お元気で。

10

20

敬具

平成15年1月24日

【0109】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。先日は、「真赤な度胸花」を見てきました。この作品と「激闘ひめゆり岬
」

は、貴女が着物姿でないのが、一つの魅力でもあります。どちらも美しく、強い女性を
演じていますね。（ほとんどの作品がそうなのですけれど。）

最近のチラシ送ります。文太さんとの雪の今渡橋のシーンです。3月8日からは、任侠
映画ベスト10が上映されますが、10作のうち、8作に出演されており、そのうち3作
が貴女の主演映です。

ところで、映画館でプロマイド写真（1枚300円）を売っておりましたので、そのコ
ピーをあわせて送付させていただきます。（本物は、もっと出来がいいのですが、コピー
の顔が黒っぽくなってしまいました。今にして、35年程前の元版が保存されていたの
ですね。

2月22日から上映される女渡世人は、まだ見ておりませんので、今から楽しみです。

では、お元気で。

敬具

平成15年2月12日

お竜参上：東映任侠映画といえば、活気のあった日本製娯楽映画全盛時代の良さがあるよ
ね。いわゆる定番のプログラム・ピクチャーなんだけど、水戸黄門のごとく安心して見て
いられるのだ。この映画も最初から最後までお約束だらけ。いいヤクザと悪いヤクザが
いて、悪いヤクザは悪行三昧、いいヤクザは我慢に我慢を重ねて最後に怒り大爆発。もちろ
ん最後は正義が勝つ！その単純さが許された時代っていいな。見所はなんといってもお竜
さんの大活躍だ。どんな問題もお竜さんが出れば万事解決。悪人どももお竜さんには敵わ
ない。1人で切って切って皆殺し。そんなバカなとも思うが、かっこいいからいいじゃん
。無敵の渡世人ながら女っぽさも忘れない藤純子の艶やかさが素敵だ。菅原文太と交わす

30

40

50

ストイックな愛情表現もいい。そして嵐寛寿郎親分の貫禄ときたら、もう渋すぎます。定番ネタの中に自分流の美学を忘れない加藤秦のこだわりの演出もこの映画の魅力です。

【0110】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。さて、今日は女優藤純子（富司純子）さんの美しさについて考察してみました。貴女の美しさには、多面性がありますが、特筆すべきは、1.「凄みのある美しさ」でしょう。もちろん、貴女の初期の作品には、2.「田舎風の元気なお姉さん」といった面が残っております（「車夫遊侠伝・喧嘩辰」「幕末残酷物語」「三代目襲名」「日本侠客伝第1作」とか）が。1968年以降の作品は、やはり、「凄みのある美しさ」というのが、際立って印象に残ります。例えば、「お竜参上」のラストシーン、「お命戴きます」のラストシーン、「おたの申します」とか。凄みのある美しさというのは、色気とかを超越したものであり、芸術的というか究極的なものであると考えます。次は、3.女っぽい「妖艶な美しさ」、これは、「日本大侠客」「侠骨一代」とかにあります。その次は、4.「清楚な美しさ」これは、「あ・うん」や「緋牡丹博徒」の通常のシーンに見られます。

10

さて、日常は、どんなでしょうか、時折お会いしたり、雑誌の記事や徹子の部屋で紹介される写真等を拝見するかぎり（これが、真の日常であるのかそうでないのかは推察しがたいのですが）においては、「5.凛とした 清楚な美しさ」を基調としておられるのではないのでしょうか。

20

改めて並べてみますと、

1. 凄みのある美しさ
2. 田舎風の元気なお姉さん
3. 妖艶な美しさ
4. 清楚な美しさ
5. 凛とした美しさ

さて、どれがベストでしょう。他人を寄せ付けない点では、やはり、1. 凄みのある美しさ に貴女の価値があるのではないのでしょうか。不思議なのは、2. 田舎風の元気なお姉さん から、出発していることです。どうやって、変身されていったか、映画を見るかぎり、1968年あたりを境に急に変わったように思えるのですが、「緋牡丹博徒シリーズ」がそうさせたのでしょうか、あるいはマキノ監督が作り上げていったのでしょうか。これは、私にとっていまだに謎です。

30

では、お元気で。

敬具

平成15年2月14日

【0111】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。やっと、「女渡世人」を見ることができました。（大学生の頃、見逃していましたし。新宿昭和館でも、上演されてこなかったようです。）

40

この作品、貴女の役名が、「妻恋いお駒」で名前が少し、キザっぽいのですね。第2作目の「大田まさ子」の方が平凡でいい感じと名前は、そういう印象ですが、この作品には、いろいろと、他の作品にはない、いい点がありますね。

着物を5～6回、あるいはそれ以上か？ 着替えて登場してくれるので、着物姿を堪能できる。特に、藤色の着物、それに最後の斬り込みの場面での、白い着物で、裏地が真赤なのがすばらしい。これほど着物の裏地が見えて、魅了させられる作品はないのではないかと思います。

貴女が（前回のファンレターで、藤純子さんの美しさの5つの面を挙げましたが）、今回新たに、6. 芸術的に美しい（特に、日本刀を持った姿が、小太刀とはまた違って、芸術的に美しい。） 7. かわいらしい（潜在意識としては、そう思っていたのですけれど、

50

「女渡世人」を見て、貴女の美しさのベースは、かわいらしさにあるのだと。強い女性を演じることが多かったので、今まで、はっきりとは意識しなかったのですけれど。)と感じました。

歌がなかなか良かった。緋牡丹博徒のように、インパクトのある歌ではないのですが、なかなか上手く歌われているのではないかと感じました。(特徴のない歌は、何回も聞く良さが出て来ることがあります。音程もしっかりしていたと思いますし。)

以上3点が、大いに感動した点であります。この作品が、他の作品に比べてあまり再演されてこなかったのは、何故でしょう。きっと、話が母と子の話で、少し暗いからかと思えます。なんと言っても、娯楽性の面からは、緋牡丹博徒には、かなわないのでしょうか。東映ビデオでも、「女渡世人シリーズ」はDVDを出す予定はないと言っております。ファンにとっては、残念なことです。

しかし、1971年の藤純子さん、この世の人とは思えない程の美しさですね。今でも、お美しいのですけれど。延ばされていた菊之助さんとの結婚がだんだん近づいてきて、心身共に充実していたからなのでしょう。

何かの論評に、NHKが大河の静御前役に、「三田佳子」か「朝丘ルリ子」あたりを選んでくれていたらなあ、書かれていましたが、まあ、私としては、菊五郎さんの度量の大きさで、女優に復帰されたことに感謝するしだいでございます。(もっとも、東映としては、もっと稼ぐことができたとは思いますが。)

ではお元気で。

敬具 20

平成15年2月24日

【0112】

富司 純子様

拝啓

お元気ですか。さて、前2回のファンレターで、貴女の美しさの表現について考察させていただきましたが、さらに8.ろうたけた美しさ(緋牡丹博徒 第4作 二代目襲名の中で、遠藤辰三さんの台詞の中で実際に出てきているのだが)、9.溜息の出るような美しさ、10.涙の出るような美しさ(実際、藤純子さんがスクリーンでアップになると涙が出て来ます。)という表現を思い浮かびました。

1. 凄みのある美しさ

2. 田舎風の元気なお姉さん

3. 妖艶な美しさ

4. 清楚な美しさ

5. 凛とした美しさ

6. 芸術的な美しさ

7. 可愛らしい

8. ろうたけた美しさ

9. 溜息の出るような美しさ

10. 涙の出るような美しさ

さて、どの表現が一番でしょうか? 私は、7.9.10.が気に入ってます。その中でも、1.凄みのある美しさ 7.可愛らしい がベストでしょうか。現在は、7.可愛らしい という表現が最も適切でしょう。凄みのある美しさというのは、藤純子の、後半の時代ですね。

「マッチ売りの少女」、しのぶ様との競演、楽しみにしております。切符は、20日、26日(昼)と手に入れることができました。

ではお元気で。

敬具

平成15年3月4日

【0113】

富司 純子様

10

30

40

50

拝啓

お元気ですか？ と言っても、つい先日、ファンレターを書いたばかり。

貴女の美つくしさについて、総括（この言葉、緋牡丹博徒が爆発していたころ、学生の間で流行していました。その後浅間山荘事件など恐怖の事件でもこの言葉が使われておりましたが、1968年～1972年というのは、奇妙な時代であったなあと思います。私も、当時は、日米安全保障条約は不要だのと、非現実的な考えを持っていたりして。）してしまいましたので、これからは、なんとなく今までの繰り返しのファンレターの内容になってしまいます（今までも、繰り返しが多かったのではあります）。

私は、性懲りもなく、中野武蔵野ホールに通い、「日本侠客伝」1964年（貴女19歳頃）、「おたの申します」1971年（貴女26歳頃）を観てきました。19歳と26歳、ずいぶん違うなあと感じます。「日本侠客伝」では、主役でなく出ている場面も少ないので、余裕をもって楽しみながらやっている感じ。元気澁刺の藤純子さん。萬屋錦之助さん、やはり任侠映画は、少し似合わないなあといった感じがします。「おたの申します」では、スクリーンが藤純子さんの美しさで圧倒される感じですね。凄みのある美しさ、妖艶な美しさ、芸術的な美しさ、可愛い、溜息の出るような美しさ、涙の出るような美しさに感動し映画館を出る時、少し疲れを感じます。

名画について、数々論議はあれど、何回観ても見飽きないのが、藤純子さんの美しさ。実際に、常時上映されている過去の映画は、現在は、東映任侠映画だけですから。

ある論評に、藤純子さんの美しさについて、「たかがといつては失礼だが、一映画プロデューサーの娘にしては、美しすぎる」と書かれていましたが、私の父も、「藤純子が“べっぴん”なのは、母譲りかなあ」と言っておりましたが、私は、図書等で貴女のお父さんの写真を拝見し、貴女のお父さんはかなりハンサムであったこと、少し貴女に似た雰囲気があること、および、徹子の部屋で、貴女のお母さんの横顔が写っている写真を見て、貴女のお母さんもかなり美人であったと思われることから考え、お二人の良いところが偶然的かつ遺伝的に継承されたものと推察しております。余談ですが、貴女のお姉さんも、相当に美人だったと書かれた記事を目にしたことがあります。そうだったのでしょ

うか？ では、お元気で。

敬具

平成15年3月10日

【0114】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。3月は、菊五郎様、菊之助様が京都公演で、静かな日々をお過ごしでしょうか。それとも、「マッチ売りの少女」の稽古でお忙しいのでしょうか。

私は、15日夜、ある深い縁で10年ぶりに川崎にある飲み屋へ行ってきました。65歳ぐらいになる女性が一人でやっている小さな店ですが、有線で配信されてくるカラオケシステムを置いています。まあ、最近は、カラオケに行くのもすっかりおっくうになり、めったに行きませんし、第一歌うことが好きでなくなりました。しかしながら、その夜は、あれやこれやで10曲ぐらい歌ったでしょうか。その中の一曲が「緋牡丹博徒」。この曲、いつまで、カラオケの本にリストアップされ続けるのでしょうか。カラオケにリストアップされる曲というのは意外と少ないのです。例えば、演歌の大御所石川さゆりの場合でも、せいぜい20曲程度がエントリーされているだけです。しかし、一方で、エト邦枝の「カスバの女」や、赤木圭一郎の「霧笛が俺を呼んでいる」などはいまだにしっかり残っています。「緋牡丹博徒」もかなり長期に亘って残る曲でしょう。

ところで、この女性、ひ孫がもう時期、生まれるという。65歳でひ孫か。早め早めに生まれるとそういうことになるのか。自分も歳を採ったものだと思いましたが。しかし、65歳で年中無休で客がいなくなるまで毎日店を出すとは、何と言う根性でしょう。女性の根性にはかなわないなあと思います。貴女も負けずにがんばって下さい。でも、そろそろ、しのぶ様に赤ちゃんが出来るといいですね。だけど、その前に結婚相手が必要か。いやいや、新之助さんなどは、結婚しなくたって子供が出来ましたし。世の中、積極性が

10

20

30

40

50

ある方が常に有利でしょうか。そういえば、15日は、積極的に10曲も歌い、気分爽快でした。

ではお元気で。

敬具

平成15年3月19日

【0115】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。

22日朝テレビの番組表を見ておりましたら、“素顔・・・富司純子”という番組が目に入りましたので、さっそく見てビデオに録画しました。案内役の男の人、何歳ぐらいかよくわかりませんが、恐らく私よりも多少年上ではないかと思われました。緋牡丹お竜のファンであったことを言っておられましたが、藤純子ファンは、50歳～80歳ぐらいに分布しており、最近では、ビデオ・DVDによりファン層がかなり若い層にも広がっているようである。

番組の内容は、特に貴女がお元気な様子が見受けられ、なによりでした。菊五郎さんが若い時にお遊びになったようですが、“遊ぶ”というのは、民法709条の不法行為になるかどうか微妙でしょう。なんといっても、梨園の妻という貴女の地位が近寄り難い高い為、いかに菊五郎さんが魅力的であろうとも、本気で菊五郎さんにアタックしようとする勇気のある女性はいなかったのではないのでしょうか。

銀座といえば、パブルのころ少しばかり雰囲気を感じてみましたが、銀座で稼ぐ女性には、なんだか異様な殺気を感じ、どうも私のような普通のサラリーマンの好みでないという印象でした。やり手の女性の集団ですね。ただ、お金で繋がっている関係なので、後々の問題はないでしょう。

将来の夢ということで、1.「菊之助さんが、日本一の歌舞伎俳優になること」2.「菊之助さんに、いいお嫁さんがきて、男の子が生まれ、初舞台を見ること」3.「しのぶさんの孫を抱くこと」を挙げられていたと思いますが、だいたい予想通りのお話でした。「いい恋をする」ことなどもおっしゃられたら良かったのではないかと思います。まだまだ、貴女の人生これからですよ。歌舞伎界の問題はあるとすれば、私の感覚では、菊之助さん、新之助さん以外に若手の看板俳優が見当たらないことではないのでしょうか。多数のスター性のある俳優を擁してこそ、その世界は繁栄するものだと思います。

午後から、昭和残侠伝「死んで貰います」、緋牡丹博徒「花札勝負」を中野へ見に行きましたが、テレビでは、若い時の芸が未熟だと話されておりましたが、スクリーンを圧倒する貴女の美しさに芸がどうのこうのということを考える余地はないものと考えます。貴女の若き日の映画は、しのぶ様も菊之助様もご覧になっていないということですが、見ない方がいいでしょう。お二人共、貴女の美しさにびっくり、お母様にはかなわないなあとしみじみ思われるのではないのでしょうか。菊五郎様にとっては、貴女の若き日の映画を見る興味は今さらないでしょうね。自分の妻ですから、今さらといった感じで。

ところで、インターネットでホームページの数を調べてみましたら、藤純子1800、富司純子134、尾上菊五郎2780、尾上菊之助1420、寺島しのぶ3700件ヒットしました(3月25日現在)。9年間の女優生活なのに今だ1800件のページが掲載されているのは驚きですね。

そういえば、22日の午後からの映画館、中を見渡してみると私より若い人が意外に多い気がしました。わずかではあるが、若い人にも東映任侠映画のファンが発生してきているのかもしれない。

では、お元気で。

敬具

平成15年3月25日

10

20

30

40

50

旅の途中で名古屋の西の丸一家に立ち寄った緋牡丹のお竜は、ニセのお竜が賭場に出没していることを知る。金原一家の賭場で発見したニセ者は、名をお時といい、以前に助けたことのある盲目の少女・お君の母親だった。事情を知ったお竜はお時を許すが、あくまで渡世の道を通おうとする西の丸一家の杉山は、新興やくざの金原のやり口に怒りを覚えていた。そんな中、杉山の息子である次郎と、金原の娘の八重子は互いに愛し合っており、それが周囲に大きな波紋を投げかけて...

「緋牡丹博徒」シリーズの第3作目。縄張りをめぐって抗争を繰り返す博徒一家の息子と娘が恋仲という、博徒版「ロミオとジュリエット」のような作品である。「宮本武蔵」「緋牡丹博徒」シリーズを手がけてきた加藤泰の格調高い演出が見どころ。出演は「緋牡丹博徒」シリーズで知られる藤純子、「青春の門」「社葬」の若山富三郎、「現代やくざ」シリーズの菅原文太ほか。

【0116】

富司 純子 様
拝啓

お元気ですか。桜も少し散りはじめた今日この頃ですが、明日は、いよいよ新国立劇場で始まりますね。出演者の交替もありましたようで、練習もご苦労があったのではないかと察しますが、お嬢様との舞台初の共演ということで楽しみも多いのではないのでしょうか。私共には、家族と一緒に仕事をするという経験はまったくないのですが、貴女のお父さんは、貴女と一緒に仕事ができ、他の父親には持てなかった楽しみがあったのではないかと思います。当時は、作る作品数が多かったですから、体力的消耗や気苦労も多かったとは想像いたしますが。

さて、ここ2週間は、中野で、「三代目襲名」1964年、「緋牡丹博徒」1968年、「総長賭博」1964年を観ました。実は、「三代目襲名」と「総長賭博」は、私のビデオコレクションには、ありません。「三代目襲名」は、阿部徹さんがあまりにも、にくにくしいので、後味が悪い。「総長賭博」は、内容が重過ぎて見た後、すっきりした気分になれません（三島由紀夫は絶賛したと聞いていますが）。また、貴女の出る場面も比較的少ないこと等です。両作とも、鶴田浩二さんの魅力が溢れている作品であることは、まちがいありません。高倉健さんでは、あの雰囲気は出せないですね。

ところで、「三代目襲名」の藤純子さん、19歳の頃で、若さ溢れる美しさですね。この歳ごろの女性というのは、また特別な魅力のある時期なのでしょう。23歳の作品では、もう大人の女性の美しさに変わっています。時期時期でうまく変わり、歳に応じた魅力を持続していくことが、女優としての仕事をしていく上で難しいことなのでしょう。

東映の任侠映画に最後に残る最大の魅力とは、藤純子さんのスクリーンを圧倒する美しさに尽きますね。それゆえに、何回観ても飽きることがない。（ところで、中野の映画館、コスト削減の為か、カラープリントのチラシ作成を中止しました。今までにお送りしたもので、終りになりそうです。）

今のところ「マッチ売りの少女」は、20日、26日の昼の部を観させていただく予定ですが、新たな貴女の魅力発見を楽しみにしております。

敬具

平成15年4月7日

【0117】

富司 純子 様
拝啓

お元気のことと存じ上げます。「マッチ売りの少女」拝見させていただきましたが、「奇妙なストーリーの劇だなあ」というのが、率直な感想です。台詞の内容が理解できないわけではないが、全体としては何だかよく分かりませんといったところですね。自分の頭が悪いのか、劇とは、それぞれに何かしら感ずるところがあればよいのか、そのいずれかでしょう。（簡単に言えば、私のような歳になると、「初雪の朝」の方が、単純で楽しい

ということになるのでしょうか。)

まあ、なんと言っても、一年に2作も貴女の演劇を観ることができるのは、実に幸運だと思います。今回の作品では、髪型、髪色以外は、比較的普通の貴女の姿が出ていたのではないのでしょうか。何と言っても、美しいですね。貴女が。スタアというのは、立っている姿が美しいというのが、私の持論ですが、20日は、美しい姿を拝見させていただきました。(ただ、スタアという言葉、本来は映画スタアのことを意味していたと思うのですが、貴女を最後に映画スタアと呼ぶべき人がいなくなってからは、現存するスタアさんの数は、だんだん少なくなってきているのでしょうか。最も、単に、女優とかタレントとかという人は数多くいますが、寺島しのぶ様も、そういう意味では、スタアではなく、女優さんですね。)しのぶ様も綺麗ですが、立ち姿の美しさが、貴女とは、違いますね。(しのぶ様には、言わないで下さい。)

さて、この作品なんとなくユーモアのある場面もあったのですが、例えば、貴女の亭主役が歌を歌うように勧めるところ。(「緋牡丹博徒でも、歌って下さい。」と内心思っていました。ほんとうに歌われたら、かなりの人は、貴女のことを知っているでしょうから、場内がざわめくのではないのでしょうか。)

それと、時代の流れというか、歳を採ったというか、「スカートの中を見せる」ということ自体に、私が、20歳頃でしたら、かなり感ずるものがあったものと思いますが、今となっては、この程度のことは、たわいもないこと、と言った感じを受けます。それだけ、今の世の中、出会い系サイトとか、私の知らない世界で、猥褻なことがらが、抵抗感なく拡散していつているからでしょう。

まあ、若者は若者の特権で、法と病気の問題を起こさない範囲でどうぞご自由にといたところでしょうか。

最後に、しのぶ様の迫力のある演技はすごい一言ですね。体力、気力共充実しているのでしょうか。でも、そろそろ、ご結婚されるべき歳ですよ。(他人の事に口を挟んで申し訳ありません。)

26日、もう一度、貴女の美しいお姿拝見に行きます。貴女以外には、目を移さず。では、お元気で。

敬具

平成15年4月21日

【0118】

富司 純子 様

拝啓

お疲れ様でした。3月22日に“素顔・・・富司純子”で、「マッチ売りの少女」について話題に取り上げられていたと思ったらもう、終了です。我々、一観客者としては、あっという間に期間が過ぎ去ってしまった気がします。演じる方々は、ご苦労も多かったこととは思います。

チラシを眺めていましたら、1966年に初演されたとのこと。1966年と言えば、貴女がいよいよ東映の看板女優になりつつあったころでしょう。かなり、オリジナルは、かなり古い作品とも言えるでしょう。内容自体は、1966年当時であったら、もっと鮮烈なインパクトがあったかもしれませぬ。

これで、貴女をゆっくりと拝見できる機会もしばらくないかと思うと、やや残念。それに、今回の舞台、顔をよく拝見するには、かなり暗い。演出家の判断によるものでしょうが、もう少し明るいライトを当ててほしかったと思います。双眼鏡を使っても、暗闇にかすんでいるといった感じでした。

さて、5月からは、菊五郎さんと、菊之助さんの歌舞伎公演、一息する間もなく、忙しい毎日ですね。もっとも、主婦はたいいていの人が忙しくがんばっていますが。(亭主はぐうたらしていますが。)

では、お元気で。

敬具

10

20

30

40

50

平成15年4月28日

【0119】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。いつもは、会社帰りには、芸能欄がけっこう面白いので、東京新聞の夕刊を買うのですが、間違えて毎日新聞を買ってしまいました。頁をめくっていると、菊五郎様と団十郎様の記事が出ておりました。おそらく、すでにご覧になっているとは思いますが、念の為に送付致します。お二人の姿が大きく出ていますので、見のがさないですね。そう言えば、2週間程前の東京新聞の夕刊(21日?)には、「マッチ売りの少女」の論評(こちらはインタビュー記事ではなく)が出ておりました。

10

歌舞伎発祥400年ということで、歴史を調べてみましたら(ご存知のこととは思いますが)、1603年に出雲の女性芸能者が京都で歌舞伎踊りとして始めたとされているようです。(江戸幕府の開設と同じ年。)1624年、江戸に歌舞伎の劇場ができる。1629年、風俗の乱れを律する為、幕府は、女性の踊りを禁ずる。1673年初世団十郎14歳で初舞台。1878年以降、9世団十郎・5世菊五郎らが歌舞伎の革新に務める。1989年、東銀座に歌舞伎座建設。1951年、歌舞伎座復興。・・・辞典にはもっと詳細に記載されているのですが、本家に紹介するのも、無礼ですから。まあ、5月1日の夕刊の記事を理解するには、この程度の知識で充分でしょうか。それぞれの屋号の家計図に触れるとなると複雑きわまりない世界に入りますね。資料には、役者しか通常記載していないが、配偶者を記載すると膨大な家計図が描かれます。

20

発祥が女性なら、将来は女性でも出演可能にすれば良いと思うのですが、由緒ある伝統を守る為には、そもいかないのでしょうか。実際、しのぶさんなら、昼・夜の通しは無理でも、片方ならやっていけそうな体力は充分あるような気がします。屋号の家計図を眺めてみますと、過去に養子縁組されたりして、努力の様子が伺われます。少子・晩婚化の進む世の中、男子を産まなくてはならないというプレッシャーから女性を解放してあげないと、歌舞伎役者のお嫁さんになる女性は大変ですね。貴女にも、そのプレッシャーがかつてあったように。

さて、私は、5月は専ら、藤純子様に没頭ですね。日本侠客伝 関東篇(初々しい美しさ)、日本大侠客(スクリーンを圧倒する)、日本侠客伝 斬り込み(健さんのお嫁さんになっておめでとう)、総長賭博(これは鶴田浩二さんの独壇場)、鉄火場列伝(強くて美しいお竜さんの充実時期)。毎週映画館へ通って5月もあつと言う間に過ぎそうです。

30

ではお元気で。

敬具

平成15年5月2日

【0120】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。婦人公論6月号のしのぶ様の記事、ざっと目を通させていただきました。感想は? そうですね・・・。抽象的な点では、鶴田浩二さんの三女(鶴田さやか様)が書かれた「父、鶴田浩二」を読んだ時と似たものが心に残りました。

40

具体的な点では、以下のようなことがらです。

1. 俳優になるのは、凡人では無理だなということ。すなわち、しのぶ様のように、親からのすぐれた資質、体力を授かっている、現在まで至るにはたいへんな努力があったことを知りました。

2. しноぶ様も、やはり、お母様は、別格に美しい人であると見ておられること。

特に、「母のように美しいと・・・」の記述の部分は、貴女のファンとしては、大いに感ずるものがありました。

3. 男女関係はいつの世もややこしいということ(この点について、私自身とやかく言う資格のある人間ではありませんが、男は女性から攻められると防御能力がないのではない

50

でしょうか。自分の一生の反省として、そう思います。)

しのぶ様のグラビア写真、きれいでした。でも、貴女のグラビア写真でしたら、あきれ程美しいでしょう。貴女は、空前絶後の美しさですから。まあ、同時代を生きることができ、貴女の美しさに何度となく溜息をつくことができた我々は、皆幸せ者と言えますね。(幸せ者の代表者はもちろん菊五郎様ですが、我々は、おすそ分けをいただいているわけです。鑑賞させていただきただけですから。)

では、お元気で。

敬具

平成15年5月9日

【0121】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。ご丁寧な礼状、有り難く頂戴いたしました。

黄色のランをお送りしたかったのですが、下町、生麦の花屋の旦那が、黄色は出てこないというものですから、白に少しピンクの色がついたものにしました。

さて、5月21日には、やっと緋牡丹博徒第三作“花札勝負”のDVDが発売となりました。東映ビデオは、4年かけて全8作をリリースするようです。“花札勝負”は、何回となくビデオを見て、映画も4回程度は、すでに見ているのですが、始めて気がついた点がありました。この第三作では、長ドスを最初から手にして、敵陣に乗り込むのであったことを。藤純子さんの美しさに気をとられて、何を手にしていたかに気を配ることができなかったのですね。

ついでに、同日にリリースされた昭和残侠传“一匹狼”も購入しました。1966年の作品で貴女の出演作品がDVDされているという点で、貴重な賞品と思います。ビデオとさほど変わらないのですが、DVDの方が、画像がより鮮明であり、貴女がより美しく写っていることに価値があるのでしょうか。ご存知のように、この“一匹狼”に扇大臣も出演されております。私が、生涯目にした唯一の扇千景さんの映像ですが、この時、すでに女優さんとしては、扇さんを抜いていたのですね。多分、扇千景さん、時代劇時代にご活躍されていたのでしょう。

貴女の主要な作品は、すべてDVDのものを入手したいのですが、リリースされるのは、主演のものは緋牡丹博徒シリーズ、共演のものは昭和残侠传シリーズだけのようです。東映ビデオ(株)も、いろいろと市場調査を行っての商品戦略を展開しているものとは思いますが、我々、貴女のファンにとっては、主演者は、すべてDVDで発売してほしいですね。まあ、ストーリーは、すべて知っていますから、貴女の映像部分だけを飛ばして見たりすることになるのですが。

では、お元気で。

敬具

平成15年5月22日

【0122】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。5月もあっという間に過ぎ去ろうとしております。6月・7月は、菊五郎様、菊之助様は、博多座、関東巡業と続くのであったかと記憶してゆりますが、お二人共、長期間のご出張という具合になるのでしょうか。大変だなあと思います。私などは、気ままに生きておりますから、どんな高級ホテルに泊まるよりも、自分の部屋で寝るのが一番ですね。時間があれば、ゆったりとした気分で、貴女のDVDを観ながら、ビールをゆっくり飲んだりして、これが最高です。(だいたい、ベッドというものに、なんとなく嫌悪感を持ってしまいます。アメリカで嫌になる程、ベッドの上で寝ましたので。)

何回か、テレビでお聞きしているのですが、「貴女は家の中でいつも動いている」という生活スタイルから比べますと、私などは、家の中では、まったくグータラしております。

。

10

20

30

40

50

ところで、中野の映画館、チラシ作りを再開しました。やはり、少しでも多くの客を集めようとする多量の出費はやむを得ないといったところでしょうか。“激闘ひめゆり岬”返還前の沖縄の雰囲気、貴女のトラックの運転、帽子をかぶっての出演と、結婚前のご努力、改めてご苦労様でしたと申し上げます。

話は変わりますが、先日NHKが阿久悠さんの特別番組を放送してありまして、「ムカシ」という題名の歌が紹介されておりました。都はるみさんが歌うのですが、歌詞の内容は、要するに、「昔は良かったなあという、回顧に浸ってばかりいると、お前は進歩しなくなるから、ムカシというオバケを退治しなさい」といものです。これを、自分に当てはめてみると、貴女の30年程前の映画ばかりに価値を求めていて、進歩しないから、自分もオバケにとりつかれているといことなのかと思ったりもしました。しかし、自分自身の過去を振り返って、それに陶醉している訳ではないから、どうも、このムカシという歌の内容には相当しないようである。そうすると、今の自分の行動はどう正当化すれば良いのであろうか。芸術は普遍的な価値を持っているので、一種の芸術鑑賞に浸っているものとして、自分の行為を正当化することにしておきましょう。藤純子さんの映像の美しさは、芸術の域にあることは、まぎれもない真実であるのですから。

では、お元気で。

敬具

平成15年5月29日

【0123】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。最近、高倉健さんの「旅の途中で」という本が発売されました。

1996年から2000年にニッポン放送で放送された内容が基になっておりますので、内容は、かすかな記憶に残っているものでした。予想通り、任侠映画については何も語られておりません。ただ、P159に以下のような記述があります。

「今、僕は京都に来ております。

・・・
 ・・・

僕の東映時代の映画のほとんど、と言っても六割くらいでしょうか、

それを東京大泉の東映撮影所で撮り、

残りの四割を、七十本以上になると思いますが、

この京都の撮影所で撮りました。

思い出が、本当にぎっしり詰まっている町です。

・・・
 ・・・」

健さんには、どんな思い出があるのでしょうか。貴女との仕事の思い出も1つにあるのでしょうか。15歳も歳の差があるお二人でしたので、単に一緒に仕事をしたというだけなのではないでしょうか。俳優の仕事をしたことのない、私共には、想像できないことです。

できれば、貴女のことを一行でも記してほしかったですね。

ではお元気で。

敬具

平成15年6月6日

【0124】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。新聞のテレビ番組欄で、NHKで「京都・鴨川をどり」富司純子他、と書いてあるのが目にとまりましたので、見て、ビデオ撮りもしましたが、富司様が出演する時間はほんのわずかでした。あとはあまり興味を引かない踊りばかり。

貴女の「侠客芸者」「鉄火芸者」の中で、披露される踊りのほうが数段すばらしい気がします。顔の大きさと身体のバランス、体の線良さ、こういうものは、練習すれば向上する

10

20

30

40

50

ものではありませんよね。貴女の踊りも、一コマ取り入れて下されば良かったと思います。

いまさら、踊るのは、はずかしいこととは思いますが。

ではお元気で。

敬具

平成15年6月15

日石炭ブームにわく、明治末期の博多。馬賊芸者と評判高い信次は、男まさりの気っぷと度胸が人気のマトだった。ある日、料亭に遊びに来た花田炭坑の人夫たちを迎えに来た納屋頭の島田清吉に会った信次は、好意を抱いた。一方花田炭坑をぜひとも手に入れようとする大須賀は、執拗に清吉を口説くが、先代に恩義を感じている清吉は、ガンとして聞き入れない。折から、坂田陸軍大臣歓迎の宴が炭坑主たちの手で開かれ、酒の飲めぬ清吉に代わって、見事に盃を空けた信次は、褒美として大須賀の横面を叩くや、黒田節を舞った。信次に恥をかかされた大須賀は、若松港の仲仕組合長松本を買収し、花田炭坑の石炭積出しをストップさせた。しかし、清吉の誠意に負けた仲仕組合の若い事務員は、組合長の松本を無視して、積出しを約束した。大須賀は最後の手段として、万場組に命じて、花田炭坑にダイナマイトを仕掛け、三人の人夫が炭坑を守って死んだ。三人の通夜の晩、若松から帰った清吉は、色めく人夫たちをしずめ、必死に止める信次をもふりきって、単身大須賀邸へ向った。そして、万場を倒し、全身血みどろになった清吉は、最後の力をふり絞って、大須賀と差し違えた。信次が駆けつけた時は、命を張って炭坑を守りぬいた清吉の笑みを浮べた死体が、冷たく横たわっていた。--今日もまた、盛大な宴会、その中に、悲しみを秘め笑い、叫び、はやし、そして踊る信次の顔があった。

10

20

【0125】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。菊五郎様が人間国宝に認定されおめでとうございます。多くの、お祝いの言葉、品々が届いていることと想像いたします。いずれ、人間国宝におなりになる方とは思っていましたが、60歳の若さでおなりになるとは、正直言って、びっくりいたしました。菊五郎さん程、粋な役者さんは、いませんから、当然なのかもしれませんが。芸のことは、奥行きが深くて私には、よくわかりませんが、とにかく菊五郎様は、容姿が粋ですね。(しのぶ様も、菊五郎様に似て、粋な感じがありますが。)東京新聞の21日の朝刊の切り抜きを記念に送付致します。

30

ところで、私は、「激闘ひめゆり岬」を見てきました。ビデオでは、何回となく見たのですが、スクリーンで見るとは、始めてなのです。貴女の主演物あるいは、準主演物で、着物を着ていないのは、この作品と、「真赤な度胸花」の2作だけではないでしょうか。「激闘ひめゆり岬」をスクリーンで見て、始めて気が付いたのですが、終りのほうに、濃緑のTシャツ姿のシーンが、あり、貴女の胸のラインが見えるのですね。藤純子さんが、胸のラインを見せた映画はこれ一本ではないでしょうか。

感激でした。ズボン姿もかっこいいし・・・。前にも書きましたが、スタアの存在感というのは、演技を超越したものです。(誰にも真似できないもの。)

40

ではお元気で。

敬具

平成15年6月23日

【0126】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。

奇妙なCDを入手しました。「任侠演歌決定版」というタイトルのものですが、

花と竜

石原裕次郎

兄弟仁義

島津亜矢

50

唐獅子牡丹 八代亜紀
 人生劇場 杉良太郎
 無法松の一生 天道よしみ
 緋牡丹博徒 泉ちどり
 おんなの命 藤純子

計7曲で1200円のものです。

けっこう豪華メンバーが、集められています。(泉さん以外は。)

実は、「おんなの命」、今まで聞いた記憶がないのです。

聞いてみましたら、「いちどでいいから あなたの胸で 泣きたかった」というような台詞が、歌の間に入っていたりしてなかなか良いのです。

「緋牡丹博徒」の歌手が何故、泉ちどりさん(この人、見たことも聞いたこともありません。)になっているのか、変なCDです。泉さんの声、品がなくて、貴女の歌声で編集されていたほうが、断然いいですね。貴女の場合は、音程は多少くるっているところもある(失礼!)のですが、声の質は品があっていいのです。

やはり、「緋牡丹博徒」は、藤純子でなくては、まあ、鶴田浩二さんとのペアのカセットを1本手に入れておりますから、その意味ではいいのですが。

とにかく、「おんなの命」なかなか良かったです。

では、お元気で。

敬具

平成15年6月28日

【0127】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。さて、しばらくは、貴女の映画も演劇もないかと思っておりましたら、中野で、9月27日から、いよいよ「侠骨一代」が上映されるという情報を入手しました。この作品の藤純子さん、花のように美しいのです。ビデオで、最初に見た時に、これは二役で登場する作品だなあとすぐ思いましたが、後で登場する遊女役の「お藤」さんの美しさといったら、表現する言葉が見つかりません。牛乳飲むシーンとかいいですね。健さんの不器用な演技もいい。この、映画も今までスクリーンでは、見たことがありませんので、今から楽しみにしています。

ただ、何と言っても、藤純子さんの美しさにあっと驚くのは、「日本大俠客」の二階の座敷で、紫色の着物を着た、貴女が、振り向いた瞬間のシーンではないでしょうか。現実にいる人とは、思えない美しさです。スクリーンを圧倒する美しさ。(これ、前にも書きましたか?)

それに、9月21日には、第四作「二代目襲名」DVDがやっとリリースされます。私は、個人的には、第六作「お竜参上」が貴女の美しさにおいて、一番好きなのですが、第七作「お命戴きます」の最初の船から下りて、汐路章さんを助けるシーンも好きです。

ところで、テレビで拝見していると、家族の方々は、貴女の映画をほとんど観ていないようですね。まあ、妻や母の映画に惚れ惚れするというのも、奇妙なことかもしれませんが、一生の間に観る機会を失うとしたら、もったいないことですね。なにせ、貴女の映画を堪能するには、100回ずつぐらいビデオで観ないと、真に観たことにはなりませんから。ご家族の方には、そんな時間は、ないでしょう。

では、お元気で。

敬具

平成15年7月15日

【0128】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。さて、「NHK大河 源義経 総集編」を見る機会を得ました。断片的には、貴女の出演テレビ番組で時々紹介されていましたが、1966年当時には、私には、

10

20

30

40

50

テレビを見る時間というものが、あまりなかったようです。したがって、「NHK大河源義経」も、オンエアされた時は見ておりません。

当時のテレビでは、日曜の昼?に放送されていたせいか、「スチャラカ社員」が記憶に残っていますが、長谷百合さんを見ていたのか、貴女を見ていたのか、あるいは両方とも見ていたのか、記憶がはっきりしません。当時の私は、もっぱら、「大鵬」に関心があったように記憶しております。

NHK大河ドラマは、どうも長すぎて今まで根気よく見たことがありません、というか、テレビドラマ自体、ほとんど日常生活において、見る習慣を現在も持っていません。

ところで、「NHK大河源義経 総集編」、今までなんとなく見ることを避けてきたような気がします。多分、菊五郎さんに対する一種の嫉妬でしょうね。(結婚30年以上の方に、今さら嫉妬というのもおかしい話ではありますが。)

総集編の内容は、良くできていたと思います。今の「宮本武蔵(これも、ほとんど見なくなりましたが)」よりも、迫力がある場面が多いようです。また、貴女がふっくらして、美しい。1966年ですから、「日本大俠客」「昭和残侠伝 一匹狼」と同じころ。当時の菊五郎さん(総集編では、菊五郎さんの若かりし頃であり、美男な可愛い青年に見えますが)が、貴女に一目惚れしたのも、なるほどといった感じを受けました。当時、貴女のほうが、大人びて見えるようです。

では、お元気で。

敬具

平成15年7月22日

【0129】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。7月25日の東京新聞の朝刊に「流行歌一本勝負」CD6枚組15000円全108曲を見つけました。その中に、貴女の緋牡丹博徒が入っております。

考えてみるとこれは大変な業績ですね。私の好きな曲に黄色のマークを付けてみました。マークを付けて、自分は古い人間だなあと思いました。貴女の好きな歌は、どんな歌でしょうか。今度、お話する機会がありましたら、聞いてみたいですね。

ではお元気で。

敬具

平成15年7月26日

No. 6 雨

(1)雨 / 三善英史

(2)あなたにあげる / 西川峰子

(3)長崎ごころ / ジ・アーズ

(4)大阪ラブソディー / 海原千里・万里

(5)一円玉の旅がらす / 晴山さおり

(6)ベッドで煙草を吸わないで / 沢たまき

(7)帰ってこいよ / 松村和子

(8)和歌山ブルース / 古都清乃

(9)湖愁 / 松島アキラ

(10)霧の中の少女 / 久保浩

(11)酔いどれ女の流れ歌 / 森本和子

(12)男と女のお話 / 日吉ミミ

(13)浪花節だよ人生は / 木村友衛

(14)涙のお立ち酒 / 鈴木正夫

(15)俺の出番はきっと来る / 米倉ますみ

(16)面影の女 / チャタ

(17)緋牡丹博徒 / 藤純子

(18)新地ワルツ / レッツゴー三匹

【0130】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。菊五郎様から、ご礼状を頂き有難うございました。

貴女宛てに書いたものではありませんでしたが、ご夫婦は一体でしょうから、菊五郎様からの礼状が送られてきたものと推察いたします。

さて、今年の夏は、7月に入りましてから、低温が続き、過ごし安い日々ではありましたが、私共、天候によって左右される業界にとりましては、困った状況ではあります。

今日からは、いよいよ8月に入り、菊五郎様も夏休みということで、ご家族で楽しく過ごされる日もいくらかとられるのではないかと存じ上げます。

話は余談になってしましますが、今は晩婚の時代になったなあと思います。私も、22歳の時は、すでに結婚する相手を決めておりました。ただ、それまで他の女性とお付き合いしたことがなかったのが、今になって思えば反省点かとも思っております。

なにせ、あの当時は、藤純子というとても美しく人（当時は、自分より相当にお姉さんという感覚でしたが）の映画を見るにつけ、周りの女性がなんとなく不細工に見えたものでした。

そのころは、ご存知のように、学生運動も盛んなころで、私は、当時「民青」と呼ばれた共産党主義のグループとは、行動を別にし、数多く映画館に通っていたものでした。その後、連合赤軍の「あさま山荘事件」（ちょうどそのころ、貴女はご結婚なさったのではないのでしょうか）とか怪奇な事件がありました。

年月は流れ、ご結婚当時の菊之助様も、人間国宝に認定（60歳というのは、きわめて異例だと思うのですが）されるに至りました。

益々の寺嶋家のご繁栄を影ながら祈願しております。

ではお元気で。

敬具

平成15年8月1日

【0131】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。異様に涼しい毎が続いておりますが、8月もすでに8月15日となり、いかがお過ごしでしょうか。

8月15日は、我々日本人にとって永久に日本の歴史に残る日であると思うのですが、東宝映画に「日本の一番長い日」というのがあり、太平洋戦争の戦争映画としては、私が一番好きな映画です。これは、日本が戦争を終結しようとする8月12日から8月15日を描いたもので、特に、8月14日の御前会議から、8月15日正午の玉音放送までの史実を描いているものですが、戦争の悲惨さという観点よりも、むしろ戦争終結における昭和天皇が果たされた役割の重要性、阿南陸軍大臣（配役：三船敏郎）が、陸軍幹部の反対にもかかわらず、天皇の意向に沿って、いかに忠実に戦争終結に向けて、行動したか等について忠実に描かれています。

8月6日広島原爆投下、8日ソ連参戦、9日長崎原爆投下という中で、15日に終戦を向かえることができ、日本国が今のような平和な国であることについて、当時の天皇の存在の偉大さと、戦争終結に向けて迅速に対応した当時の内閣首脳の勤勉さに感謝の気持ちを持っております。

貴女は、疎開先であった和歌山県で誕生されたと聞いておりますが、貴女にとっても8月15日に終戦の日を向かえることができたのは、幸福なできごとであったのではないかと思います。

東映にも、貴女が出演されているもので、戦争映画ものとして、「ああ同期の桜」「人間魚雷」「最後の特攻隊」等がありますが、戦争映画は、後味が悪く私は、あまり見ることはありません。

10

20

30

40

50

平和な日本が今後も続くことを祈りつつ。

では、ご家族でよい夏（もうすぐ秋ですが）を、お過ごし下さい。

敬具

平成15年8月15日

陸軍と国家に挟まれた非常に哀れな人だったと思いますが、軍人らしい礼儀正しさと、芯のある人です。鈴木総理との別れに差し出した戦利品の葉巻を渡すシーンは、キーゼル中尉とプラント大佐の別れ以上に感慨深いかもしれません。

【0132】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。再び熱さがもどってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

私は、特許という地味な仕事で毎日パソコンに向かっておりますが、机の周りの様子をデジカメで撮りましたので送付致します。

毎日、お竜さんの写真を横目で見ながら仕事をしております。

さて、貴女の女優としてのすばらしさについては、これまで幾度となく書いてきましたが、最高の一作を挙げるとすると、私は、「おたの申します」ではないかと思っております。この作品は、ビデオ化されておられません、貴女の美しさにおいて最高作品ではないかと思っております。「日本大俠客」のようなはじけるような若さは出ておられません、大人の女性としての美しさは最高でしょう。

高倉健さんや、鶴田浩二さんと組んだ作品は、貴女とのバランスがとれすぎて、貴女がやや目立たなくなります。菅原文太さんとの作品は、貴女の美しさが目立ってきます。この点、緋牡丹博徒シリーズでも、「お竜参上」が一番貴女が美しく表現されているのと共通しているようです。

昔の作品の話ばかりですが、1989年の「詩城の旅びと」は良かったですね。あっこれも、大分前ですね。

ところで、特許の仕事は、結構過去の資料を調べる人が多いのです。しかし、1968年～1972年のような古いものは、めったに調べません。商用データベースでも、昭和52年以降のものしか特許の抄録が作成されていないのです。

ではお元気で。

敬具

平成15年8月22日

【0133】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。

といっても、8月22日にレターを出したばかり。

今日は、「花札」について。

3日程前、北朝鮮の「美女？応援団」の宿舍の部屋に花札が置かれていて、物議をかもしたとかという、真実とも嘘ともわからない記事が出ておりましたが、「花札」は日本が朝鮮を植民地化した時に、朝鮮に持ち込まれたそうで、朝鮮人にとっては、侮辱的な意味を持っているようです。このあたりは、どうも真実味がありそうな話ですね。

「花札」の遊び、いろいろと遊び方があるのだと思いますが、私はまったく知りません。兄弟がいなかったせいもあり、ほとんどの室内ゲームを知りません。任侠映画を何回となく見ている、手本引きというのは、どうもルールがわかりません。親の出す札を当てると勝ちという程度のことにはわかりますが。また、何枚か選んで、位の高い札を揃えた方が勝ちというルールのもあるようであることまではわかります。札の種類もいろいろあり、手本引きのものは、シンプルなデザインですね。

ところで、「花札」というのは、日本の花鳥風月を表現し、1804年頃を起源としているものようですが、デザインがなんとなく妖しい感じで、不良っぽいというか、そんな魅力がありますね。だから、任侠の世界で賭博に利用されてきたのでしょうか。一度だけ

10

20

30

40

50

、手にしたくて、花札を買った記憶があります。いつであったかは、忘れまして。
今は、どこに行けば売っているのでしょうか。任天堂に聞けばわかるのでしょうか。
貴女の任侠映画、貴女が「花札」のような妖しい感じがないところに、1種のアンバランスがあり、それも映画の魅力1つであったものと思います。

ではお元気で。

敬具

平成15年8月29日

【0134】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。北野たけしさんの「座頭市」がリメイクに成功しているとかで、日本映画界の話題になっているようですが、私にはあまり興味のないことです。勝さんのものを、映画かテレビで数回見たことが、ありますが、目が見えないのに人を切れることに漠然とした疑問を持ったことがあります。

まあ、東映の仁侠映画でも、お父さん（俊藤浩滋さん。もうすぐ三回忌でしょうか）が、「着流しで、人を切れる訳はないのだよ」と書いておられたように、素朴な疑問というのを残しながら、映画の娯楽性が成立してくるものとは思いますが。

驚いたのは、勝新太郎さんがあれだけのイメージを作り上げたにも拘わらず、リメイクに成功したという点ですね。緋牡丹博徒も、リメイクがありうるのでしょうか。おそらく、ないでしょう。適材と需要の両方がないからかもしれませんが、まず適材がいるかどうか問題となるでしょう。

私自身、25歳前後の女優さんをほとんど知らないのですが、考える資格を持っていないのかもしれませんが、貴女のような凄みのある美しさを表現できる人、いないでしょうね。

ところで、インターネットにポスター写真がありました。

記念に送付致します。何かの折り、菊五郎様や菊の助様に見せてあげて、びっくりさせてあげてはいかがでしょうか。

では、お元気で。

敬具

平成15年9月9日

【0135】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。

3時のあなたの写真発見！！

もちろん、お持ちだとは思いますが。

念の為、送付致します。

1972年の「おたの申します」の時のような凄みのある美しさというより、1966年時代の朗らかな美しさですね（朗らかな女性というのが貴女の真の姿と察しておりますが）。

ではお元気で。

敬具

平成15年9月13日

【0136】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。9月も下旬になりましたが、緋牡丹博徒第四作「二代目襲名」のDVDもようやく9月21日に発売になりました。この作品にかぎらず、いつも思うのですが、最後の方で、「・・・お命戴きますばい」？とか言って、髪が垂れてきて、悪役を睨みつける時の顔、凄く美しいですね。（私の好きな、「凄みのある美しさ」というのでしょうか。）

10

20

30

40

50

それと、これもこの作品にかぎらないのですが、立ち回りの時、着物の裾がひるがえって、真紅の裏地（多分そうだと思うのですが、ひょっとしたら、赤を下に着ておられたのかもしれない。）が見え隠れして、なんとも言えない色気を出しているのがすばらしいです。

前に私が、一番だと思う作品は、「おたの申します」と書きましたが、この作品について下記のような評があります。

「しかし寒色系の画面の中に、蠟のように透き通った肌で居住まいをピシリと正す藤の、美しさは壮絶だ。登場したとたん、スクリーンに美しいとしか言えないものが浮かんでいて、その美しさを支えるためには、美しい悲劇を迎えなければ済まされないのだという、哀しい予感さえ感じさせる美しさだ。」

10

まあ、短い文の中によく表現されていますね。

ビデオ化されていないのが残念です。

ではお元気で。

敬具

平成15年9月22日

【0137】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。さて、今年も10月に入り菊五郎様も歌舞伎再開ということで、お忙しい毎日がスタートされたものと思います。

20

菊之助様は、桃井かおりさんと「若き日のゴッホ」に出演されているようですが、桃井かおりさんというのは、ひょっとして、「幸せの黄色いハンカチ」に武田鉄也さんと共演された方でしょうか・・・？ 最近の芸術は、いろいろな角度から感動を与えることができるものらしい・・・。それだけ、観客の感性が多様化してきたということでしょうか。

東映任侠映画のファンは、すでに、きわめてマイナーな集団になってしまっているのかもしれない。しかし、これだけは、真実であると思います。いろいろな論評も踏まえて。

藤純子さんは、日本映画史上、最高に美しい女優であったということ。今は、美しさの価値判断も多様化し、本当の日本女性の美しさを知らない人も多いのでしょう。人生において、貴女の全盛期の映画を見る機会に巡り合うことができた人の割合はさほど多くない。（DVDを買っている人も、以前映画を見た人が多いでしょう。）

30

運良く仕事が入らず、懇親会の折りにでも、お姿拝見できる時を楽しみにしております。

ではお元気で。

敬具

平成15年10月3日

【0138】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。いよいよ、音羽会の懇親会の情報も入り、12月17日（水）ということで、私としては、特別な仕事の用が入らないように祈るばかりですね。遠くに出張になると、これはどうしようもなく。

40

国立劇場の観劇後という予定らしいのですが、お忙しい芸能一家では日程の設定も一苦労と察します。たしか、昨年のはしのぶ様は、藤田まことさんとの仕事が入って、ご不在だったと記憶しております。

今年は、菊五郎様が人間国宝に認定された年でもあり、きっと盛大な会になることでしょう。最初に会に参加させて頂いたのは、平成12年12月21日の会でしたから、もう3年の月日が流れました。

その間、菊五郎様はじめ、ご一家そろって、益々のご発展で喜ばしいかぎりです。

ただ、貴女としては、そろそろお孫さんがほしいところではないかとご推察いたします。しかし、こういうことは、本人の問題ですから、親の入る余地はまったくないではありませんが。

50

さてさて、私のような、富司さんファンにとっては、ぜひ来年も1～2本程度舞台をやってほしいと思いますネ。今年も、三越劇場、新国立劇場でしたが、三越劇場は、3回見に行きました。最後で、貴女が楽屋入りされる時、お会いでき、おそらく素顔の素敵なお顔を拝見できたことを、大変嬉しく思いました。新国立劇場はなんとなく、国の構造物の中に入ったという印象で、劇場内が暗く、お顔も良く見えなかったような印象でした。

ただ、今や人間国宝の奥様になられたことになり、いろいろと各界のお付き合いも多く、ご自身の仕事の予定を入れる暇はないのではないかと想像しております。

お元気でお過ごし下さい。

敬具

平成15年10月7日

10

【0139】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。

ひさしぶりに、中野武蔵野ホールに行ってきました。

1.「昭和残侠伝 血染の唐獅子」、2.「女渡世人」を観てきました。

1.は、1967年、2.は、1971年の上映です。

この4年間にずいぶん変わっていますね。娘から大人の女性へと。

1.は、ビデオでも何回となく観ていますが、2.は、2回目です。

スクリーンを観て、今回、やっと、だいたいの確信を持ちました。

20

着物の下に赤いものを着ているのではなく、着物の裏地が赤いのであることを。

登場された任侠映画の着物は、ほとんど裏地が赤であったのではないのでしょうか。

「男衣装につつんでいても・・・」と緋牡丹博徒の歌であります。確かに表は、男のような柄でも、裏地は赤で、ちゃんと女性の衣装であったのですね。

そして、立ち回りで、裾の赤の裏地が見え隠れするところに、究極のエロチシズムが漂うのだと思います。2.の「女渡世人」は、立ち回りの場面も多く特に、その点の魅力が出ております。

上映中、私か、それよりもやや年上の男性を横目で見たのですが、やはり、藤純子さんに、惚れ惚れしているという感じで、見ておられました。

貴女の26歳頃の作品は、神かがり的な美しさですね。名画を観賞する気分です。

30

43歳ぐらいで亡くなった、同棲時代の劇画で有名な上村一夫さんが、「藤純子は何故結婚したのか」というエッセイを書いているようなのですが、この作品、国会図書館にも収められていないようです。まあ、読んだところで、菊五郎さんがいいから、結婚したのにきまっているのですけれど。上村一夫さんも、劇画の女性を描くときに、貴女のイメージも大きく存在していたのではないのでしょうか。

チラシ(少し悪趣味のようですが)が、映画館に置いてあった小冊子を送付致します。

東映の任侠映画、70年安保時代の学生(団塊の世代)が世を去るころ、DVDだけが、その子供も捨てきれずに、引き継がれて行くのでしょうか。そして、昔、奇妙な映画に、一人の美しい女性が主演していたことだけが、語り継がれていくものと思います。

私も、息子に、DVDは、私が死んでも、捨てるなと言ってあります。そうするかどうか

40

は、定かではありませんが。

では、お元気で。

敬具

平成15年11月11日

【0140】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。といっても、ついこの間手紙を出したばかり。

11月11日の東京新聞[3]に寺島しのぶ様の記事を見つけました。

当然、ご覧になっているとは思いますが、念のため新聞のコピーを送付します。

50

最後の方に、「日本映画界にまた新たな本格女優が誕生した。」と書かれておりますが、この部分になんとか違和感を覚えます。

映画女優は、事実上、藤純子さんが最高にして、最後という感じを持っていましたから。しのぶ様も、30歳になられて、そろそろ、ご結婚という時期かと影ながら案ずるところではありますが、これは、ご本人がしっかり自分なりの人生プランを持たれてるいいことでしょう。

今年は、菊五郎様が人間国宝に認定されたりと、おめでたい話がつづいておりますね。さて、私事ですが、菊之助様と同年の長男(26歳)は、2年目で、司法試験に合格し、博多から年末には、戻ってくることになりました。司法試験に合格しても、来年4月から司法修習生としての1年半の和光市での寮生活が始まるわけですが、そうすると、弁護士

10

の卵になれるのも、すでに28歳になってからということになり、少し回り道をした人生かと思いますが、それもいいのでしょう。貴女が25歳、26歳の時に、東映の看板女優としてハードなスケジュールをこなしていたことを思いめぐらしますと、同じような歳に、私の長男も彼なりに努力していたのだと思ひ、感慨深いものがあります。私と言え、会社の当時の業績が絶好調でのんびりとすごしておりましたが。

しのぶ様と私の長男が一緒になれるような運命にあれば、親としては、幸せですが、現代かような問題には親の入る余地はないようですね。(失礼なことを申し上げたかもしれませんが。)もっとも、私の方には、バランスのとれた式を挙げるだけの資金を調達することはできませんが。

20

ではお元気で。

敬具

平成15年11月13日

【0141】

富司 純子 様

拝啓

お誕生日おめでとうございます。

貴女は、「戦争を知らない子供たち」の第一陣ですね。

こうして、昭和20年8月15日、平和な日本を迎えることができたのも、当時の優秀な内閣閣僚、とりわけ阿南陸軍大臣の天皇のご判断に対する忠実な行動と、勇気を持って、

30

終戦を決意された昭和天皇のおかげと考えております。終戦がなく、本土決戦を行なっていれば、日本民族の半数以上は戦死し、貴女や私は、世に出ることはなかったかもしれませんが。ご自身の歳が終戦後の年と一致するのも何かの歴史的因縁があつてのことかもしれませんが。

さて、平和な世の中ではありますが、企業の生き残り競争はたいへんな時代になってまいりました。KIRIN社では、高倉健さんを起用してのクラシクラガーの全国発売を展開することになりました。ビールの宣伝を申し上げているわけではありません。私、生涯の最高の男優として、高倉健さんが、私の最も好きなタイプビールを宣伝してくれることに、喜びを感じるのであります。

そして、高倉健さんといえば、“藤純子”の名前が自然に出てくるのであります。

40

“藤純子”という名自体にでさえ、特別な思慕を感じるのは、藤純子さんがたぐいまれな、美貌の女優であったからにほかなりません。

クラシクラガー、高倉健、藤純子この名を頭に並べ描く時、愛燦燦の歌にあるような「人生って素敵なものですね」という感覚に浸ることができます。

ではお元気で。

敬具

平成15年12月1日

【0142】

富司 純子 様

拝啓

50

お久しぶりにお姿拝見し、幸福な気分になれました。

お会いするたびにますます、お美しくチャーミングになられていく感じをお受けしました。

ただ、何といたっても驚きましたのは、菊五郎様の糖尿病のお話でした。

菊五郎様は、夏季休暇には毎日ゴルフをなされ（徹子の部屋でのお話で）、タフな人というイメージを持っておりましたので、ほんとうに驚きでした。

この病気の方は、今の日本に多いようですね。根気良く、医師と相談の上治療されるのが大切だそうですが、貴女の役割にまた1つ大きなものが増えたことになったと思います。（ただ、ご本人は医者に会っておらず富司様が医者から話を聞いて対応されているようにお聞きしましたが、これは危険なことではないでしょうか。やはり、ご本人も直接先生からお話を聞くべきでしょう。）私は、医師ではないのでわかりませんが、歌舞伎役者の仕事は体力的に相当にハードなものと想像します。仕事が、治療の一貫として、それなりにプラスであれば、良いのですが、ハードすぎるものであれば、一時的に仕事量を減らすことも必要ではないかと想像したりしております。

私の場合、1995年2月頃に何らかの理由により、鬱病になり、地獄を見てまいりました。この病気は、体のエネルギーレベルがまったくゼロになるといったものであり、働こうにも働けないので、会社を休むことになりました。サラリーマンは有り難いもので、一定期間内に復帰できれば、継続して月給は貰えます。ボーナスはなくなります。ただ、一旦こういう状態に陥ると当然ながら、出世の階段を上るという希望は捨てることになりました。私の場合は、鬱病であることが、当初なかなかわからなかったのが最もつらいことで

した。鬱病は内科では、異常なしとされてしまうのです。

（田宮二郎さんも、適切な治療を受ける機を逸したのではないかと考えております。）しかし、病気になって良かったのは、医師の指導により、他に楽しみを持ったことです。仕事一筋の私に、何の楽しみを見出せばいいのか、答えは、貴女のビデオ・資料等を徹底的に集め、見ることでした。その間、貴女の映画を今だ上映している映画館があることも知り、音羽会というものがあることも知りました。12月17日の年末の忙しい時に、休暇をとって楽しめるステイタス環境は、私が、病気になったからこそです。（普通に出世していると部長というものになり、ほとんど休暇がとれない毎日です。）病気になって、仕事も趣味の領域でできるようになりました。すなわち、私の現在の生活の時間帯はすべて趣味に転化することができました。

長くなりましたが、菊五郎様、これを機に、背中にしょっているものを少し軽くされるといいかもしれません。そして、これは、また菊五郎様の人間性と価値観を広げ、芸の深さをさらに深めるものだと思います。12月17日の写真で良く撮れたと思うものをお送ります。では、お元気で。

敬具

平成15年12月19日

【0143】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。

23日は、小林稔侍さん主演の「旅の終りに」を見ました（再放送のようでした）。

この歌は冠二郎さんの唯一？のヒット曲と思いますが、この曲がドラマの時々流れ、なんとも言えない精神的興奮状態に入ります。この曲が流れ出すと涙が溢れ出し、ドラマが終了した時には、疲れ果てた感じになりました。私の一番好きな歌は、「別れの一本杉」あるいは「赤いランプの終列車」と思っておりましたが、「旅の終りに」の方がいいなあと思いました。

ところで、小林稔侍さん、東映任侠映画全盛時代の映画では一本しか、小林さんが出ていたのを認識しておりません。それも、今では何の映画だっかも記憶にありません。ところが、今はいい俳優になりましたね。（これ前にも書きましたか。）結婚泥棒の橋爪功さんは、もっと人気があるようですが、小林稔持さんのような男の寂しさは表現できないようです。橋爪さんのドラマの方が、見た後に疲労感が残らない点ではありがたいのですが

。

ただ、女優さんの場合、女の寂しさを表現しても良くない。女性の場合、寂しさを表現すると哀れになってしまい、価値がなくなるからでしょうか。貴女の任侠映画には、寂しさも出ているのですが、それが目立たない。これは、貴女の美しさが寂しさを吹き飛ばしているからだと思います。

ではお元気で。

敬具

平成15年12月24日

流れ流れて さすらう旅は
きょうは函館 あしたは釧路
希望も恋も 忘れた俺の
肩につめたい 夜の雨

10

春にそむいて 世間にすねて
ひとり行くのも 男のこころ
誰にわかって ほしくはないが
なぜかさみしい 秋もある

旅の終りに みつけた夢は
北の港のちいさな酒場
暗い灯影に 肩寄せあって
歌う故郷の 子守唄

20

【0144】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。我々サラリーマンにおける、お正月休みも早終りしましたが、貴女におかれましては、あわただしい、元旦のご挨拶と2日からの歌舞伎座公演を無事スタートし、ほっと一息というところでしょうか。

菊五郎様は、お元気でしょうか。無理をなさらないようにと言っても、人間避けて通るわけにはいかない場合もあります。ただ、人間国宝ですから、何よりも長生きをすることが最大の努めかと思えます。（これは、貴女にとっても、最も大切なこと。）

30

けっして、宣伝ではありませんが、ゴージャクロム（ニガウリのエキス）という商品をキリンの関連会社で扱っており、糖尿病に効果があるかもしれないとのこと（医薬品ではありませんので）。インターネット資料にもニガウリの効果が掲載されております（同封）。しかし、服用にあたっては、既に飲んでおられる薬との副作用等について、医師にご確認されるのがよろしいかと思えます。

ところで、菊五郎様、お酒はある程度飲めるのでしょうか？ 遊び（これは、まあ貴女のためにも控えるとして）と酒が中止で、適度な運動と制限された食事となると、仕事、仕事で人生少し暗くなりますね。わずかでもお酒が飲めるといいのですが。（私の場合、尿酸値が危険領域に入っておりますが、痛みが発生するまで飲み続ける日々を送っております。） さて、今年の心境は、例年の通りですが、「みすみす突らないと判っていても、人は惚れるんだよ」（あ・うん 門倉さんの台詞）といったところでしょうか。（誰にかについては、記述するまでもないことです。）

40

ではお元気で。

敬具

平成16年1月6日

【0145】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。あっという間に、1月も終りになって来ました。歳のせいでしょうか、時

50

間の経つのを早く感ずるのは。ともあれ、私は、昨年末から、2月16日の引越し/同じ横浜ですが(多分、人生12回目の引越し)に向けて、たいして何もしていないのに、仕事と平行して忙しい毎日でした。カーテンを選ぶにも、一日では足りず、もうどうしても良しという気になっても、2日もかかってしまいます。でも、さらに引越しがあるとしても、後は最終的に本籍地岐阜に戻るかどうかだけ。

そんな中、24日には、ひさしぶりに中野に出かけて、「おたの申します」「侠客芸者」を観て来ました。1971年の「おたの申します」からすでに33年、しかし作品は貴女の存在感により、いまだ輝いています。「おたの申します」の最後のシーンでは、客席から、パラパラと拍手がありました。感動するのでしょうか、貴女の壮絶な美しさに。貴女は、23~26歳の若さにして、「姉さん」とか「親分」と呼ばれても違和感ない風格がありました。「2代目襲名」の銭丸金吉が「ろうたけた人」と台詞で言っていたように。今も梨園の妻として、受付付近に立っておられる時は、同じ風格。でも、真の姿は、音羽会のパーティで見せる、陽気で明るい朗らかな女性なのでしょう。

阿久悠先生の「船唄」(八代亜紀)に、“女は無口な方がいい”という部分がありますが、私自身、無口な女性がもしあれば、好きですが、任侠映画の貴女が演じる人(虚像)の中にだけ存在する人ではないかと思えます。あとは、重病で話すこともできない状態の女性とか。

2月は、菊五郎様、菊之助様、お休みとかの案内がまいりましたが、楽しくお過ごし下さい。菊之助様は、お母さんのことを、気にかける暇はないかもしれませんが。子供とは、そんなものですね。

ではお元気で。

敬具

平成16年1月27日

【0146】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。2月7日の東京新聞の夕刊に菊五郎様の記事が出ておりました(ご存知のこととは思いますが)、要するに国立劇場も独立行政法人になるとかで、理事長が俳優さん方に、“よろしく”と始めてご挨拶されたようなことが書かれており、それに対する菊五郎様の感想が掲載されておりました。私どもは、単に時代の流れかといった感じでしたが、関係者にとっては、多少気持ち新たにということなのでしょう。

国立劇場は、場所が良く、敷地が広い、ロビーも広々している。これらの基本経費はどのように計算されるのか知りませんが、一日一回の公演ではもったいないような気がします。しかし、従業員にとっては、急に夜遅く働けと言っても、なかなかついていけないでしょうし。俳優さんや、スタッフとっても、国立劇場の公演月は、日程が楽で、それなりにメリットもあったのではないのでしょうか。今後の国立劇場の公演スケジュールの組み方が変化するのを見ていくことにしましょう。

といったことしか今回は書くことが見あたらなかったのですが、机の上に置いてある平成15年12月17日の懇親会の貴女とのツーショットの写真、始めはピンボケでがっかりでしたが、見てみるとそれなりにまた味わい深い、それで、デベロップしたものを記念に送付させていただきます。貴女のお叱りを受けるかもしれませんが、なんとなく顔の感じが似ているような気がします。(気のせいかな?)

ところで、DVDの緋牡丹シリーズは、昨年9月21日に二代目襲名(4作)がリリースされたまま停止状態です。東映ビデオにプッシュしても、他にいろいろありましてとか言って、とりあってくれません。まあ、根気良く待つしかありませんね。6作・お竜参上もいいが、7作・お命戴きますも貴女が美しく気に入っているのですが。「お命戴きます」の他の人のコメントの一部を紹介します。

ではお元気で。

敬具

平成16年2月9日

緋牡丹博徒 お命戴きます 1971年6月 ネット上のコメント(作者不明)「藤さんの美しさは絶品。その美貌はあまりに過ぎて恐ろしいほどです。冒頭の船に乗り、雨の中笠で顔を隠した藤さんが刺客に誤って襲われ、斬りつけられた笠の切れ目から見えるその単眼の妖しさ。そして佳境の殴り込みの場面で、結い髪を下ろしたなまめかしさときたらそりゃもう。上気した白い肌と、その肌の白さを異形的に際立たせる緑の黒髪と、パッと斬られた着物から覗く、腕の緋牡丹の刺青。ラスト、河津を殺害し、息を弾ませる藤さんは女性のわたしが観てもヤバイ気がするほど凄艶で、且つどんな女性より清楚で高貴な風情。もうねえ、このラストの展開はほんとにすごくて、水路で河津殺害 乱れ髪で喘ぐ藤さん 雷と共に一瞬無音になり、鶴田の幼い息子が「おばちゃん」と慕ってやってくる 刺青を隠し、血塗られた手で彼を押し留めようとする藤さん...、このときの音楽といい、もう完璧に造り込まれた凄絶な美があるのですよう。

10

白い肌と異様な黒味を帯びる髪とか、清楚さと刺青とか、侠客であり母性の象徴的存在である、という極端なものの共存こそがお竜さんなのだ、と改めて思います。そして特にラスト、お竜さんが血に濡れた己を恥じる為に血に濡れた手を翳すしかない場面は、その矛盾を自身が背負いきれなくなったようないたましさがあって、とても鮮烈で、美しく悲しかったです。」

【0147】

富司 純子 様

拝啓

20

春めいてまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

私の引越しは完了し、マイルームらしきものが、出来上がりました。

約1年間、ダンボールの中に収めてありました東映任侠映画(ただし、藤純子さんが登場していないものはゼロ)のコレクション、貴女の数々の資料集も棚に整理されて並んでおります。

藤純子、富司純子さん関連のコレクションとしては、日本の中でも、かなりのレベルにあるのではないかと密かに自信を持っております。

話は変わりますが、たまにテレビを見ますと、品のなさを結構売りにしているタレントさんが、目立つような気がします。例えば、磯野貴理子さん(この方、結婚泥棒に出ていたのではないかと記憶しておりますが)、今や時の人と言った感じがあります。今の民放のテレビ番組は、1.バラエティ(法律相談含め)、2.旅・食、3.サスペンス、4.ニュースといった構成で、日本的美人女優をあまり必要としないような感じですが、日本女性の体型が昔に比べ変化して、おしなべて若い層には、美人が多くなったような感はしますが。

30

ともあれ、“女優・藤純子”さんは、ますます希少価値になってきたようです。

ではお元気で。

敬具

平成16年2月18日

【0148】

富司 純子 様

40

拝啓

お元気ですか。と言っても、つい先日ファンレターを出したばかり。

今日は、新たに発行(2004年1月31日初刷)された東映任侠映画に関する本「任侠映画が青春だった」山平重樹著(1953年生まれ/20冊程の著書があるようです)徳間書店の内容について、若干のコメントを書いてみます。

1.内容は、1999年の「任侠映画伝」俊藤浩滋・山根貞夫著の方が充実しております。

2.構成は、第1章人生劇場 飛車角、第2章昭和残侠伝、第3章緋牡丹博徒、第4章日本侠客伝、第5章仁義なき戦い、第6章山口組三代目(2~4章について、読んでみました。)

50

3. おもしろいと思った内容 a. 着物の裏地の赤について記述してあった点。(同感であった。) P 140。 b. 女渡世人での、刀使いに迫力があつたと記述してあった点。(同感であった。) P 140。 c. 貴女は、撮影中ストレスがたまると、コカコーラを壁にぶつけて解消していたという記述。(知らなかった。ほんとうの話かどうかはともかく、映画監督らは、芸術家であるので妥協しないから、ストレスがたまるのは当然あり得ることと想像します。人間臭い話でおもしろい。) P 127。他は、すでに知っていたこととかが、読んだことのある内容だったかと思います。 d. 「関東緋桜一家」に関する記載は、おしなべて同じようなコメントですね、内容はともかく引退記念映画だから良し、言ったところ。 P 210。 なかにし礼さんが、NHKで話していたように「お世話になりました」と言って去っていく最後の場面と、流れる“音楽”がなかなかいいというのが私の持論です。

10

貴女の話の部分とは関係ないのですが、健さんの「唐獅子牡丹」下手に歌った方がいいというので、そちらを採用したという話はおもしろい。(映画の中で出て来る歌というのは、ステージで歌手が歌うものとはちっと別の価値判断があると思います。) P 77。ともあれ、この種の本が2004年になって出て来るというのは驚きです。でも、あと10年すれば出なくなるでしょう。著者は、私より4歳若いので、高校生の時、東映任侠映画を見ている。私は、高校生の時には、映画を見ることはありませんでした。通学の市電の中から、日活口マンポルノ?の看板が目についたのを記憶していますが。私の父は、今年81歳になりますが、45歳前後で東映任侠映画を見たことになり(思えば、あの時の父は若かった。今の私より約10歳も若い。)

20

あるコメンターが書いていましたが、「東映任侠映画はその内容はきわめてシンプルである、スターの存在感が観客に充実感を与えていた。そういうスターが存在しなくなった今は、逆にあのような映画は生み出されることはなくなった。」

(同感ですね。)

ではお元気で。

敬具

平成16年2月20日

【0149】

富司 純子 様

拝啓

30

お元気ですか。寺島しのぶ様の「日本アカデミー賞最優秀 主演女優賞」受賞、おめでとうございます。あつという間に大女優になってしまわれたという感じですが、ご本人にはたいへんな努力があつた結果によるものでしょう。

私個人的には、「日本アカデミー賞」というものの価値とか歴史とか、さっぱり知識がありませんでしたので、調べてみたら、1977年の「幸せの黄色いハンカチ」が第1回の受賞作品ということで、貴女はもうすでに、菊之助さんのお母さんになって、男の子が生まれて大喜びといった時代にスタートした賞のようです。

したがって、主演女優賞なる受賞者の中に貴女の名は見あたらないのも当然でしょうか。

(しかし、任侠映画の場合、芸術性の観点から評価されると、たとえ1966年頃から、日本アカデミー賞が設立されていたとしても受賞は困難であつたかもしれませぬね。)

40

最優秀主演賞の受賞をながめてみますと、女性では、吉永小百合さん、松坂慶子さん。男性では、高倉健さん、三国連太郎さん、緒形拳さんが3回も受賞していて目立つところでしょうか。(私は、健さんの3作品しか見ておりませんが。)

映画界も、昨年は観客動員数が多かつたということで、映画復活の兆しも見える昨今ですが、比較的安上がりの娯楽として、映画が見直されているのかもしれませんが。

時代は後戻りすることなく、どんどん進んでいく訳で、新たな大女優が、新たな作品を残していくことに進歩というものがあるのでしょうか。しのぶ様も、両親から優れたDNAを授かっているのですから、女優の道をこのまま進まれるのでしょうか。お母様のように、一度結婚して、子育てをしばらくして、再びチャンスを見て復帰するのが理想と思うのですが、古い考えでしょうか・・・。

50

まずは、しのぶ様の受賞、ほんとうにおめでとうございます。

では、お元気で。

敬具

平成16年2月25日

【0150】

富司 純子 様

拝啓

3月に入ってから、寒い日が続きましたが、いかがお過ごしでしょうか。

7日の夜は、11時からしのぶ様の番組が組まれていましたので、拝見させて頂きました。

見た感想としては、しのぶ様は、貴女（おそらく菊五郎様もそうだと思いますが）に似て、根性がある人だなあとつくづく思いました。それに、俳優ような仕事には、体力も必要でしょう。これから、さらに成長して大女優になれるのか、とりあえず、誰かと結婚して再スタートされるのか興味深いところですが・・・。

少し気になったのが、タバコ、芸能関係の方は、常識なのでしょうね。せっかく親からもらった、大切な肺を煙で汚さなくてもいいのには思いますが。「侠骨一代」の中に、貴女の台詞で、「あら、タバコを吸う女が嫌なのね・・・」とかいう、健さんに返すのがありますが、ふと、それを思い出しました。

しのぶ様は、貴女があまりにも美しい人だったので、それゆえのプレッシャーも多少あったようなレポートになっておりましたが、まあ、“藤純子さん”というのは特別のまた特別、突然変異的に生まれたような美貌ですから、比較すること自体あまり意味がないと割り切れればいいのでしょうか。

インターネットで「藤純子 凄み 美しさ」とかを入力し、検索すると、今だに、かなりの数ヒットし、どこの誰だか、昔の映画を回想してコメントしているというありさまです。

私も、7日の午後は、性懲りも無く「お竜参上」のビデオを見ながら、3年前のお盆の時、中京テレビでこれが放映されていたのを父と一緒に見ていて、終了後、父が「藤純子は、べっぴんやなあ。誰に似たんやろ。」と言ったので、「お母さんも綺麗な人だったよ（徹子の部屋で紹介された横顔を思い出して）」と言ったのを思い出しました。

ではお元気で。

敬具

平成16年3月8日

【0151】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。

私的な話ではありますが、女性とやや晴れがましい席に出る必要があり、先日、貸し衣装屋に着物を選びに一緒に出かけたのであります。薄藤色の無地の着物が良いと思いつつ、試着してもらったのですが、まったく本人が沈んでしまって似合わない。結局、薄藤色ではあるものの、花の柄の入ったものを選びました。店員の女性に、「富司純子」さんをイメージしたのだけれどダメだねと話したら、「まあ、女優さんと比較されては・・・。でも、着物選びに男性がついてこられること自体、めずらしいのですよ。」と言われました。そうか、無地の着物は、美貌でないと本人が沈んでしまうのかと改めて思いました。そこで、ひさしぶりに「徹子の部屋」のビデオを見てみました。あの時から、すでに6年が経過していました。菊之助さんが襲名直後の収録のものでしたから。やはり、無地の着物が似合うのは普通の人では無理ということを理解しました。

話は変わりますが、東京新聞の夕刊に、新近松心中物語の論評が記載されておりました。書類を読むのが仕事ですが、演劇の論評は理解しにくいですね。演技というもののなかで、競技というものになるとわかりやすいのですが。例えば、フィギアスケートとか、競技社交ダンスとか、たいてい、この人・組が一番という人がトップになるよ気がします。しか

10

20

30

40

50

し、演劇となると、見慣れていないせいか、よく判りません。個人的には、けっして大袈裟にならない演技の中に、情感が出るのがいいと思うのですが（いや、これは映画でのことですか。演劇では、目で演技するといっても、双眼鏡を持参しないかぎり、役者さんの目の演技までは、歌舞伎はともかく、判らないでしょう。）。論評を読むかぎり、奥が深いのは事実のようです。それにしても、もう3年前でしょうか、貴女の近松心中物語の梅川、見られなかったのが心残り。近鉄劇場の時のチラシは保管してあるのですが、
ではお元気で。 敬具

平成16年3月18日

10

【0152】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。もう4月ですね。

NHKの朝ドラも始まり、さらにお忙しい毎日かと存じます。

ただ、朝ドラというのは、サラリーマンにとっては、見る機会がないのが残念。（BSで再放送があるようですが、BSが写らないテレビですし。）

私事で恐縮ですが、3月3日に再婚入籍、3月28日に結婚式（らしきもの）すませ、一
段落といったところです。“結婚泥棒”では、離婚は忍耐力の欠如、再婚は記憶力の欠如
とかの話がありましたが、私の場合、13年前に自分の播いた種、子供も成人しましたし
、人生一区切り、再出発もいいかといった心境でした。男性は、好きな女性にはアプロ
チできないのに、女性から迫られると逃れるすべを知らないですね。その点、菊五郎様は
、うまくお遊びになる術を持っておられるから、こういう事態には至らないでしょう。

20

そう言えば、貴女のお父様も、奥様の秀様（任侠映画伝には、“おそめ”とも記載されて
いますが）とは、再婚されたものと思います。秀様もお父様の男っぷりに惚れられたの
でしょう。

13年前と言っても、貴女のファンになったのは、36年も前のことですから、貴女に憧
れたのが時期的には、はるかに早いのですが、相手が菊五郎様では、また、大女優では、
夢のまた夢。再婚を迫る訳にもいきませんし（笑）。

ただ、貴女のお父様は、映画の仕事で娘と一緒に仕事できたのは幸せでしたね。私の場
合、同様に二人の娘がいますが、私の葬式に出てくれるぐらいでしょう。息子とは、話が
できる環境にあります。親父と娘は所詮、何事によらず、わかり合うということは、な
いのですから。

30

結婚式場で退場する時、「唐獅子牡丹」（八代亜紀歌唱）の曲を使いましたが、これが大
受け、みなさん、大笑いでした。

ではお元気で。

敬具

平成16年4月1日

【0153】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。3日の土曜日、天花を観ておりましたら、出演されておりました。小さい子
供を抱いておられましたから、お祖母さんになるのでしょうか？娘役から、母役、お祖
母さん役と時の流れは早いものですね。片平なぎささん、かたせ梨乃さん、浅野ゆう子さ
んといったところが、早、お母さん役ですから。ただ、母役とお祖母さん役には、さほど
区別がなく、ストーリーの始めは、母であったのが、途中で、お祖母さん役になってしま
うという場合もあるでしょう。貴女の場合も、まだまだお母さん役で、いけると思います
。財津一郎さんは、ひさしぶりに見て、（明確な印象は、「てなもん屋三度傘」ですから
）最初は、財津さんであることに気がつきませんでした。

40

孫と言え、私は、血の繋がらない娘が一人できてしまって、その娘に子供（男の子）
がすでにいるものですから、御祖父さんになってしまいました。同居していないので、1

50

ヶ月に一度程度しか会わないのですが、「ジジ」と言われて、なつかれてしまっておりま
す。実の子供達は、結婚するやら、しないやら、また結婚しても、子供を作らなかつたり
、出来なかつたりと、孫なるものが誕生してくるかどうか、定かではない時代になってき
たようです。彼が私とは、血が繋がらないことは、いつか気づくでしょうが。まあ、父親
のことではないので、彼にはたいした問題ではないでしょう。

(同封しました写真は、式場でカラオケやっていたら、孫が寄ってきたので、抱いて
歌っているところです。たしか、石川さゆりさんの“漁火挽歌”だと思います。歌う人が
あまりいないので、気分よく。音程を外しても気がつかれないですし。)

ところで、奇妙な夢を見てしまいました。夢の中に貴女が登場したのです。女性が登場
する夢はほとんど見ませんが。(一番多かったのが、大学を卒業する前の単位の過不足を
心配している夢(笑))。場面は、雀荘で、私の手が出来上がった後、危険杯を引いてき
て、やむを得ずそれを切り、振り込んでしまったというものでしたが、振り込んだこと
について別に悔やんだ訳ではありませんでした。隣の卓をふと見ると、貴女が赤い洋服を
着て、背中を向けて卓を囲んでいたのです。私が、「あれ、純子さんじゃないですか。どう
して、こんなところに? さすが任侠映画でならしたので、今度は、麻雀ですか?」と話
したら、ふりむいて「なに言っているのよ。みんなあなたのせいよ。」と貴女の美しく
て、恨みがましい顔がアップになったら、夢は終りでした。多分、一瞬の夢でしょうね。
・・・人生、夢のまた夢。しかし、貴女が夢にまで出てくるとは、・・・もちろん初めてで
した。

ではお元気で。

敬具

平成16年4月5日

【0154】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。すっかり春になり、やがて夏がくる気配を感じさせる今日この頃です。
ずいぶんとファンレターを出せさせて戴きました。何度となく、貴女の美しさを書き綴っ
てきたわけであり、同じ内容の繰り返しも多かったものと思われます。(女優をやめられ
るまでと思っています。)貴女もまたかという感じで封を切るのもめんどろだと思われた
時も多いでしょう。また、事務所のスタッフの方も、あきれていることでしょう。まあ、
そんなことで、今日も同じ内容の繰り返しになってしまうようです。

多少異なるのは、インターネットで、寺島しのぶさんに、緋牡丹博徒のリメイクをいうよ
うな話が出ていた件について、可能性はゼロに近いと思うのですが、企画する人は、お金
が儲ければ何でもやろうとするのが、この世の中。あるいは、真剣に考えている人がいる
かもしれませぬ。

しかし、その時は、寺島しのぶ様に、それだけは、やめるようにアドバイスされるのがい
いと思います。アドバイスというより、貴女のビデオを一本、例えば、第7作の「お命戴
きます」の川岸に船が着いてからのシーン(あの場面、たいへん気に入っているのですが
)の部分だけでも、しのぶ様に見て戴ければわかります。貴女の凄さは、演技力という次
元を超えたものであることが。

若い世代は、藤純子なるものを知らない人も多いので、なんとも思わないでしょうが、5
0歳以上の者は、すべて良く知っておりますから、がっかりさせられるだけというか、神
聖なる領域を侵されたという感じを受けるでしょう。

さてさて、やがて、5月が来れば、菊五郎様も菊之助様も、歌舞伎座で出演。忙しい毎日
になりますね。ところで、菊之助様のご結婚は? 私共の家と違って、お世継ぎが必要で
すから、そろそろいい人を。貴女もいろいろお考えになっているとは思いますが。これば
かりは、本人しだいですし。江角さんを若くしたような、しっかりしていて、近代的でい
いと思いますが、そんな女性なかなかいませんネ。あまり、気が強くて、貴女とうまく
行かないでしょうし。ぼんくらでは、つとまらないでしょうし。

第7作「お命戴きます」からの写真のコピー(空前絶後の美しさだと思ふのですが)を
記念に同封します。私の会社のデスクの写真立てに入れて置いております。

10

20

30

40

50

ではお元気で。

敬具

平成16年4月19日

【0155】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。いよいよ、明日から5月。我々は、お休みですが、貴女は歌舞伎座とかNHKとか、お忙しい毎日と思います。

28日、NHKの「その時歴史は動いた」を見ておりましたら、マダム貞奴(1871年生誕)の話がとりあげられておりました。彼女は芸者として、伊藤博文(伊藤博文は、彼女の膝枕で、憲法を草案したとい逸話があります。)のお抱えになったのですが、伊藤博文も捨て、1891年にオッペケで有名な川上音二郎(オッペケペは、日本歌謡曲の原点らしいです)と結婚し、音二郎の決断で、1899年サンフランシスコ、1900年ニューヨーク、イギリス、フランスと公演。その間、ピカソも彼女のデッサンを残しているとのこと。1901年1月日本に帰国、しばらく日本では、出演を拒んでいたのですが、音二郎の願いにより、明治座にて、1903年2月11日14時に、オセロの公演にて、最初の台詞を発したとのこと。この時が、日本における女優誕生の瞬間とされているということです。その後、1910年に帝国座を設立するも、音二郎が2年後に47歳でなくなり、1925年川上児童演劇園を創設して、後身の育成に尽力したとのこと。亡くなったのは、1946年12月7日(75歳)。この亡くなる一年前に、すでに貴女は、誕生していました、そして、日本女優誕生の瞬間の60年後、1963年には、「八州遊侠伝 男の盃」が上映されている。日本最後の女優といわれる(私は、現時点では、この意見に賛同する者ですが)貴女との間にさほど時間的隔たりがないというのは、NHKを見て驚いたことでした。なお、貴女は貞奴さん程、大胆不敵な女性ではないと想像しておりますが、顔の輪郭は異なりますが、目に魅力がある点において、お二人は、共通していると感じました。私の故郷にこのような寺があったとは、知りませんでした。

ではお元気で。

敬具

平成16年4月30日

【0156】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。いかがお過ごしでしょうか。

サラリーマンにとっては、5月の連休もあっという間に過ぎ去り、今日5日は、肌寒い日となりました。連休中は、朝の時間が当然あり、「天花」を数回見ました。保育園の園長(あるいは、その妻)という役ですが、私の次女が、お寺の保育園に勤務していました(保育園の正規の先生だと、忙しくて、自分の時間がとれないということで、別の保育園のパートに切り替えたようです)ものですから、身近なテーマを取り上げた朝ドラだなという感じを受けました。ようだというのは、離婚してから、娘を直接観察する機会がなくなり、息子に5日に品川で会い、いろいろと話を聞いたというしだいです。元自宅には、(もう、10歳になるかと思いますが、)猫のモモがいまだ、老体ながらも、外で時々、野ネズミをとってくるようです。環境が良い所で、自分の好きなように生きているので、「後5年、生きるかな」と息子に話したら、同感だと言っておりました。良き環境で、好きに生きる猫は、一番幸せ者かもしれませんネ。野良猫となると、生きる厳しさが日々身にしみるでしょう。朝ドラには、いつだったか、タイトルも忘れましたが、宇宙飛行士を目指す女性のももありましたが、あのように、実現可能性があまりにも小さいものをテーマとするよりも、今回のように身近なものの方が現実味があり、朝ドラとしては、いいかと感じました。だだ、藤澤恵麻さんが主役としては、スケールがやや小さい感じで、貴女をはじめとした、そうそうたるメンバー(片平なぎささん、加賀まりこさん他)に、埋もれそうな感じがします。これから、スケールアップできるかもしれませんが。そうでないと、朝ドラ自体の魅力が小さくなりますし。貴女の場合は、スチャラカ社員の時から、スケールの大きさがあったように記憶しております。そのせいか、親分的役が多かったと思

40

50

ますが。(ほとんど、主役でしたから、そうなるのかもしれませんが。)なお、前回紹介しました貞奴の眠る貞照寺、境内の玉垣には建立費を寄付した中村吉衛門や尾上梅幸、松本幸四郎といった当時の名優の名前が刻まれているそうです。一度、菊五郎様と旅行で行かれてはどうでしょうか。

ではお元気で。

敬具

平成16年5月5日

【0157】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。5月もすでに中旬に入りました。

10

今日は、中野武蔵のホールの閉館のお知らせです。新宿昭和館につづき、中野武蔵野ホールも5月7日をもって、閉館となりました。これも、時代の移り変わりでしょうか。

でも、貴女のコレクションは豊富ですから打撃は少ないですね。

敬具

平成16年5月11日

【0158】

富司 純子 様

お元気ですか。

さて、インターネット(最近、少女の事件がありました。私は、見るだけのことしかやっております。)を見ておりましたら、藤純子と入力するとヒットする件数が大幅に増加しているのに驚きました。3259件になっていて、少し前の5割増しかないと印象ですが、全部にアクセスする訳にはいきませんので、実態というか原因は掴めておりません。中に映画論評の新しいものがあり、気に入ったものがありましたので、紹介します。緋牡丹博徒 最終作 「仁義通します」についての論評：藤純子の演技は、この4年に及ぶ『緋牡丹博徒』シリーズの主演を張ることとてつもない貫禄を身につけ、本作ではその余裕さえ感じさせる程であった。蛇足だが、本人が唄う主題歌さえ心なしか音程が整い上手になった気もする。(レコーディングし直したのだろうか?) /

20

・私個人的には、初期の歌の方が好きです。こち良さを感じるヘタな歌であると思う。さて、本シリーズの最大の見所といえば、ラストの殴りこみの道行シーンに尽きるのだが、本作では遂にお竜の兄貴分の「シルクハットの大親分」こと若山富三郎が同行する。さらに定石として、友人以上恋人未満の通りすがりの旅人の男(今回は菅原文太)も同行するという3トップであった。

30

まさに「兄」と「恋人」に両脇を守られての道行である。そして今回、異例とでも言うような殺陣で藤純子は後ろから袈裟懸けに斬られる。颯爽としてきたヒロインが鮮血に悶え、スーパーヒロインのまさかの「死」をも予感せざるを得ない展開に私は息を呑んだ。息も絶え絶えに戦うお竜に私は「リアル」を感じ、「女」を感じた。

/昨夜、ビデオを見直したが同感である。良く表現された論評である。そして極めつけは御大片岡知恵蔵の登場であった。圧倒的な手勢を引き連れての援軍にも関わらず、直接にはお竜の敵討ちには手を出さない。それはまるで「父」が「娘」を見やるような厳しさと優しさが混在したかのような存在感であった。「女は弱き」と言ってしまうのは女性蔑視とお叱りを受けるだろうが、このシリーズ最終作においてお竜は、「兄」「恋人」「父」という男達の支えを受けて去っていった。「強き女」の象徴的な存在であった「緋牡丹のお竜」だったが、息も絶え絶えにふらつきながらスクリーンを去っていった。素晴らしいラストシーンだったと思う。片岡知恵蔵の手勢が道の両側を固めて整列する中を、鮮血に染まった藤純子がふらつきながらも歩いていく。本作こそが稀代のヒロイン藤純子の最後の作品であり、「任侠映画」の終わりを表していた作品だった。2004年にして、1972年1月の菊之助様との婚約発表後、上映された映画の論評が出てくるのが面白い。これが、テレビドラマとの決定的な差であろう。時間も100分前後であるのが、何度も回顧できる良さであろう。

40

敬具

50

平成16年6月3日

【0159】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。

あっという間に、9月も末になり、ようやく涼しくなり、秋らしくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。菊五郎様の夏休みも終わり、10月からは京都だったと記憶しておりますが、京都へ行けば、またそれなりにお楽しみもあるとは言え、ご苦労様なことと思います。

私は、自分の布団以外で寝るのは、どうも落ち着かなくて、いやですね。妻のように、長い病院生活が続くことなど、考えるだけでもぞっとします。妻も、10月中旬には、一旦退院、11月下旬に再入院し、右股関節の置換手術を12月上旬に行き、来年1月下旬には、退院というスケジュールになっており、11月21日の国立劇場には、行ける予想をしております。ただ、懇親会までは、無理かなと思ひ、妻を残して、私だけ懇親会に出席するわけにもいかず、今年をあきらめるしかないかなと考えております。まあ、10月の退院後の様子で。

天花は、先日最終回を放映しておりましたが、いつの間にか貴女がいなくなり、病室の女性達は、きっと忙しくなったからでしょ、などと話しておりました。菊様が、夏休みに入られるので忙しくなったのかなと考えたりして(笑)。

さて、東映ビデオ(株)も、緋牡丹のDVDを11月までに、リリース完了するようで、うれしいやら、なんとなく寂しいやら。後2本、女渡世人シリーズのリリースを期待しているのですが、このリリースは実現しないと予想しております。東映にフィルムがきちんと保管されていない可能性もありますし。

しのぶ様は、大活躍のご様子でなによりです。ただ、キスシーンでさえ、邪魔物であった、純子ファンの我々の世代には、どうも最近の演劇、いや最近の音楽も、よく理解できないものになってしまったようです。

では、お元気で。

敬具

敬具

平成16年9月27日

【0160】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。

10月の歌舞伎座も千秋楽となり、いよいよ秋も終盤に入りました。前回の手紙では、菊様は京都かと勘違いしておりましたが、12月が京都のようで、馴れた地とは言え、ご苦労様です。11月の国立劇場は1回公演が多いので、菊様以下、貴女も含め、少し気楽な1ヶ月を過ごせるのでしょうか。

さてさて、11月21日は、懇親会があったかと思いますが、妻の手術は17日で確定しており、術後の痛みも21日には、小さくなるであろうと考え、出席しようかと思っておりますが、まだ案内はこないようです。おそらく、28日から30日あたりに発送作業をされるのでしょうか。

音羽会の懇親会に始めて出席させて戴いたのが、平成12年12月21日、黒い洋服が素敵でしたネ。一番鮮明記憶しているのは、この時ですが(何といたても、大女優にダンスをして戴いたものですから)、すでに4年が経過経ちました。

10月21日は、「昭和残俠客伝 死んで貰います」のDVDが発売になりました。高倉さんとの、最高作の部類ですから、買いました。貴女のDVDも、11月の緋牡丹シリーズ6,7,8作と、それに、源の義経がDVDで出るようです。

今年の芸能会の特色は、「冬のソナタ」を始め、韓国の若い俳優さん達が、日本の女性の心をつかんだことでしょうか。私自身は、ドラマをほんの1時間程度見ただけですが、ヨ

ン様とか、たしかに、石原裕次郎、小林旭、赤木圭一郎、高倉健、鶴田浩二、三船敏郎、池部良らの男くさい雰囲気とも違い、今風の癒し系の魅力があるような感じですね。それに、音楽も洗練されているようです。日本のテレビドラマの若手俳優は良く知りませんが、テレビ番組自体、「旅・食」、「歌」、「サスペンス」、「バラエティ」とかで構成され、テレビ界では、若手の俳優が育つ余地があまりないのでしょうか。（日本では、バラエティから育っていくようですし。）

ではお元気で。

敬具

平成16年10月26日

【0161】

富司 純子 様

拝啓

先日、ファンレターを出したばかりで、封を切るのもめんどろかとは思いますが、ヨン様に似た雰囲気の人、日本にもかなり以前にいたと気づき、忘れないうちに書き留めておこうかと思ひまして。ヒデとロザンナのヒデ（出門英）さんが、ヨン様のような雰囲気を持っていたかなと思ひました。（女性の目から見るとどうだか、これは私には、わかりませんが。）ヒデさん、昭和17年12月の生まれということですから、菊様とほぼ同じ時の誕生なのですネ。ヒデさんは、47歳で亡くなられてしまいましたが、歌ではともかくとして、芸ができれば、それなりに仕事できたのかと思ひます。まあ、何よりも、ロザンナさんの精神的打撃が大きかったでしょう。・・・・・・寒い中、ミニスカートにタンバリン、ヒデはギターを持ってレコード店の店頭で歌とサイン即売会。とっても懐かしい思い出です。・・・・・・まだ日本語は挨拶くらいしか話すことのできない私でしたが、ヒデがそばにいてくれるだけで幸せを感じていました。・・・・・・あつという間にヒットの兆しが九州から起こり、翌44年には全国を駆け回るほど忙しい日々が続き『愛の奇跡』はすべてが奇跡のような大ヒットとなったのです。・・・・・・その2年後に発売になった『愛は傷つきやすく』がミリオンヒットとなり“ヒデとロザンナ”は多くの人々に認知され、可愛がっていただきました。その間、ヒデとの愛はまだまだ私の一方通行の感があり片思いのようでしたが、見た目より芯の強い私は（いつかみてなさいよ）といつも心に言い聞かせていました。・・・・・・昭和49年長男を妊娠し、ダメもとで彼に結婚を詰め寄ったとき「結婚しよう」と言われ私の長い間の思いのすべてが成就したのです。・・・・・・『愛の奇跡』のおかげで結婚し3人の子供に恵まれ、今私はとても幸せです。・・・・・・ヒデは平成2年にガンで他界しましたが、このアルバムは私と子供たちに2人の愛のすべてを語りかけてくれるようです。

こうして並べると、時は移れども、美しい男女の姿は基本的には同じ。菊様らは、純日本風といったところでしょうか。

敬具

平成16年10月28日

【0162】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。

近所に野牡丹と呼ばれる紫の花が咲いていました。

富司様といえば、緋牡丹とくるところですが、何故か紫色をイメージします。

それも、あまり妖しくない清廉な紫というか藤色というか。

藤純子という、名前から連想すること言えますが、富司様自身のイメージが、紫あるいは、藤色にあるような気がします。

デジカメでプリントしましたら、意外に良く撮れておりましたので、送付致します。

下の画像は、インターネット上に掲載されていたもののうち、比較的気に入ったものです。

11月21日、拝見できるのを楽しみにしております。

10

20

30

40

50

敬具

平成16年11月15日

【0163】

富司 純子 様

拝啓

今日(21日)は、楽しく過ごさせて戴き有難うございました。

冥土の土産が2つになりました。平成12年12月21日につづき、2回目のダンスをして戴く機会があるとは、予想しておりませんでした。

菊五郎様、舞台でも拝見し感じましたが、糖尿病はすっかり良くなられたということをご本人からも伺い、悦ばしく思いました。噂音菊柳澤騒動は、着替え、出演時間等々、大変な演技をされて、運動選手とかわらない体力にびっくりしました。

菊之助様、私としては、立役を久しぶりに拝見し、感動いたしました。おしず、の女形を見ますと、女形については、現在の歌舞伎界の中で突出していると感じております。このあたりは、富司様からのDNAが入っているのかと推察いたします。

フランス公演の話が出て、かなりの方が行かれているのにやや驚きましたが、それだけ音羽会の会員のレベルが高いということでしょう。と同時に、「詩城の旅びと」を思い出しました。あれから、ずいぶん月日が流れました。近々ビデオをもう一度見ようと思えます。共演された中川安奈さん、もうすっかり立派なご婦人なのでしょう。(彼女の情報は何も持っていませんが。)原作が松本清張ということもあるでしょうが、配役も良く、NHKの短編ドラマの中でも、相当に印象深いものでした。

敬具

平成16年11月21日

【0164】

富司 純子 様

前略

お誕生日おめでとうございます。

少し早めですが、27日午前に届くと思えます。

自分で書いた字があまりにも見苦しく、花屋さんで書き直してくれていると思えます。

黄色のランが、何故か好きでしたので、贈らせて戴きました。

早々

平成16年11月25日

【0165】

富司 純子 様

拝啓

11月24日には、高倉健さんの健在ぶりを示す以下のようなニュースが流れました。

・・・「HERO」「LOVERS」と武俠アクション大作を立て続けにヒットさせたチャン・イーモウ監督の最新作に、高倉健が主演することが明らかになった。映画のタイトルは「千里走単騎」で、今月19日から中国雲南省で既にクランクインしているという。約3カ月のロケのあと、来年2月には日本でも撮影が行われる予定。

映画は、息子夫婦との仲に悩む高倉演じる日本人男性が中国に渡り、そこで出会った人々との交流を通して家族を見つめなおすというヒューマンドラマ。「あの子を探して」「初恋のきた道」など、人間味溢れるドラマを得意とするイーモウ監督の手腕が発揮されそうだ。高倉の映画出演は01年の「ホタル」以来3年ぶり。ほかに、日本からは中井貴一と寺島しのぶが出演するという。来年、カンヌやベネチアといった映画祭に出品したのち、秋頃に中国で公開される。・・・

一方、27日には、島田正吾さんが亡くなられたニュースが流れました。

・・・96歳まで現役を続けた舞台俳優で、映画やテレビでも活躍した元新国劇の島田正吾(しまだ・しょうご、本名服部喜久太郎=はっとり・きくたろう)さんが、26日午前4時45分、脳梗塞(こうそく)のため、死去した。98歳だった。・・・

一年程前から、ご病気だったということのようですが、96歳まで、現役であったとは、

10

20

30

40

50

驚きの一言です。辰巳柳太郎さんが、親友だったそうですが、たしか、辰巳さんと言えは、「人生劇場 飛車角と吉良常」に貴女も一緒に出演されていたりと芸能界の人は、いろいろと繋がりがあるといふか、繋がりが作品として残っていく世界にいますね。

私にとっては、「昭和残俠客伝・一匹狼」66年と、「女渡世人 おたの申します」71年が印象に強くありますが、長年舞台とかされていると、この2作とも、ご本人にとっては、かなり以前に本人の記憶から消え去った仕事であったとも推察されます。

貴女も東映時代は、9年程の間に90本も出演されたので、きっかけがないと思えない作品もあるのではないかと想像しますが、特に「女渡世人 おたの申します」については、引退が近づいていた時の作品でもあり、記憶に残っているのではないかと思います。

ビデオ等発売されておりませんので、私自身も、記憶の中にしかありませんが。山下耕作監督が、壮絶な美しさの貴女を撮りきっていると思います。(このようなこと、もう何度も書きましたが・・・・。)

ではお元気で。

敬具

平成16年11月27日・・・・以下は、ネット上の評の一つ、画像データは探してもない。

女渡世人 おたの申します / 数分でとてつもない傑作だと思った。ストーリーは、やくざ映画のフォーマット通りだが、全ての要素がいっさい過不足なくおさまっている。それにすばらしいセリフの数々。藤純子がとにかく美しく、最後の殴りこみのシーンも迫力がある。彼女の主演作は久しぶりにみたが、初めて「緋牡丹博徒」を見たときの興奮がよみがえってきた。

【0166】

富司 純子 様

拝啓

お元気ですか。

12月もいよいよ、後半に入りましたが、いかがお過ごしでしょうか。

少し気が早いのですが、メリークリスマス。

ところで、クリスマスの起源ですが、

「十二月二五日はイエス・キリストの誕生日、と多くの人に思われていますが、実際に新約聖書を読みますと、イエスが生まれた日の日付は記されていません。逆に、イエスが生まれたことを告げられた羊飼いたちが屋外で夜通し羊の番をしていた、という記述から考えると、十二月に生まれたということはおそくないと言えます。三世紀中ごろには、イエスの誕生日を三月二八日とする説が教会の中で唱えられていたりもしました。十二月二五日に誕生日を祝うようになったのは、イエスが生まれてから三百年以上もたったあとのことです。

ではなぜ十二月二五日になったのでしょうか。

ローマ帝国において流行した宗教であるミトラ教には、十二月二五日を冬至の祭り、あるいは太陽の祭りとして祝う習慣がありました。それ以前にもローマ人の間には皇帝を「不敗の太陽神」として崇拜する習慣があったといわれます。十二月二五日がキリスト生誕の日とされたのは、直接はここから来ていると思われます。たとえば日本の教会でも、七五三の時期に「幼児祝福式」を行ったり、八月中旬に「逝去者記念礼拝」を墓前で行ったりする習慣が見られます。もともとは異教の行事なのですが、教会の側がそれに対抗していくために、キリスト教的に解釈し直した似たような行事をぶつけたのです。クリスマスの場合、その本家であるはずのミトラ教や皇帝崇拜はとくに忘れ去られ、十二月二五日はもっぱらキリスト生誕の祭りとして祝われるようになりました。」とのことらしいです。

ではお元気で。

敬具

具

平成16年12月18日

追記：近松心中物語の製作記念の写真 / この貴女の表情、気にいっているのですが、若い頃(大学生の頃か?)の私になんとなく似ています。今は太って、感じは違いますが

。

10

20

30

40

50

菊様から、素敵なプレゼントあるといいですね。

【0167】

富司 純子 様

拝啓

「女優であること」を見つけ、読んでみました。

大半の内容は、私のようなものには、知っていたか、想像していた通りでした。

1. 一番印象に残りましたのは、お姉様、充子さんのことでした。平凡パンチの記者（おそらく、記事を書く人だと思います）と、貴女より先に結婚されていたとの内容でした。平凡パンチは、貴女がデビューしたころ登場し、富司純子として再デビューしたころ、消えていったのではないかと思います。私など、平凡パンチのやや露出度の高いグラビアに胸ときめいたこともありましたが、まだ、古本は市場で取引されています。例えば、貴女が掲載されているものとしては、以下のようなもの。

10

70年12/28号1, 800円、藤純子(着物姿/12ページ)

71年11/08号

2, 800円、藤純子(イメージショット/沖縄民芸着/14ページ)

72年03/13号

1, 200円、藤純子(撮影現場/7ページ)

充子様のご主人の場合、もう退職されているか、そろそろ退職といった頃と推察しますが、出版界の激変の中、いろいろとご苦労の多い仕事であった、またそれゆえ、やりがいもあった仕事をされたのではないかと思います。平凡パンチ自体、より過激な雑誌の登場により、沈みましたが、今の若者は、あまり文字を読まなくなりました。

20

2. 次は、しのぶ様と純子様の女優としてのあり様についての、それぞれの立場に対する、お考えでの差ですね。（何度か、お二人考えは、聞いてはおりますが。）

それぞれ自分にはない部分が多くみえるのでしょうか。私にはよくわかりませんが、女性が主役となった映画は少ないと思います。日本の映画では、1. 東映任侠映画と、2. 極道の妻たち（ヤクザ映画）をまず思いうかべます。1. は、藤純子の存在によってのみ出現した。2. は、岩下志摩、十朱幸代、三田佳子、高島礼子もできる、多分、夏目雅子だってできたらうし、しのぶ様もひょっとしたら、やることになってしまうかもしれない。貴女だって、多少藤純子のイメージが障害になるかもしれないが、おそらくできたであろう。

30

1. 東映任侠映画の様式美を具現化できたのは、貴女だけであった。

ただ、主役は、脇役ができないという制限が発生し、そういう制限をきわめて強く受ける観点からは、しのぶ様のほうが、自由度が高いとい点で、貴女よりやりやすい環境で女優としての仕事ができるのは確かでしょう。

敬具

平成16年12月19日

【0168】

富司 純子 様

拝啓

いよいよ、今年も終わりに近づきました。

歌舞伎の家は、正月からスタートですから、年末年始、毎年、あわただしいのでしょうか。来年の大河は、源義経、約40年の歳月を経て、登場しますね。1964年でしたでしょうか。編集版のビデオは持っています。ふっくらとした顔が初々しく、なつかしくもあります。大ブークされたのが、1966年の日本大俠客。若さがスクリーンに飛び出していました。そして、1971年の女渡世人「おたの申します」、表現しようのない美しさ、を残し、1989年、「詩城の旅びと」と「あ・うん」で再登場。

40

印象に残っているのは、三越の「初雪の朝」、楽屋入口で待っていましたら、ノーマイクだったと思いますが、可愛い顔にお会い出来て、感動。2005年1月には、「あ・うん」のDVDが出るようです。

私事ですが、菊之助様と同じ歳の長男は来年秋から、司法研修後、四谷にある事務所で働くようなことを言うておりました。私が岐阜に戻れなくなり、男の孫も、戻らないので、

50

母は落胆しているようです。しのぶ様とどうかかと、かつてに思ったりしましたが、しのぶ様は、大女優として、はるかかなたへ、大ブレイク。

富司様のような生き方がベターと思うのですが、そのように考えること自体、古臭いのでしょうか。ただ、このままでは、80年後には、日本の人口は、どんどん減少していくようです。そうなると、歌舞伎座も江戸時代のような、芝居小屋になってしまうのでしょうか。まあ、私共には、関係ない時のことではあります。

ではお元気で。

敬具

平成16年12月29日

【0169】

以上、長々と女優富司純子（藤純子）さんへのファンレターを掲載させて戴いたが、かように、彼女と、その映画に魅力があり、1970年当りに大きな映画文化を花咲かせ、その映画は、一部の若者の人格形成にかなりの影響を与えていたものであったことを述べたのである。任侠映画であるから、もちろん殺陣場面も見どころであり、斬り合うことは、当然ながら現代の法律の禁ずるところではあるが、「強気を挫き、弱きを助ける」という日本人の一哲学が根底にあり、殺伐とした現代の世の中にあって、かような、忠臣蔵的な映画により、日本の若者たちが、悪の道に入ることから、回避できることを、いくらかでも期待したいものである。

10

【0170】

なお、女優藤純子さん、ご自身は、この類の映画の出演を心から好んで演じていたのではなかったようなことを、時折、テレビ番組等でお話されている。娘時代、東映の看板スタートとして、菊之助さんとの結婚までの9年間に約90本の映画に出演された。相当なハードなスケジュールであったにもかかわらず、演技のレベルはきわめて高い。また、大局的に見れば、同じような内容の映画であったにもかかわらず、熱心なファンにとっては、台詞の一つ一つを暗記させるほどの魅力をもった女優であった。そして、彼女の資質により、一連の映画の暴力的な要素は、昇華され、勸善懲悪と、日本の様式美を浮き彫りにするという、きわめて稀有な映画として、存在したのであった。

20

【図面の簡単な説明】

【0171】

【図1】女優、藤純子さん

【図2】女優、藤純子さん（「緋牡丹博徒・お竜参上」より）

30

【 図 1 】



【 図 2 】

